

B5WY-0241-02

Printia ≡ LASER

FUJITSU PERSONAL COMPUTER PRINTER

XL-4000

ページプリンタ

取扱説明書

FUJITSU

製品を安全に使用していただくために

本書の取り扱いについて

本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要なことなどが記載されています。製品を使用する前に本書をよくお読みください。特に、本書に記載されている「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、内容をよく理解したうえで製品を使用してください。

本書は、お読みになった後も製品の使用中いつでも参照できるように、大切に保管してください。富士通は、お客様の生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために細心の注意を払っています。当製品を使用する際は、本書の説明に従ってください。

Microsoft、Windows、MS-DOS、Windows NTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。

VCCI適合基準について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

電源の瞬時低下について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じことがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。

（社団法人電子情報技術産業協会のパソコン用コンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しています。

電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

国際エネルギースターープログラムについて



当社は、国際エネルギースターープログラムの参加事業者として本製品が国際エネルギースターープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。

お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいいます。

- ・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

リサイクル部品の使用について

地球環境への配慮から本製品には一部リサイクル部品を使用しています。

レーザ規格について

この装置は、危険なレーザ光を出さない「クラス 1」のレーザシステムです。本書に従って操作してください。本書に書かれた以外の操作は行わないでください。思わぬ故障や事故を起こす原因になります。

はじめに

このたびは、弊社のページプリンタXL-4000をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

本書では、プリンタの設置や取り扱いに関することがらと、プリンタドライバなどのソフトウェアに関することがらについて説明しています。

本書にしたがって正しい取り扱いをし、本プリンタを有効にご利用ください。

2002年4月

本文中の略語について

各製品を以下のように略記しています。

- Microsoft® Windows® 2000 Professional、Microsoft® Windows® 2000 Server Windows 2000
- Microsoft® Windows® XP Professional、Microsoft® Windows® XP Home Edition Windows XP
- Microsoft® Windows® NT® Workstation Version 4.0、Microsoft® Windows NT® Server Version 4.0 Windows NT4.0
- Microsoft® Windows® Millennium Edition Windows Me
- Microsoft® Windows® 98 Windows 98
- Microsoft® Windows® 95 Windows 95

警告表示マークについて

本書では、製品を安全にかつ正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられる恐れのある危害や損害を未然に防止するために、次のような表示を行っています。

 警告	 注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

絵記号の例とその意味	
	で示した記号は、警告、注意を促す事項であることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を表す絵（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

安全上のご注意

プリンタ設置および移動時のご注意



プリンタの上に「花びん、植木鉢、コップ」などの水の入った容器、金属物を置かないでください。

感電・火災の原因となります。

湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所に置かないでください。

感電・火災の原因となります。

電源プラグは、交流100V、15A専用コンセント以外には差し込まないでください。たこ足配線をしないでください。

感電・火災の原因となります。本機定格電源は100V、8Aとなっています。

添付の電源コード以外は使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

プリンタや他の機器の電源コードの上にプリンタをのせないでください。

電源コードが傷つき、感電・火災・故障の原因となります。

ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、アルコール、シンナー、ガソリンなど揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近くにはプリンタを設置しないでください。

火災の原因となります。

延長コードは、定格(125V、15A)未満のものは使用しないでください。特に容量不足の延長コードは絶対に使用しないでください。

異常な発熱や火災の原因となります。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

- ・ガス管(引火や爆発の危険があります。)
- ・電話専用アース線および避雷針(落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。)
- ・水道管や蛇口(配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。)

梱包に使用しているビニール袋はお子様が口に入れたり、かぶって遊んだりしないよう、ご注意ください。

窒息の原因となります。

⚠ 警告



風呂場、シャワー室などの水場に置かないでください。

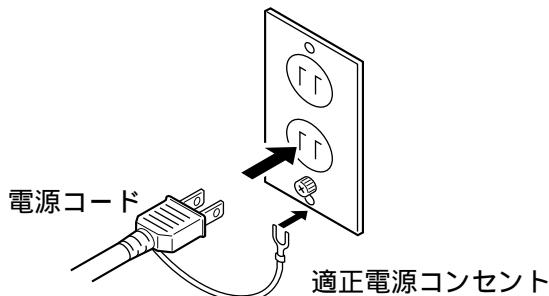
感電・火災の原因となります。



電源プラグから出ている緑色のアース線を、必ずいずれかに取り付けてください。アース接続できない場合は、ハードウェア修理相談センター（137ページ参照）にご連絡ください。

- ・電源コンセントのアース線
- ・銅片などを650mm以上地中に埋めたもの
- ・接地工事（第3種）を行っている接地端子

アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電・火災の原因となります。



プリンタケーブルの取り付け取り外しを行うときは、必ずプリンタ本体および接続されている機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

感電の原因となります。



近くで雷が起きたときは、電源コードをコンセントから抜いて、雷がおさまるのを待ってください。

入れたままにしておきますと、雷によっては機器を破壊し、火災の原因となります。



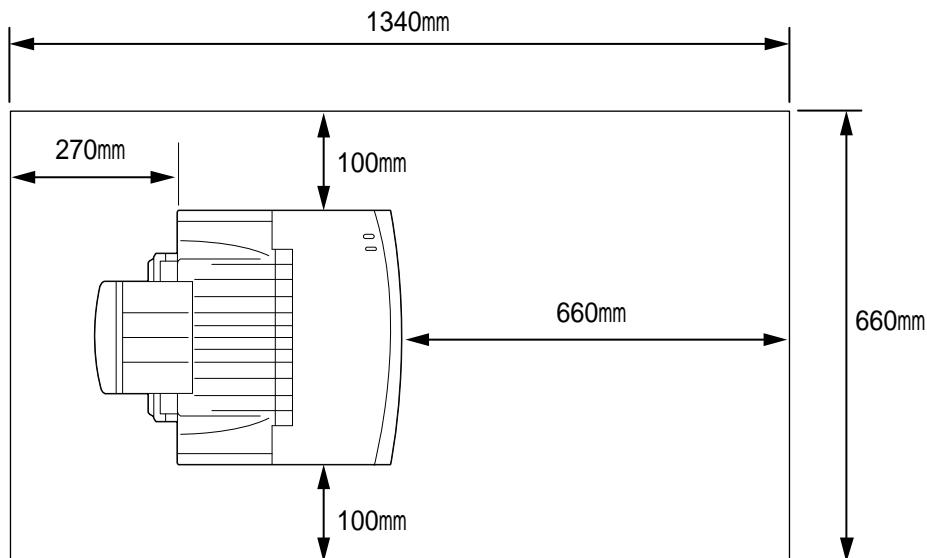
直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、高温になる場所に長時間放置しないでください。

高温によりカバーなどが過熱、変形、溶解する原因となったり、プリンタ内部が高温となり、火災の原因となることがあります。

プリンタの背面と側面には通風口があります。プリンタは壁から100mm以上離して設置してください。

通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。プリンタの操作および消耗品類の交換、日常の点検など、プリンタを正しく使用し、プリンタの性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。

プリンタの上部には、日常の操作に必要な250mm以上のスペースを確保してください。



プリンタの上に重いものを置かないでください。また、衝撃を与えないでください。

バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

⚠ 注意



プリンタは重さ約17kg（消耗品を含む）に耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。

プリンタの転倒などによりけがの原因となることがあります。

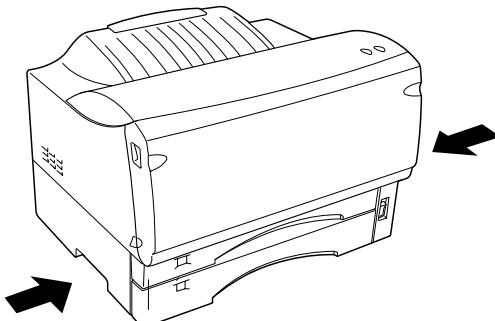
プリンタを移動する場合は、プリンタを傾けないでください。

プリンタの転倒などによりけがの原因となることがあります。



プリンタは、消耗品や用紙が入っていない状態で約15kgあります。プリンタを持ち上げるときは、プリンタ正面（LEDランプ側）および背面に向かい、左右両側のくぼみを両手でしっかりと持ってください。くぼみ以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。必要に応じて2人で持ち運んでください。

落下によりけがの原因となることがあります。



プリンタを移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなどもはずしてください。

作業は足元に十分注意して行ってください。

電源コードが傷つき、感電・火災の原因となったり、本プリンタが倒れたりしてけがの原因となることがあります。

プリンタ使用時のご注意



プリンタに水をかけたり、濡らしたりしないでください。
感電・火災の原因となります。

開口部（通風口など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
感電・火災の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工しないでください。

重いものを載せたり、引っぱったり、無理に曲げたり、ねじったり、過熱したりすると、電源コードを傷め、感電・火災の原因となります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。修理はハードウェア修理相談センター（137ページ参照）にご連絡ください。

異常音がするなどの故障状態で使用しないでください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

故障の修理は、ハードウェア修理相談センター（137ページ参照）にご連絡ください。

カバーを外した状態で電源プラグを差したり、電源を入れたりしないでください。

感電・火災の原因となります。

プリンタの近くで強燃性スプレーを使用しないでください。

火災の原因となります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。



ネジで固定されているパネルやカバーなどは、本書で指示してある箇所以外絶対に開けないでください。内部の点検、修理はハードウェア修理相談センター（137ページ参照）にご連絡ください。

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となったり、レーザ光漏れにより失明するおそれがあります。

プリンタを改造したり、部品を変更して使用しないでください。

感電・火災の原因となります。



警告



電源プラグの金属部、およびその周辺にはこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。

そのまま使用すると、火災の原因となります。

取り外したカバー、キャップ、ネジ等は、小さなお子さまが誤って飲むことがないように、小さなお子さまの手の届かないところに置いてください。

万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。



万一、プリンタから発熱や煙、異臭や異音などが発生した場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

煙が消えるのを確認して、ハードウェア修理相談センター（137ページ参照）に修理をご依頼ください。お客さま自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。

万一、異物（金属片、水、液体など）が内部に入った場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、ハードウェア修理相談センター（137ページ参照）にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

プリンタを落としたり、カバーなどを破損した場合は、プリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、ハードウェア修理相談センター（137ページ参照）にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。



電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源コードを引っぱると電源コードの芯線が露出したり、断線したりして、感電・火災の原因となることがあります。

使用中のプリンタは布などでおおったり、包んだりしないでください。

熱がこもり、火災の原因となることがあります。

プリンタの電源を入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。

プラグが変形し、火災の原因となることがあります。

プリンタの内部には磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。

プリンタが動作状態になる場合があり、けがの原因となることがあります。



電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。

火災・故障の原因となることがあります。

つまた用紙を取り除くときは、プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。

紙片が残ったままになっていると火災の原因となることがあります。なお、定着器やローラ部に用紙が巻き付いているときは無理にとらないで、直ちに電源を切り、ハードウェア修理相談センター（137ページ参照）にご連絡ください。

つまた用紙を取り除いたり故障処置を行うときは、鋭利部や突起部に触れないよう注意してください。

けがの原因となることがあります。

つまた用紙を取り除いたり故障処置を行うときは、ネクタイやネックレスなどがプリンタ内部に巻き込まれないように注意してください。

けがの原因となることがあります。

注意



1ヶ月に一度はプリンタの電源を切り、次のような点検をしてください。

- ・電源プラグが電源コンセントにしっかりと差し込まれていますか。
- ・電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどがありますか。
- ・電源プラグやコンセントに細かいホコリがついていませんか。
- ・電源コードに亀裂や擦り傷などはありませんか。
- ・アース線は取り付けられていますか。

なお、異常がある場合はハードウェア修理相談センター（137ページ参照）までご連絡ください。



長期間、プリンタを使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電・火災の原因となることがあります。

プリンタの清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源スイッチを切らずにプリンタの清掃や保守を行うと、やけどや感電の原因となることがあります。



用紙排出部のローラが作動しているとき作動部には触れないでください。

指を挟み、けがをする原因となることがあります。

プロセスカートリッジの取り扱い上のご注意



プロセスカートリッジを火中に投入しないでください。



火中に投入すると、トナー粉がはねて、やけどの原因となります。

使用済みのプロセスカートリッジを処分するときは、当社の回収サービスをご利用ください。（「使用済みプロセスカートリッジの回収サービス」(91ページ)参照）

トナーは目や口に入らないように注意してください。



プロセスカートリッジの交換時などにトナーが手に付いた場合は、速やかに洗い落としてください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

プロセスカートリッジを保管する場合は、小さなお子さまがトナーを誤って飲むことがないように、小さいお子さまの手の届かないところに置いてください。

万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

本書の構成

本書は、プリンタを設置し、印刷できるようにするまでの手順と、プリンタをご使用中に必要となる内容を説明します。

目 次	内 容
第1章 お使いになる前に	プリンタを使用する前に知っておいていただきたいことがらについて説明します。
第2章 プリンタの設置	プリンタを設置する際の留意事項や、設置手順について説明します。
第3章 用紙のセット	給紙カセットおよびMPカセットに用紙をセットする手順について説明します。
第4章 パソコンとの接続と プリンタドライバの インストール	パソコンとプリンタをケーブルで接続し、 プリンタドライバをインストールする手順 について説明します。
第5章 プリンタドライバ の設定	パソコンにインストールしたプリンタドライバの設定方法について説明します。
第6章 用紙について	プリンタで使用できる用紙に関する説明 と、用紙のセットのしかたについて説明します。
第7章 日常のメンテナンス	プリンタを使用していると必要になること がらについて説明します
第8章 困ったときには	故障が発生したと思われるときや紙づまり のときの処置のしかたについて説明しま す。
付 錄	プリンタの仕様やアフターサービスなど、 補助的に必要となることがらについて説明 します。

本書の表記

本書では、説明する内容により、以下の用語を使用しています。



本プリンタを正しく使っていただくための依頼事項を説明しています。

操作する前に必ずお読みください。



本プリンタを使う際に参考にしていただきたい内容を説明しています。

必要に応じてお読みください。



本書内で参照していただきたい参照先を示します。

目 次

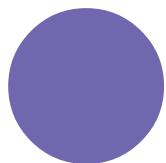
はじめに	i
本文中の略語について	i
警告表示マークについて	i
安全上のご注意	ii
プリンタ設置および移動時のご注意	ii
プリンタ使用時のご注意	vi
プロセスカートリッジの取り扱い上のご注意	x
本書の構成	xi
本書の表記	xii
第1 章 お使いになる前に	1
製品の確認（梱包されている製品）.....	2
CD-ROM の内容	3
XL-4000 の特長	4
各部の名称と機能	5
第2 章 プリンタの設置	7
設置上のお願い	8
プリンタの寸法	9
設置手順	10
梱包品の確認	10
固定材の取り外し	10
プロセスカートリッジの取り付け	10
電源を入れる	14
第3 章 用紙のセット	17
用紙のセット	18

第 4 章 パソコンとの接続と プリンタドライバのインストール	23
パソコンとの接続方法	24
パラレルインターフェースでの接続とインストール	26
USB インタフェースでの接続とインストール	33
第 5 章 プリンタドライバの設定	49
設定の手順	50
ダイアログ一覧	55
プリンタドライバが提供するダイアログ	55
OS が提供する共通のダイアログ	57
設定項目の詳細	59
新しいドライバに置き換えるとき (プリンタドライバの削除)	75
第 6 章 用紙について	79
使用できる用紙	80
使用できない用紙	82
用紙の保管上のご注意	84
第 7 章 日常のメンテナンス	85
サプライ用品の一覧	86
プロセスカートリッジの交換と使用上の注意事項	87
プロセスカートリッジの交換	87
プロセスカートリッジの取り扱いと保管	92
プリンタの清掃	93
リブプレートの清掃	94
プリンタ外部の清掃	97
プリンタ内部の清掃	98
感光体（ドラム）のクリーニング	98
プリンタを長期間使用しないとき	99
プリンタを移動するとき	100
近くに移動する	100
梱包して運搬する	104

第8章 困ったときには	105
紙づまりになったとき	106
紙づまりの取り除きかた	108
用紙送りが異常なとき	113
故障かなと思ったとき	115
印刷品質が低下したとき	117
ソフトウェアに関するトラブルシューティング	122
付 錄	125
プリンタの仕様	126
基本仕様	126
インターフェース仕様	128
用紙関係	130
LED ランプの見かた	132
正常状態	132
エラー状態	133
プリンタケーブルについて	135
プリンタドライバの入手方法	136
アフターサービスについて	137
修理装置の返却準備 ~お客様へ~	138
索 引	139

第1章

お使いになる前に



この章では、プリンタを使用する前に知っておいていただきたいことについて説明します。

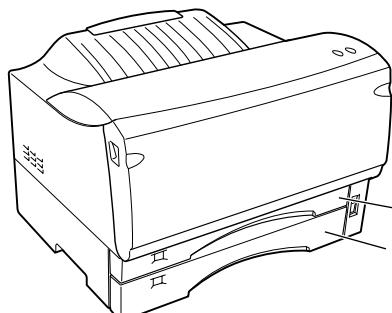
製品の確認（梱包されている製品）	2
CD-ROM の内容	3
XL-4000 の特長	4
各部の名称と機能	5

製品の確認（梱包されている製品）

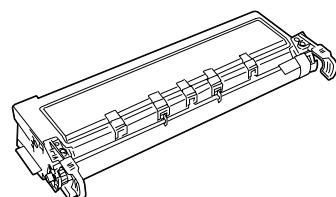
本プリンタは、添付品とともに梱包材で保護し、梱包してあります。梱包箱から取り出して、製品が揃っていることを確認してください。万一、不良品や不足品がありましたら、ご購入元にご連絡ください。

梱包箱

1. プリンタ本体



2. プロセスカートリッジ



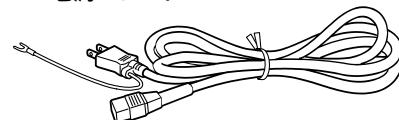
3. 設置ガイド



4. 保証書
(梱包箱に貼付)

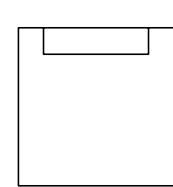


5. 電源コード

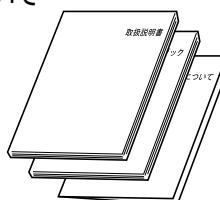


ドキュメントパック

6. CD-ROM



7. 取扱説明書(本書)、トラブル解決ブック、
用紙について



お願い

本プリンタには、パソコンとの接続ケーブル(プリンタケーブル)は添付されていません。

パソコンに添付されているケーブルか別売ケーブルをお使いください。(「プリンタケーブルについて」(135ページ)参照)

ガイド

移転など、プリンタを運搬する可能性がある場合は、梱包箱を保管しておくと便利です。

CD-ROM の内容

本プリンタには、「Printia LASER プリンタユーティリティ」CD-ROM が同梱されています。この中に収められているおもなファイルは、次のとおりです。

Printia	
Win2k	Windows 2000用プリンタドライバ
Win95	Windows 95用プリンタドライバ
Win98	Windows 98用プリンタドライバ
Winme	Windows Me用プリンタドライバ
Winnt40	Windows NT4.0用プリンタドライバ
WinXP	Windows XP用プリンタドライバ

XL-4000 の特長

▶ すべての操作をパソコンから

プリンタの操作パネルでの面倒な設定は一切ありません。すべての設定をパソコンから行います。

▶ 12枚 / 分(A4) 600dpi の高品位印刷

オフィスでもっとも需要の高いA4サイズを毎分12枚(コピーモード時)と、快適なスピードで印刷します。しかも解像度は600dpiで高品位出力を実現。文字も図形も美しく鮮明です。

▶ WYSIWYGをお手元に。Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP 日本語版環境に対応

各OSのプリンタドライバを標準添付し、Windows搭載のパソコンに幅広く対応しています。

また、WYSIWYG^{(*)1}も実現しました。

▶ 多彩な給紙機能

給紙カセットとMPカセットによる350枚(64g/m²紙)の連続給紙を標準サポートしています。A3 ~ A5まで幅広い用紙サイズに対応するユニバーサル方式を採用し、MPカセットでは、A3 ~ A5のほか、不定形用紙、官製はがきへの印刷が可能です。

▶ USB インタフェースを標準装備

パラレルとUSB^{(*)2}の2つのインターフェースを装備しています。

*1 WYSIWYG

What You See Is What You Getの略。パソコンの画面上で作成したとおりの印刷出力を手にすることができるというデスクトップパブリッシングの基本要素。

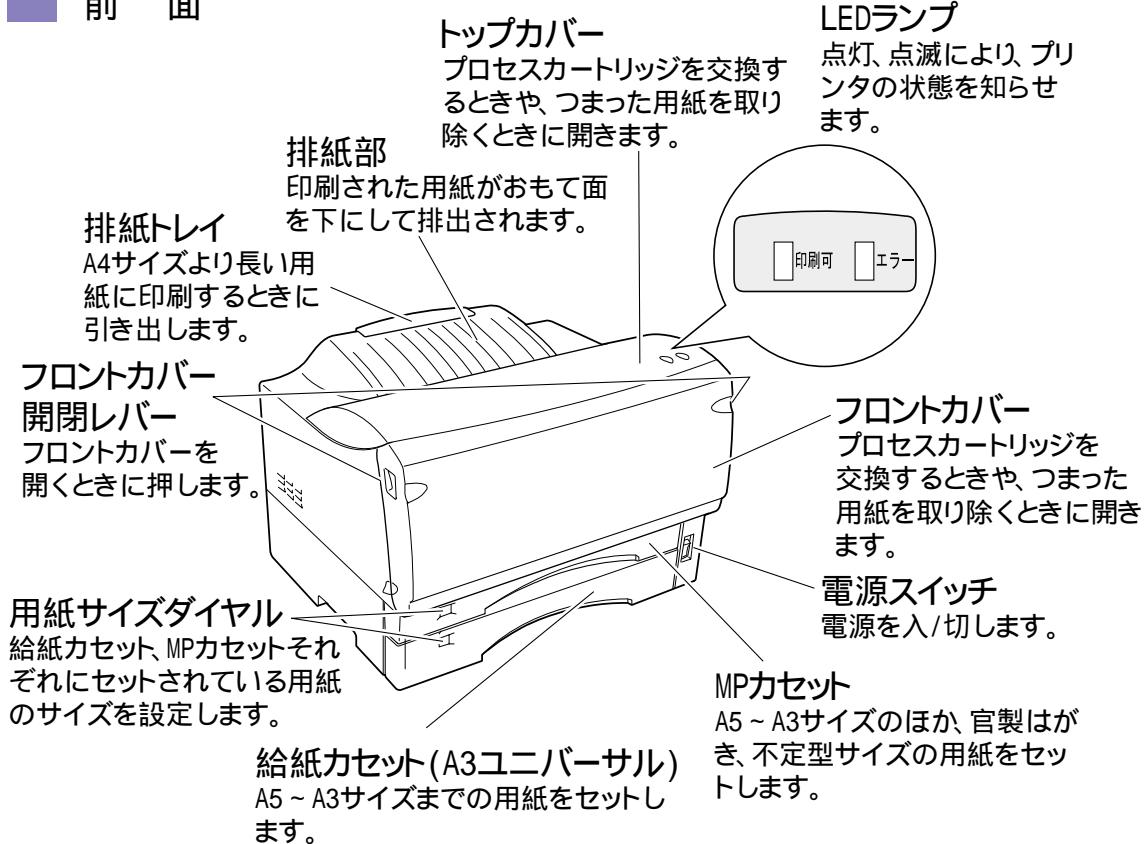
*2 USB

Universal Serial Busの略。マウスやプリンタなど周辺機器のパソコンへの接続方式を共通にする規格。

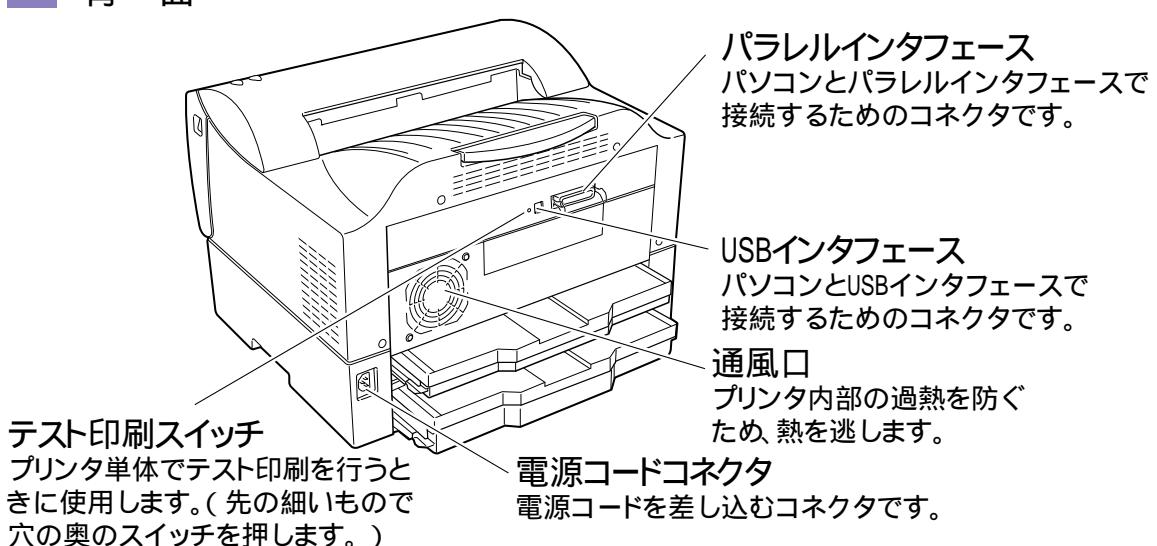
各部の名称と機能

本プリンタの主要各部の名称と機能について説明します。

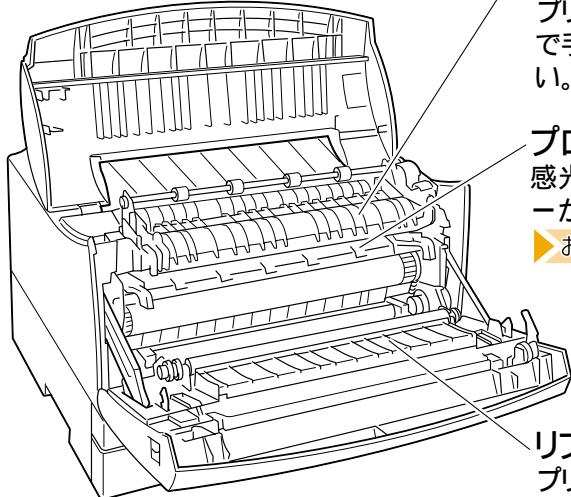
前面



背面



内 部



定着器

用紙にトナーを定着させる機構です。
プリンタ使用時は高温になっているの
で手を触れないように注意してください。

プロセスカートリッジ

感光ドラム、現像器ユニット、およびトナ
ーから構成される機構です。

▶ お願い

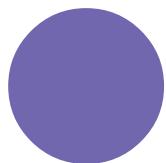
感光ドラムの表面には絶対
に手を触れないでください。

リッププレート

プリンタ使用時は高温になっているの
で手を触れないように注意してください。

第2章

プリンタの設置



この章では、プリンタを設置し、電源を入れるまでの手順について説明します。

設置上のお願い	8
プリンタの寸法	9
設置手順	10
梱包品の確認	10
固定材の取り外し	10
プロセスカートリッジの取り付け	10
電源を入れる	14

設置上のお願い

安全に快適にプリンタをご利用いただくために、安全上のご注意とともに、以下の点に注意して設置してください。

いつも良い状態でご使用いただける環境範囲は次のとおりです。

温度:10 ~ 32 湿度:20 ~ 80%RH (結露がないこと)

温度 32 のときは湿度 55%RH 以下、湿度が 80%RH のときは温度 25 以下でご使用ください。

冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、機械の内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。室温になじませてから使用してください。

プリンタの 24 時間運用や無人運用をする場合は、不慮の事故に対する安全性を高める必要から、適切な防災対策(耐震対策、煙探知機、温度センサーなど)が施された場所に設置してください。

また、防災管理者(警備員、管理人など)が建物内に待機していることも必要です。

プリンタを前後左右に 5° 以上傾けないでください。

トナーがこぼれるなど故障の原因となります。

ラジオの雑音、テレビ画面のチラツキやゆがみなど電波障害が発生し、電波障害の原因が本プリンタであると考えられる場合は、本プリンタの電源を切って電波障害がなくなるかどうか確認してください。電源を切ると電波障害がなくなるようであれば、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。

- ・プリンタとラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
- ・プリンタとラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
- ・プリンタとラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
- ・受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。(アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。)
- ・ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

プリンタや他の機器の電源コードの上にプリンタをのせないでください。電源コードが傷つき、感電・火災・故障の原因になります。

お願い

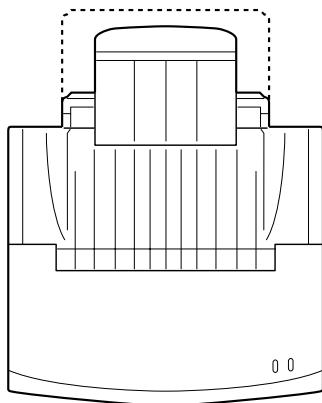
- 超音波加湿器をご使用のお客様へ -

超音波加湿器をご使用の際に、水道水や井戸水をご使用になりますと、水中の不純物が大気中に放出され、プリンタの内部に付着して画像不良の原因となります。ご使用の際には、純水など不純物を含まない水のご使用をお勧めします。

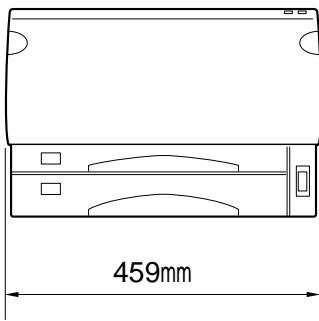
プリンタの寸法

装置の寸法を示します。設置のときに参考にしてください。

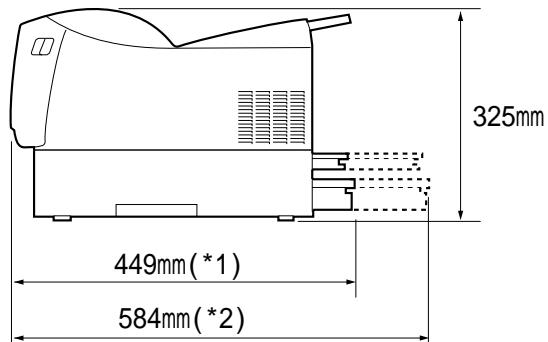
<上面図>



<正面図>



<側面図>



*1: 標準構成時

*2: 紙給料カセット延長時

△注意

火災 プリンタの背面と側面には通風口があります。プリンタは壁から十分離して設置してください。(「安全上のご注意」(iiページ)参照)

けが 設置する台は、プリンタの足全体が十分にのる大きさのものを準備してください。

設置手順

プリンタは、次の手順で設置してください。

梱包品の確認

製品がすべて揃っていることを確認してください。

梱包されている製品は、「製品の確認（梱包されている製品）」(2ページ)に記載してあります。

固定材の取り外し

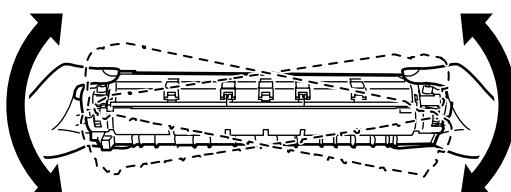
プリンタの開閉部などを固定しているテープ、シート、段ボールを取り除きます。

プロセスカートリッジの取り付け

プロセスカートリッジの取り付けは、次の手順で行います。



参考 プロセスカートリッジの交換、および使用上の注意事項については、「プロセスカートリッジの交換と使用上の注意事項」(87ページ)参照



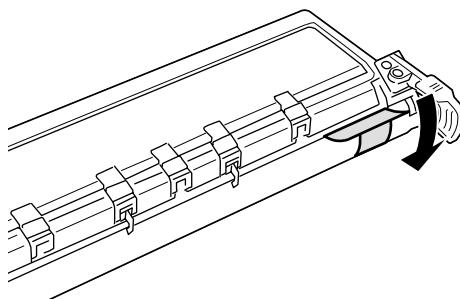
- 1 トナーを均一にするため、プロセスカートリッジを振る

プロセスカートリッジを水平に持ち、図に示す方向に10回程度ゆっくり振ります。

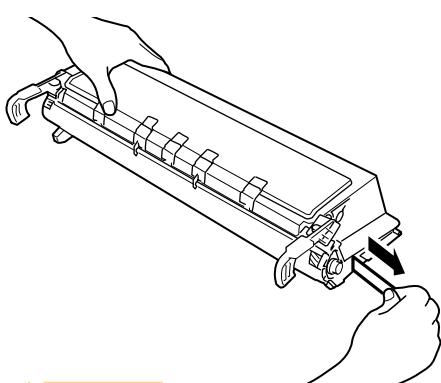
トナーの状態が均一でないと、印字品質が低下することがあります。

► お願い

感光体(ドラム)の表面には、絶対に手を触れないでください。



2 保護シャッターを止めて
いるテープ(1か所)を
上から下方向にはがす



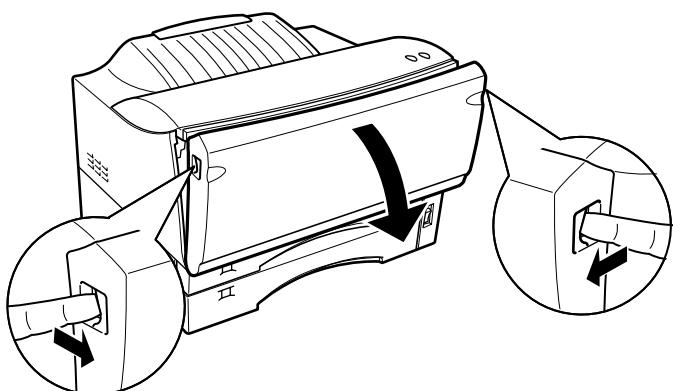
3 トナーシールを引き抜く
プロセスカートリッジの取っ手
を手前にして平らな場所に置
き、片手で押さえながらトナー
シールをゆっくり引き抜きま
す。

▶お願い

トナーシールを抜くときには、水平にまっすぐ引き抜いて
ください。斜めに引くと、途中でトナーシールが切れてしま
うことがあります。

トナーシールは、引き抜くと全長約 69cm です。

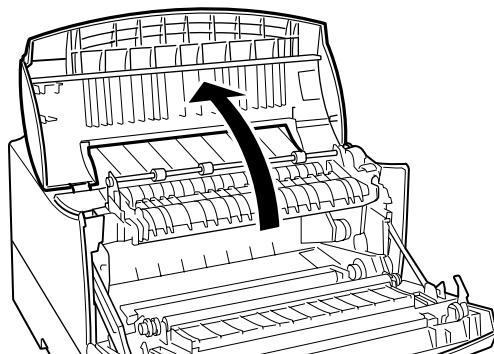
トナーシールを引き抜いた後は、プロセスカートリッジを
振ったり、衝撃を与えたたりしないでください。



4 フロントカバーを開く
左右のフロントカバー開閉レ
バーを押しながらフロントカ
バーを手前に引き、ゆっくりと
開きます。

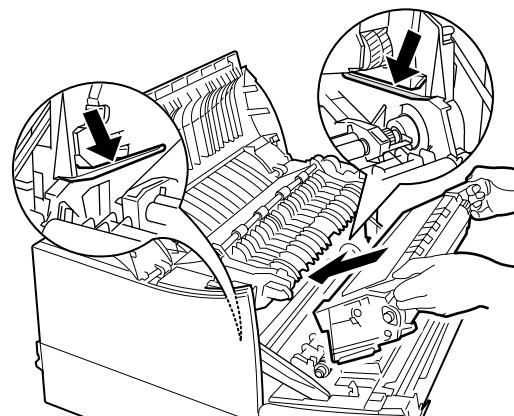
5 トップカバーを開く

トップカバーの左右を持ち、ゆっくりと開きます。



6 プロセスカートリッジをセットする

プロセスカートリッジをプリンタ正面に向け、プロセスカートリッジの取っ手を持ちます。プロセスカートリッジの両側の突起部をプリンタの内側の溝に合わせてスライドさせてセットします。



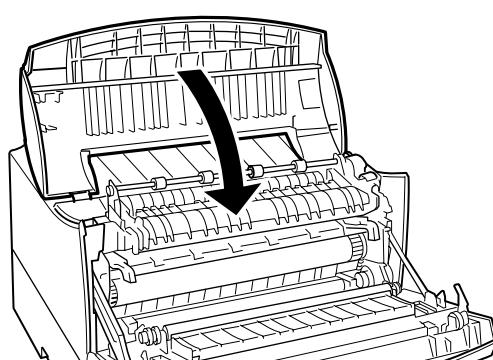
▶お願い

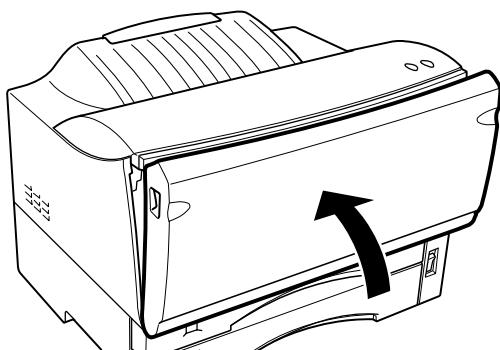
- ・プリンタ内部の部品には手を触れないでください。
- ・プロセスカートリッジは、カートリッジがプリンタ内部に当たらないよう、静かに入れてください。

7 プロセスカートリッジを確実にセットする

プロセスカートリッジを奥まで押し込み、確実にセットされたことを確認します。

8 トップカバーをゆっくりと閉じる





- 9 フロントカバーをゆっくりと閉じる
カチッと音がするまでゆっくりとフロントカバーを押し上げ、確実に閉まったことを確認してください。

▼ 電源を入れる

電源コードを接続し、プリンタの電源が入るかどうか確認します。

■ 電源コードの接続

次の手順で、電源コードを接続します。

本プリンタの電圧定格値は、AC100Vです。

上記の定格は、プリンタの後部にある製造銘板に表示してあります。使用するコンセントの電圧が、プリンタの定格電圧と一致するか確認してください。

⚠ 警告

感 電 電源コードを接続するときは、必ず電源スイッチをオフ（「」側）にしてください。電源を切らずに接続すると、感電の原因となります。

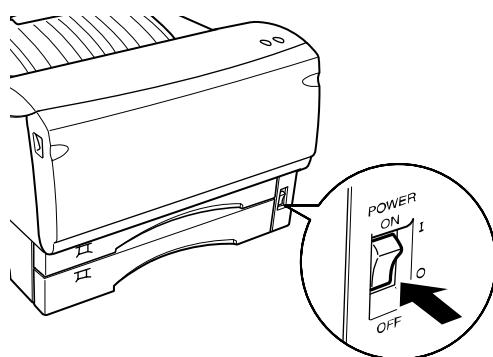
火 災 電源コードのアース線は必ず専用のアース端子に接続してください。

感 電 危険ですので次の箇所にアース線を接続しないでください。

- ・ガス管（火災や爆発の危険があります）
- ・電話専用アース線・避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です）
- ・水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません）

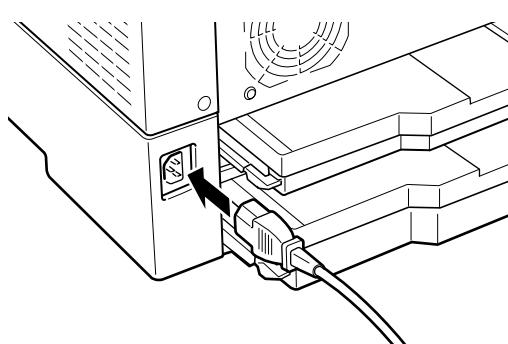
感 電 プリンタや他の機器の上にプリンタを載せないでください。

電源コードが傷つき、感電・火災・故障の原因となります。



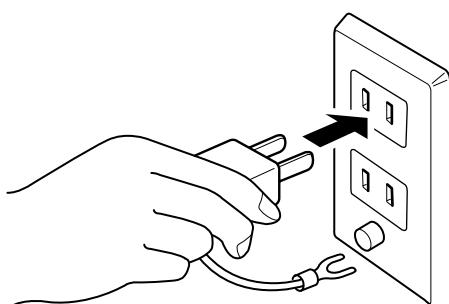
1 電源がオフであることを確認する

電源スイッチが「|」側に倒れていることを確認します。



2 電源コードをプリンタに接続する

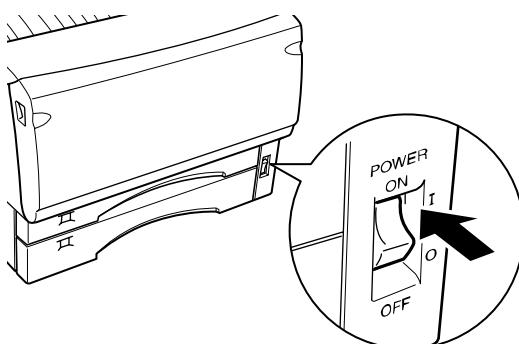
電源コードのプラグを、プリンタ背面の電源コードコネクタに差し込みます。



3 電源コードをコンセントに差し込む

もう一方の電源プラグを、コンセント(15A以上)に差し込みます。

■ 電源を入れる



電源スイッチを「|」側に倒して電源を入れます。

■ LED ランプの確認

電源を入れると、初期動作が行われます。(約 15 秒間)

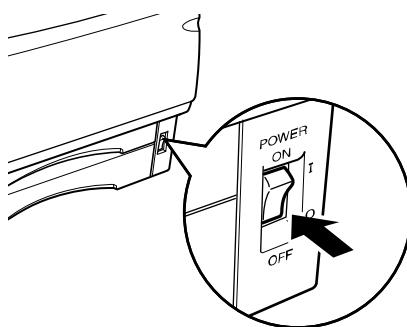
初期動作が終了し、印刷できる状態になると、印刷可ランプが点灯します。



■ 電源を切る

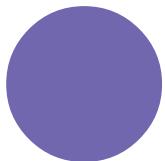
1 プリンタが動作していないことを確認する

2 電源スイッチを「」側に倒す



第3章

用紙のセット



この章では、給紙カセットおよびMPカセットに用紙をセットする方法について説明します。

用紙のセット 18

用紙のセット

給紙カセットおよびMPカセットに用紙をセットする手順について説明します。

説明の中に使用するイラストは給紙カセットのときのものです。MPカセットのときも手順は同じです。

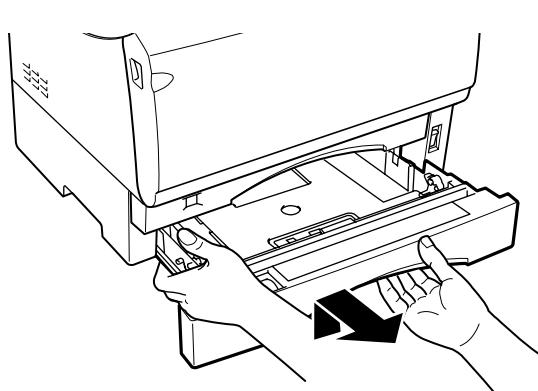
なお、給紙カセットとMPカセットをとくに区別しないときは「カセット」と表記します。

▶お願い

リーガル、官製はがき、厚紙（質量 81.5g/m² ~ 128g/m²）
OHP フィルム、ラベル紙、不定形用紙は、給紙カセットからは印刷できません。MP カセットから印刷してください。

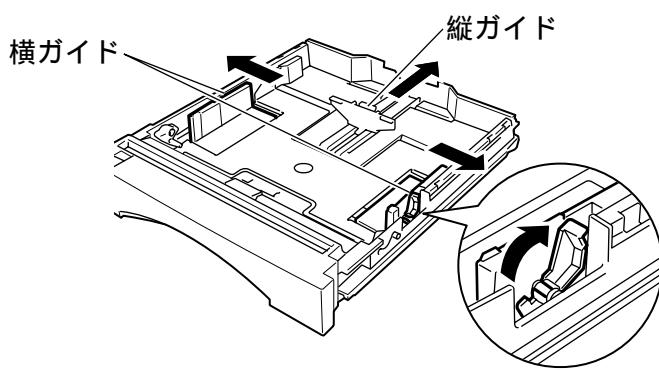
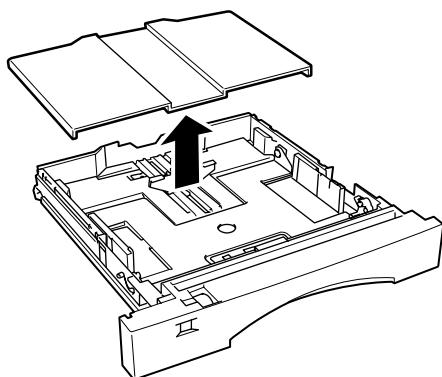
・ガイド

- 異なるサイズの用紙を、同時に1つのカセットにセットすることはできません。
- プリンタにセットする用紙は、未使用のものを使用してください。一度印刷した用紙をセットして印刷すると、給紙できない、または紙づまりが発生するなど、プリンタの故障の原因となることがあります。
- カセット前面のゴムには手を触れないでください。正しく給紙されない原因となることがあります。
- MP カセットにリーガル、官製はがき、および不定形用紙をセットするときは、用紙サイズダイヤルを「ユーザ指定」にします。



- 1 カセットを両手で軽く持ち上げてゆっくりと取り外し、平らな場所に置く

2 カセットカバーを取り外す



4 横ガイドのロックを外し、外側にずらす

横ガイドの
ロックを外す

5 カセットの長さを用紙サイズに合わせる

スライドカセットロックを左に動かして「UNLOCK」にし、カセットの長さを用紙サイズに合わせたあと、「LOCK」に戻します。

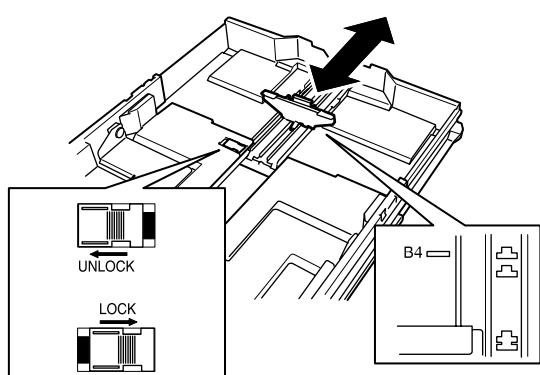
次の用紙サイズのときは、カセットを縮めます。

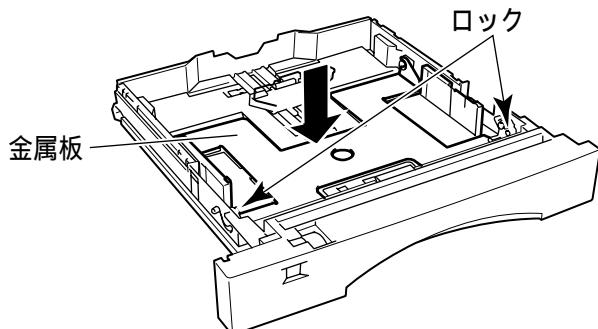
A4、B5、A5、レター、

官製はがき

次の用紙サイズのときは、カセットを伸ばします。

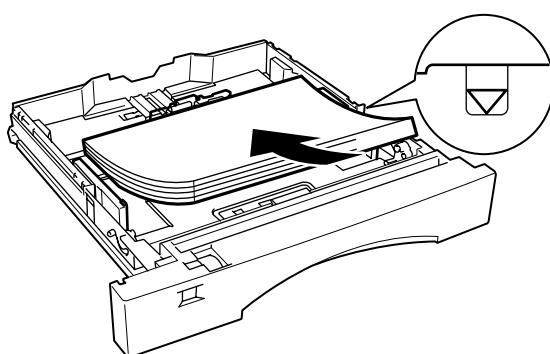
A3、B4、リーガル





6 紙給力セト内に金属板を下げる

給紙力セト内に金属板が上がっている場合は、手で下げて、上に浮き上がらないようにロックします。金属板の左右が確実にロックされていることを確認してください。



7 印刷する面を上にして、縦ガイド側から用紙を挿えてセットする

用紙サイズによって、置く向きが異なります。

縦置き … A4、A3、B4、官製はがき*、リーガル*

横置き … A4、B5、A5、レター

* : MP カセットのみ

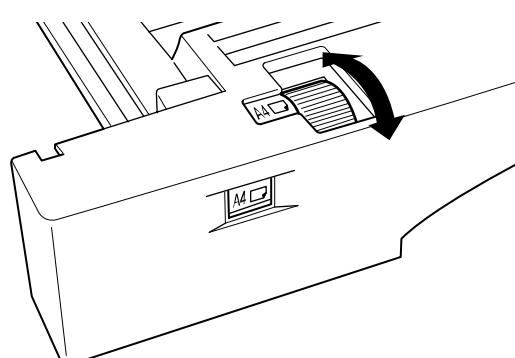
お願い

- ・折り目やシワの入った用紙は使用しないでください。
- ・横ガイドの最大積載表示()がセットできる用紙枚数の上限です。最大積載表示を超えないように用紙をセットしてください。
- ・用紙が左右のツメの上に載らないようにしてください。

ガイド

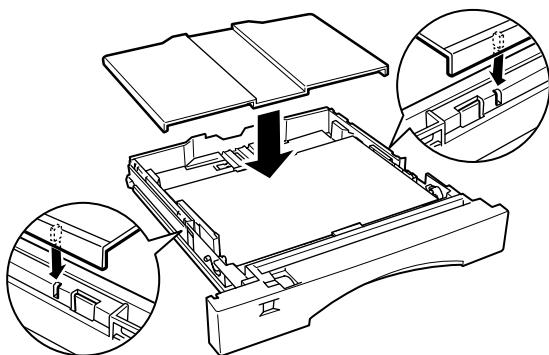
給紙力セトに収容できる枚数は約 250 枚 (64g/m² の場合)
MP カセットに収容できる枚数は約 100 枚 (64g/m² の場合) です。

8 横ガイドと縦ガイドの位置を調整する

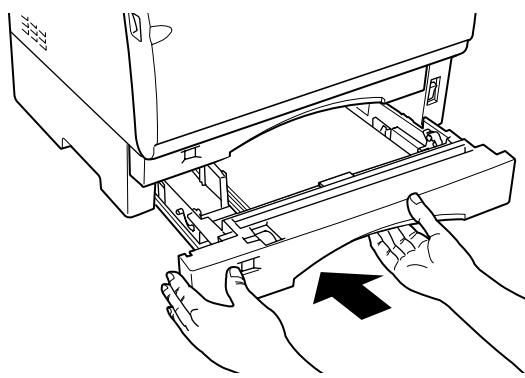


9 用紙サイズダイヤルを回して、用紙サイズの表示がセットする用紙のサイズになるように設定する

MP カセットにリーガル、官製はがき、および不定形用紙をセットするときは、「ユーザ指定」に設定します。



10 紙給料カセットの溝に合わせて、カセットカバーを取り付ける

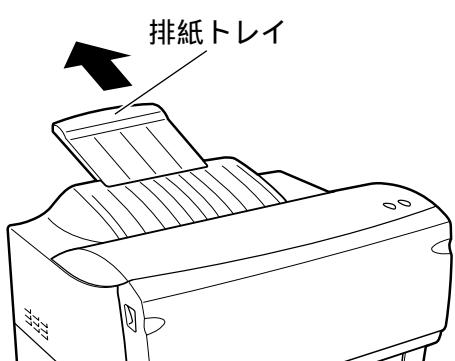


11 紙給料カセットをプリンタにセットする

紙給料カセットを両手で持ち、ゆっくり差し込みます。

▶ お願い

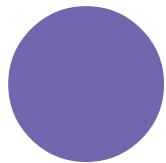
用紙をセットした紙給料カセットは重くなります。プリンタにセットするときは、紙給料カセットを両手で持ってください。



12 A4幅より長いサイズの用紙をセットしたときは、排紙トレイを引き出す

第4章

パソコンとの接続と プリンタドライバのインストール



この章では、プリンタをパソコンに接続する方法について説明します。

パソコンとの接続方法	24
パラレルインターフェースでの接続とインストール	26
USB インタフェースでの接続とインストール ..	33

パソコンとの接続方法

パソコンとプリンタの接続方法、およびプリンタドライバのインストール手順は、パソコンがサポートしているインターフェースによって異なります。

パラレルインターフェース

パソコン 双方向パラレルインターフェースをサポートする PC/AT
互換機
OS Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP 日本語版
セットアップ方法 ... インストーラによるセットアップ
(Windows 95/98/Me/NT4.0/2000)
プラグアンドプレイによるセットアップ(Windows XP)

 「パラレルインターフェースでの接続とインストール」(26 ページ) 参照

USBインターフェース

パソコン USBインターフェースを内蔵する PC/AT 互換機
OS Windows 98/Me/2000/XP 日本語版
セットアップ方法 ... プラグアンドプレイによるセットアップ

 「USBインターフェースでの接続とインストール」(33 ページ) 参照

 「USBについての詳細」
「XL-4000 の特長」(4 ページ) 参照

お願い

- ・本ドライバは他機種のプリンタで使用することはできません。また同様に、他機種用のドライバを本プリンタで使用することはできません。
- ・本ドライバは、Windows NT4.0 Terminal Server Edition および Windows 2000 Terminal Service では使用できません。
- ・本ドライバは、双方向通信機能が必須です。OSの双方向機能を無効にして使用することはできません。
- ・本プリンタはネットワークによるプリンタの共有や LAN アダプタなどによる接続には対応していません。
- ・コマンドプロンプトからの COPY コマンド等、プリンタに直接データを送信する印刷には対応していません。


ガイド

お使いのパソコンがUSBに対応しているかどうかを以下の画面で確認することができます。

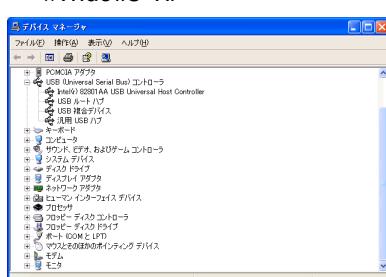
Windows 98/Me



Windows 2000



Windows XP



1 [マイコンピュータ]-[プロパティ]-[デバイスマネージャ]タブを開きます。

2 [ユニバーサルシリアルバスコントローラ]の下に、以下の2つが表示されていることを確認します。

- ・USBのホストコントローラ
- ・[USB ルートハブ]

1 [マイコンピュータ]-[コントロールパネル]-[システム]-[デバイスマネージャ]の順にクリックします。

2 [USB(Universal Serial Bus)コントローラ]の下に、以下の2つが表示されていることを確認します。

- ・USBのホストコントローラ
- ・[USB ルートハブ]

1 [スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]を開き、「関連項目」から[システム]-[ハードウェア]-[デバイスマネージャ]の順にクリックします。

2 [USB(Universal Serial Bus)コントローラ]の下に、以下の2つが表示されていることを確認します。

- ・USBのホストコントローラ
- ・[USB ルートハブ]

パラレルインタフェースでの接続とインストール

パソコンとの接続

セントロニクス準拠のパラレルインタフェースにパソコンを接続する方法について説明します。



感電 プリンタケーブルを接続するときは、必ず本プリンタとパソコンの電源を切ってください。電源を切らずに接続すると、感電の原因となります。



故障 ケーブルの接続は本書をよく読み、接続に間違いがないようにしてください。

誤った接続状態で使用すると、プリンタおよびパソコンが故障する原因となることがあります。



お願い

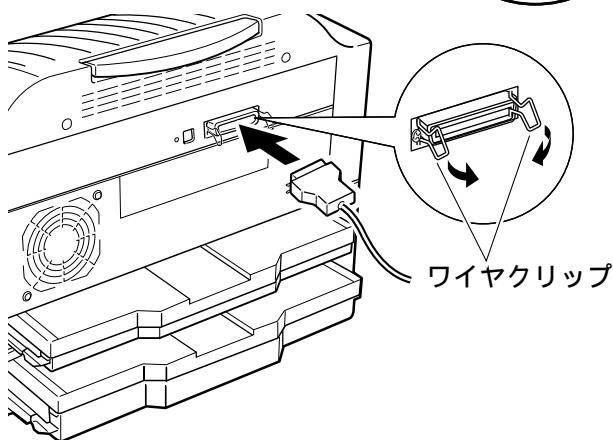
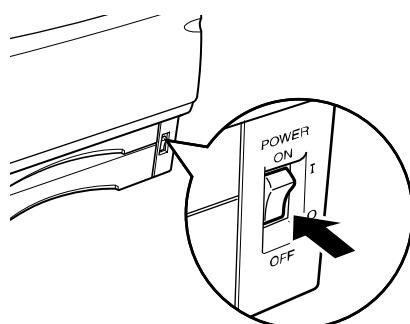
- ・プリンタとパソコンを接続するときは、パラレルインタフェースまたはUSBインタフェースのいずれか一方に接続してください（同時に接続した運用はできません）。
- ・プリンタケーブルについては、次の制約があります。
 - ・パソコンとプリンタの接続には、シールドケーブルをお使いください。
 - ・ケーブルの長さは、1.5メートル以下のものをお使いください。
- ・本プリンタには、プリンタケーブルは添付されていません。パソコンに添付のケーブルか別売ケーブルをお使いください。



「プリンタケーブルについて（135ページ）」参照
・本プリンタは、ネットワーク共有できません。

1 プリンタとパソコンの電源の切断を確認する

電源スイッチが「|」側に倒れている状態です。



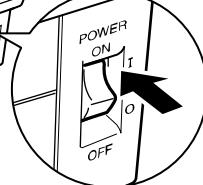
2 プリンタケーブルを接続する

プリンタケーブルをプリンタ背面にあるプリンタケーブルコネクタに差し込み、両側のワイヤクリップで固定します。

パソコン側の接続は、パソコン側の取扱説明書を参照してください。

3 プリンタの電源を入れる

電源スイッチを「|」側に倒します。



4 パソコンの電源を入れ、Windows を起動する

Windows がすでに起動している場合は、必ず再起動してください。

Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 の場合

「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されたら、〔キャンセル〕をクリックし、プリンタドライバのインストールに進んでください。

 参照 「プリンタドライバのインストール (Windows 95/98/Me/NT4.0/2000)」(28 ページ) 参照

Windows XP の場合

プリンタドライバのインストールに進んでください。

 参照 「プリンタドライバのインストール (Windows XP)」(31 ページ) 参照

■ プリンタドライバのインストール

(Windows 95/98/Me/NT4.0/2000)

ここでは、添付のCD-ROMに収められているインストーラを使用して、プリンタドライバをインストールする手順について説明します。

ガイド

Windows起動後、プラグアンドプレイにより「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されることがあります。このときは〔キャンセル〕をクリックしてください。



1 添付のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、インストールするドライバを選択する

次のいずれかの方法でインストール画面を表示します。

- ・エクスプローラでCD-ROMの内容を表示し、setup.exeを実行(ダブルクリック)する
- ・[スタート]から[ファイルを指定して実行]を選択し、次のように入力して[OK]をクリックする

D:\setup.exe (CD-ROMドライブがD:のとき)

2 プリンタの設定を行う



設定を変える場合は変更したい箇所を選択し、[設定変更]をクリックする
次ページへ進みます。

インストールを開始する場合は[インストール開始]をクリックする
手順3(30ページ)の操作へ進みます。

各設定についての画面の説明をします。

ポート名設定画面



使用するポートを選択し、
〔次へ〕をクリックする

通常はプリンタポート（通常
LPT1:）を選択します。

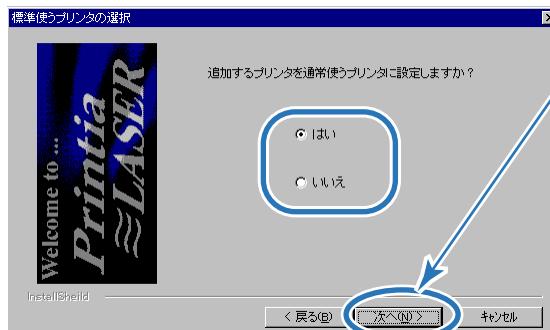
プリンタ名設定画面



プリンタ名を指定し〔次へ〕
をクリックする

プリンタ名は、半角31文字、全
角15文字以内で設定してください。

通常使うプリンタに設定画面



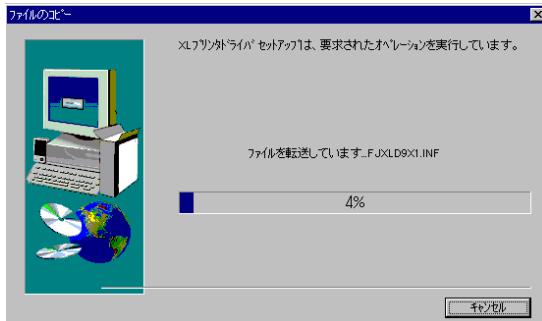
通常使うプリンタに設定する
かどうか選択し〔次へ〕をク
リックする

他にインストールされているプ
リンタがない場合は、自動的に
通常使うプリンタに設定されま
す。

選択した設定の変更がすべて終了してから〔次へ〕をクリックすると、
手順2の画面に戻ります。

3

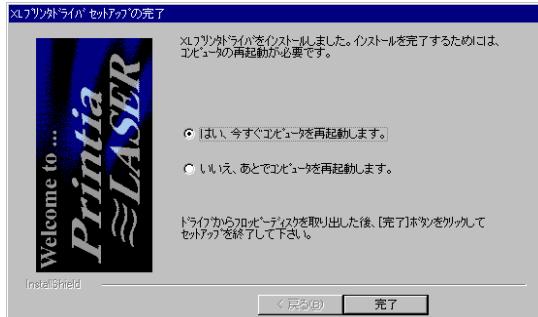
〔完了〕をクリックし、Windows を再起動する



ファイルのコピーが開始されます。



インストール終了



Windows を再起動するとインストールが完了します。

以降は必要に応じて各章を参照してください。

 [参考](#) プリンタドライバの機能を使っていろいろな印刷を行いたいとき
「[第5章 プリンタドライバの設定](#)」(49 ページ) 参照

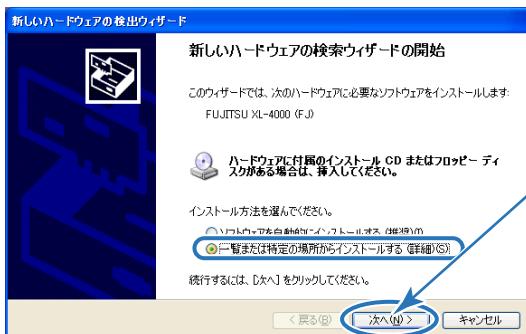
 [参考](#) インストールやテスト印刷がうまくいかなかったとき
「[第8章 困ったときには](#)」(105 ページ) 参照

■ プリンタドライバのインストール (Windows XP)

Windows XP のときに、プラグアンドプレイでプリンタドライバをインストールする手順について説明します。



管理者権限でログオンしてください。

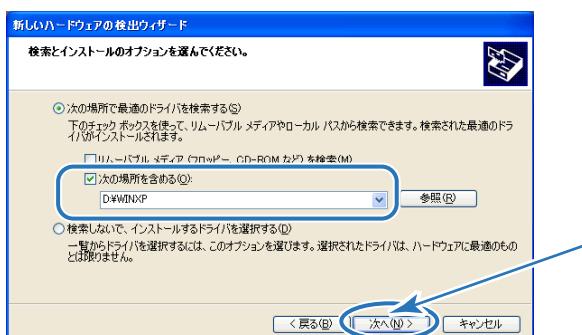


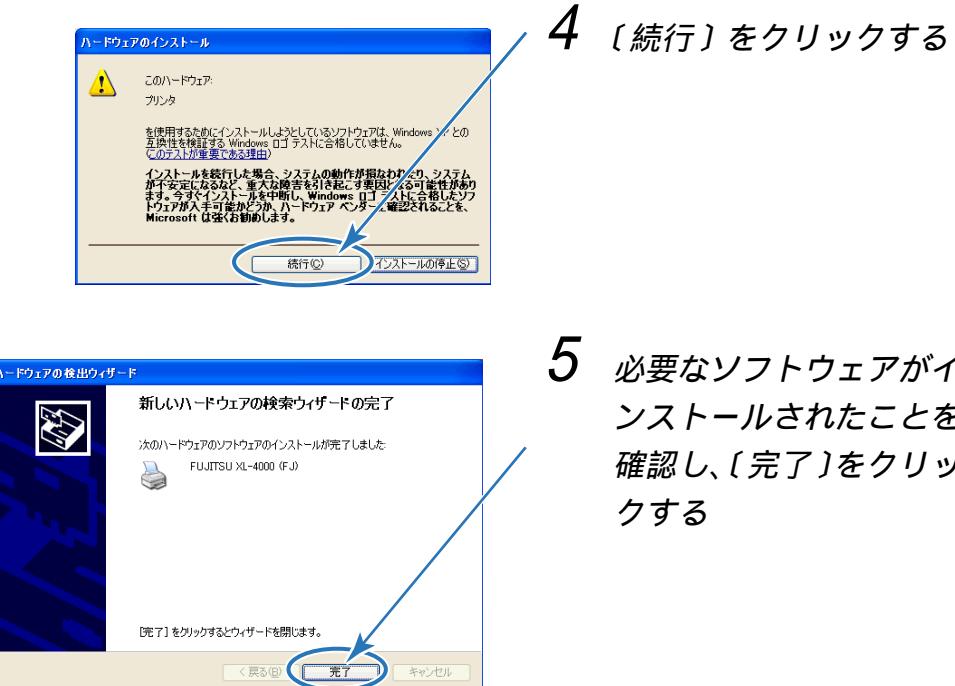
- 1 「一覧または特定の場所からインストールする(詳細)」を選択し、[次へ] をクリックする

- 2 添付の CD-ROM をセットする

CD-ROM をセットした後に「Printia LASER プリンタユーティリティ」の画面が自動的に起動した場合は、[終了] を選択して閉じてください。

- 3 「次の場所を含める」をチェックし、「D:\WINXP」(CD-ROM ドライバが D: の場合)を入力し、[次へ] をクリックする





以上でインストールは完了です。



通常使うプリンタに設定する場合には〔スタート〕から〔プリンタとFAX〕を選択し、〔FUJITSU XL-4000〕アイコンをダブルクリックし、〔プリンタ〕メニューから〔通常使うプリンタに設定〕を選択します。

以降は必要に応じて各章を参照してください。



プリンタドライバの機能を使っていろいろな印刷を行いたいとき
「第5章 プリンタドライバの設定」(49ページ) 参照



インストールやテスト印刷がうまくいかなかったとき
「第8章 困ったときには」(105ページ) 参照

USB インタフェースでの接続とインストール

パソコンとの接続

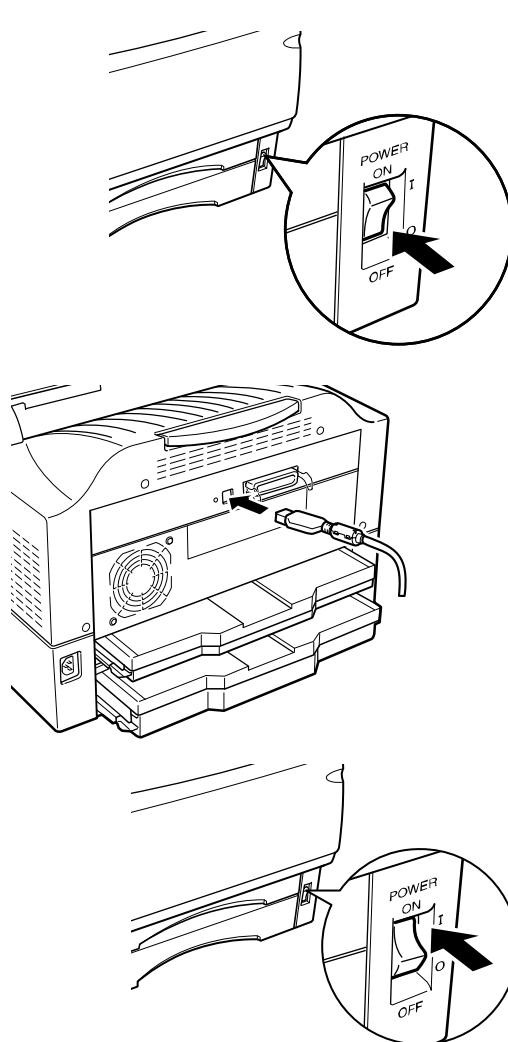
USB インタフェースにパソコンを接続する方法について説明します。

お願い

- ・Windows 3.1/95 から Windows 98/Me ヘアップグレードインストールした環境での動作は保証できません。
- ・Windows 95/NT4.0 では動作しません。
- ・パソコンとプリンタの接続に使用する USB ケーブルは、5m 以下のシールドケーブルをお使いください。
- ・印刷中に USB ケーブルを抜き差ししないでください。
- ・USB ハブを使用する場合は、パソコンと直接接続された USB ハブに接続してください。
- ・2 台以上の XL-4000 を、同時に USB ハブに接続して使用することはできません。
- ・本プリンタと接続した USB ケーブルのもう一方は、パソコン本体の USB コネクタ、またはセルフパワータイプの USB ハブ(電源コードや AC アダプタにより電源が供給されるタイプのハブ) のコネクタに接続してください。上記以外の USB コネクタに接続すると、正常に動作しない場合があります。
- ・プリンタとパソコンを接続するときには、パラレルインターフェースまたは USB インタフェースのいずれか一方に接続してください(同時に接続した運用はできません)。
- ・本プリンタは、ネットワーク共有できません。

ガイド

- ・お使いのパソコンが USB に対応しているかどうかを確認する方法については、25 ページを参照してください。
- ・USB1.1 に準拠した USB ケーブルを用意してください。
- ・USB ケーブルは本プリンタには添付されていません。お使いのパソコンに合わせて、別途購入してください。
 「プリンタケーブルについて」(135 ページ) 参照
- ・Windows 2000/XP のときは、管理者権限でログオンしてください。
- ・Windows 98 をお使いの方で USB ハブ経由でプリンタを接続している場合、USB ハブの異なるポートへ接続し直すときは、パソコン本体の電源をいったん切り、再度電源を投入した後、USB ケーブルを接続してください。



1 プリンタとパソコンの電源の切断を確認する

電源スイッチが「」側に倒れている状態です。

2 USBケーブルを接続する

USBケーブルをプリンタ背面にあるUSBケーブルコネクタに差し込みます。

パソコン側の接続は、パソコン側の取扱説明書を参照してください。

3 プリンタの電源を入れる

電源スイッチを「」側に倒します。

4 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する

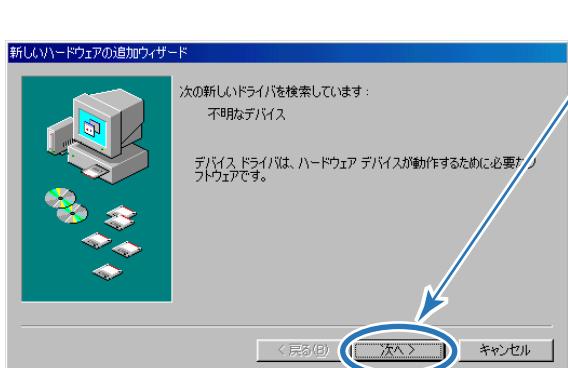
Windows 98をお使いの場合は、35ページに進んでください。

Windows Meをお使いの場合は、39ページに進んでください。

Windows 2000をお使いの場合は、42ページに進んでください。

Windows XPをお使いの場合は、45ページに進んでください。

■ プリンタドライバのインストール (USBによるプラグアンドプレイ:Windows 98)



1 [新しいハードウェアの追加ウィザード]が表示されたら、[次へ]をクリックする

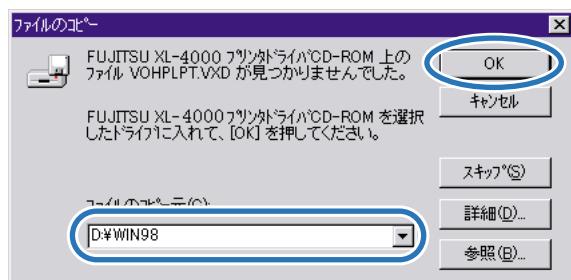


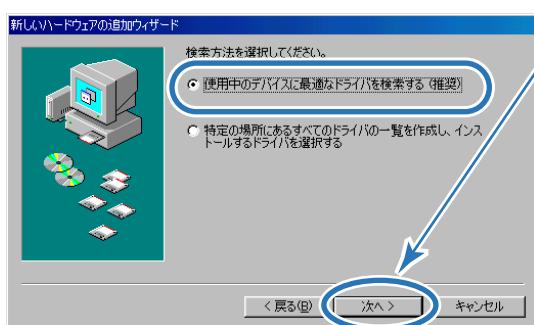
[ディスクの挿入]が表示されたときは、次の操作をしてください。

1 添付のCD-ROMをセットし、[OK]をクリックします。

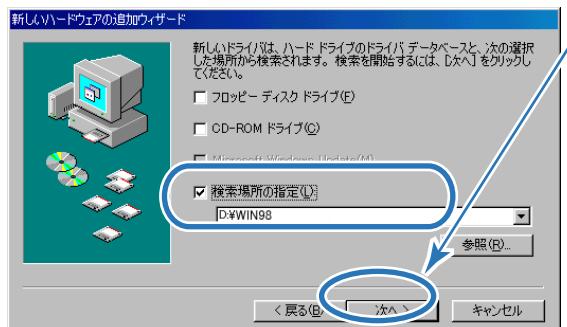


2 [ファイルのコピー元]に「D:\WIN98」(CD-ROMドライブがD:の場合)と入力し、[OK]をクリックします。





- 2 [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)]を選択し、[次へ]をクリックする



- 3 添付のCD-ROMをセットする

- 4 [検索場所の指定]に「D:\WIN98」(CD-ROMドライブがD:の場合)と入力し、[次へ]をクリックする



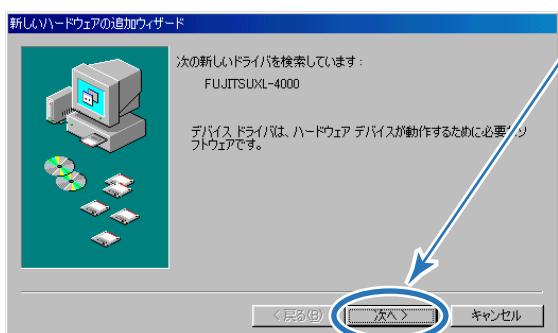
- 5 「次のデバイス用のドライバファイルを検索します:USB Printing Support」と表示されていることを確認し、[次へ]をクリックする



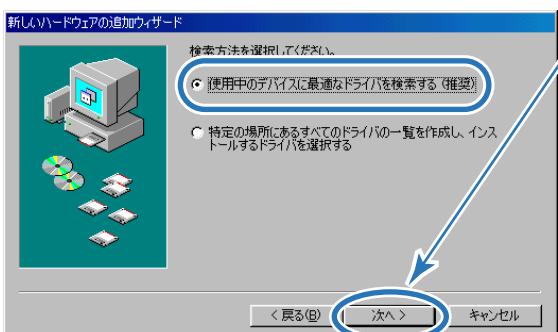
- 6 必要なソフトウェアがインストールされたことを確認し、[完了]をクリックする

USBケーブルに接続しているプリンタが自動的に検出されます。

7 「次の新しいドライバを検索しています: FUJITSU XL-4000」と表示されていることを確認し、[次へ]をクリックする



8 [使用中のデバイスに最適なドライブを検索する(推奨)]を選択し、[次へ]をクリックする

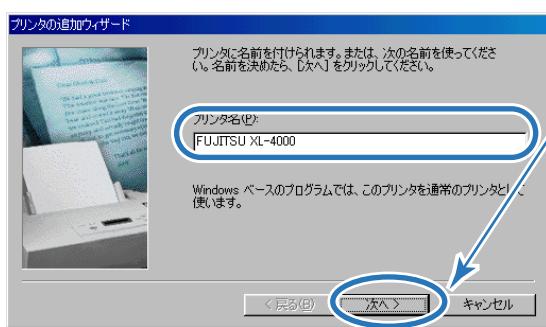


9 [検索場所の指定]にチェックを付け、「D: ¥ WIN98」(CD-ROM ドライブが D: の場合)と入力し、[次へ]をクリックする

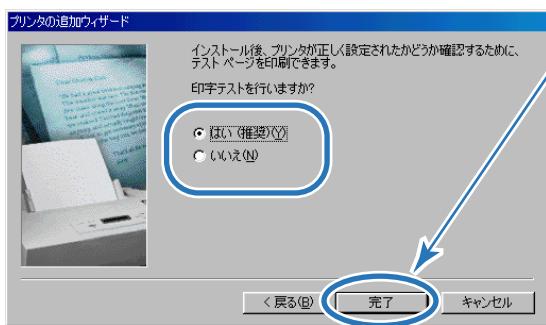


10 「このデバイスに最適なドライバをインストールする準備ができました」と表示されることを確認し、[次へ]をクリックする





11 プリンタ名を設定し、[次へ] をクリックする



12 プリンタの接続を確認するためにはテスト印刷を行うときは「はい」、行わない場合は「いいえ」を選択し、[完了] をクリックする



13 必要なソフトウェアがインストールされたことを確認し、[完了] をクリックする

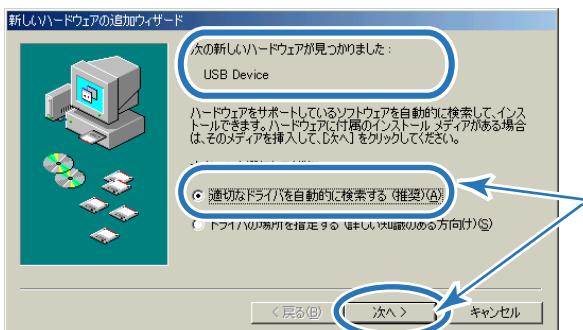
14 [スタート]メニューより「Windowsの終了」を選択し、Windowsを再起動する
インストールが完了します。

以降は必要に応じて各章を参照してください。

 参照 プリンタドライバの機能を使っていろいろな印刷を行いたいとき
「第5章 プリンタドライバの設定」(49ページ) 参照

 参照 インストールやテスト印刷がうまくいかなかったとき
「第8章 困ったときには」(105ページ) 参照

■ プリンタドライバのインストール (USBによるプラグアンドプレイ:Windows Me)

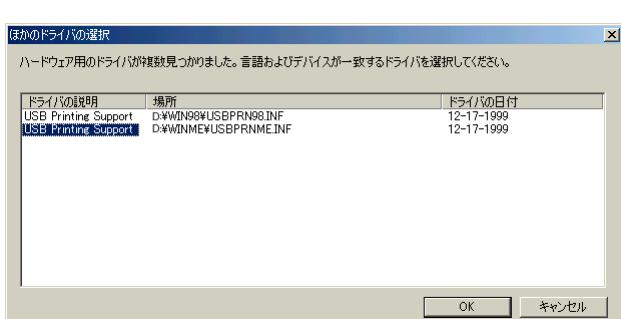
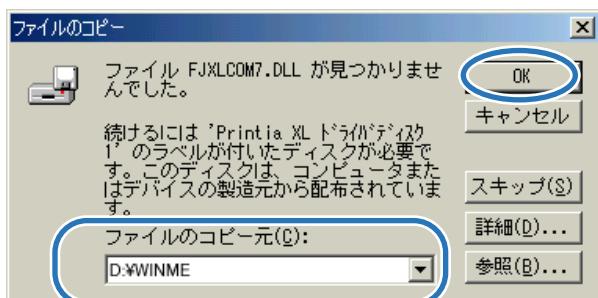


- 1 「次の新しいハードウェアが見つかりました: USB Device」と表示されることを確認する
添付のCD-ROMをセットし、[適切なドライバを自動的に検索する(推奨)]を選択して、[次へ]をクリックします。



[ファイルのコピー]が表示されたときは、次の操作をします。

添付のCD-ROMをセットし、[ファイルのコピー元]に「D:\WINME」(CD-ROMドライブがD:の場合)と入力し、[OK]をクリックします。

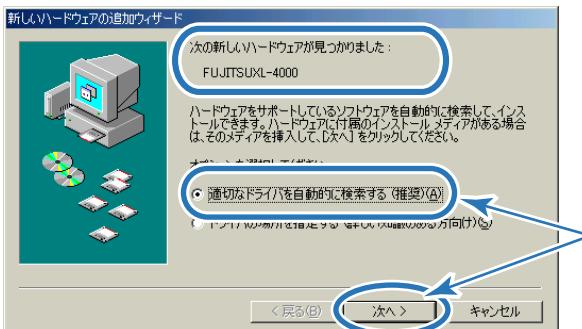


- 2 「ほかのドライバの選択」画面が表示されたら、[場所]が[D:\WINME\USBPRINME_.INF](CD-ROMドライブがD:の場合)のドライバを選択し、[OK]をクリックする



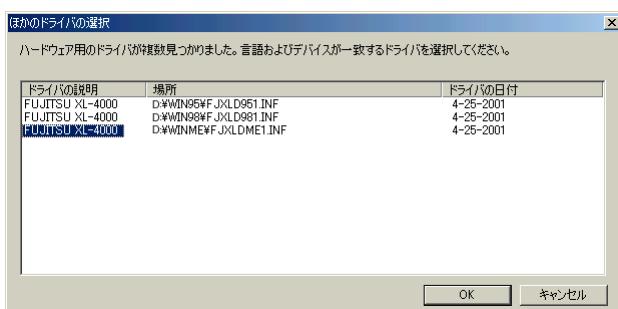
3 必要なソフトウェアがインストールされたことを確認し、[完了]をクリックする

USB ケーブルに接続しているプリンタが自動的に検出されます。

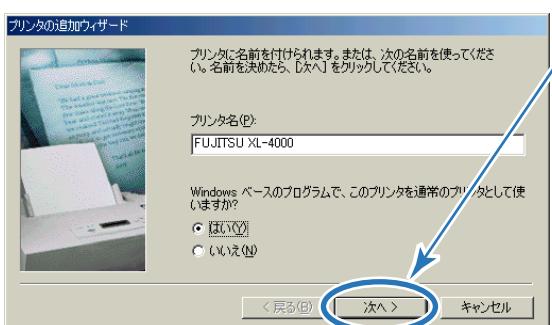


4 「次の新しいハードウェアが見つかりました : FUJITSU XL-4000」と表示されていることを確認する

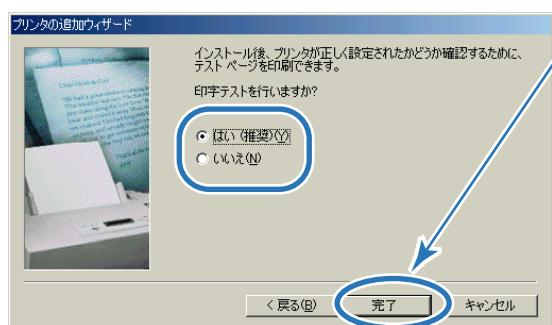
[適切なドライバを自動的に検索する (推奨)] を選択し、[次へ] をクリックします。



5 「ほかのドライバの選択」画面が表示されたら、「場所」が [D:\WINME\FJXLDE1.INF] (CD-ROM ドライブが D: の場合) のドライバを選択し、[OK] をクリックする



6 プリンタ名および通常使うプリンタにするかどうかを設定し、[次へ]をクリックする



7 プリンタとの接続を確認するためにテスト印刷を行うときは、「はい」、行わないときは「いいえ」を選択し、[完了]をクリックする



8 必要なソフトウェアがインストールされたことを確認し、[完了]をクリックする

9 [スタート]メニューより「Windowsの終了」を選択し、Windowsを再起動する

インストールが完了します。

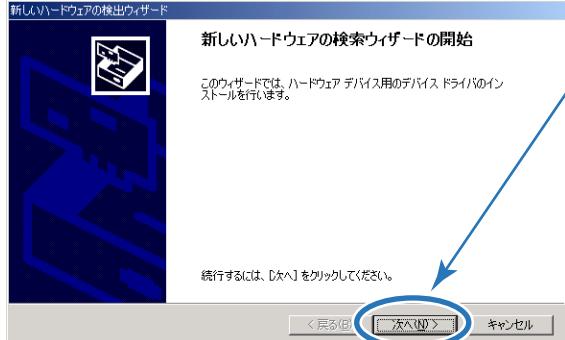
以降は必要に応じて各章を参照してください。

 参照 プリンタドライバの機能を使っていろいろな印刷を行いたいとき
「第5章 プリンタドライバの設定」(49ページ) 参照

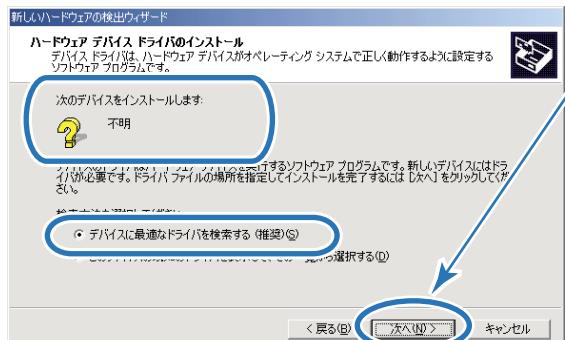
 参照 インストールやテスト印刷がうまくいかなかったとき
「第8章 困ったときには」(105ページ) 参照

■ プリンタドライバのインストール (USBによるプラグアンドプレイ : Windows 2000)

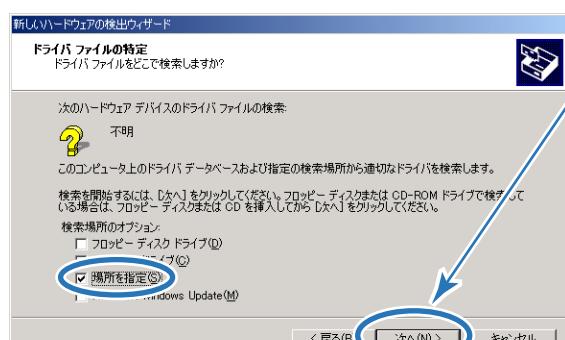
● ガイド Windows 2000のときは、管理者権限でログオンしてください。



1 [新しいハードウェアの検出ウィザード]画面が表示されたら、[次へ]をクリックする
画面が表示されるのに1~2分間かかることがあります。

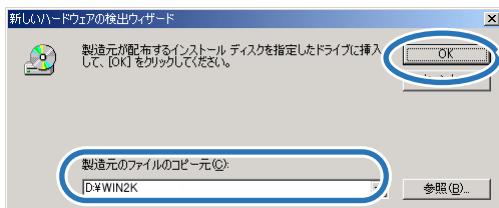


2 「次のデバイスをインストールします」と表示されていることを確認する
[デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)]を選択し、[次へ]をクリックします。

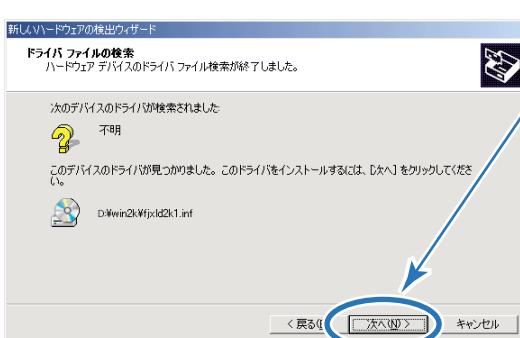


3 [場所を指定]を選択し、[次へ]をクリックする

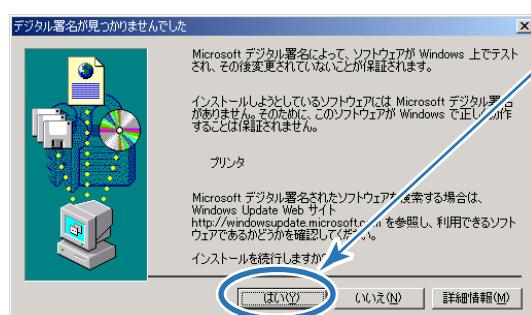
4 添付の CD-ROM をセットする



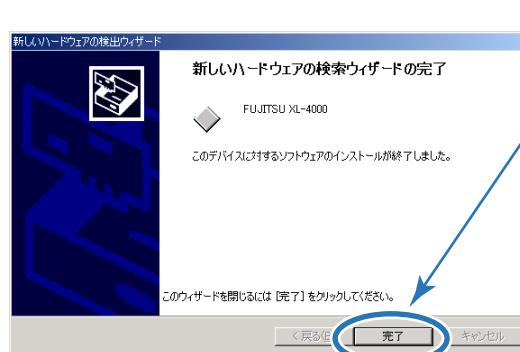
5 [製造元のファイルのコピー元] に「D:\WIN2K」(CD-ROM ドライブが D: の場合) と入力し、[OK] をクリックする



6 「次のデバイスのドライバが検索されました」と表示されていることを確認し、[次へ] をクリックする



7 「デジタル署名が見つかりませんでした」画面で、[はい] をクリックする
ファイルのコピーが開始されます。



8 「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」画面で〔完了〕をクリックする

9 [スタート]メニューより「シャットダウン」を選択し、
Windows を再起動する
インストールが完了します。

● **ガイド** 通常使うプリンタに設定する場合には[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択し、[FUJITSU XL-4000]アイコンを右クリックし、[通常使うプリンタに設定]を選択します。

以降は必要に応じて各章を参照してください。

 参照 プリンタドライバの機能を使っていろいろな印刷を行いたいとき

「第5章 プリンタドライバの設定」(49ページ) 参照

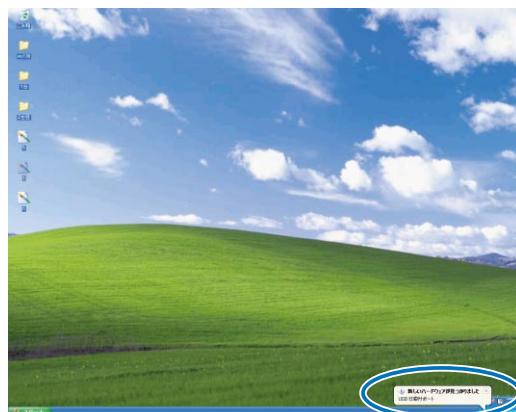
 参照 インストールやテスト印刷がうまくいかなかったとき
「第8章 困ったときには」(105ページ) 参照

■ プリンタドライバのインストール (USBによるプラグアンドプレイ:Windows XP)

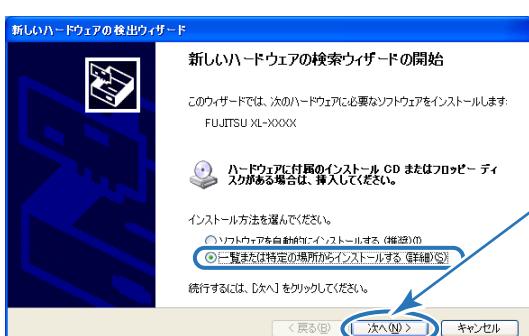


Windows XPのときは、管理者権限でログオンしてください。

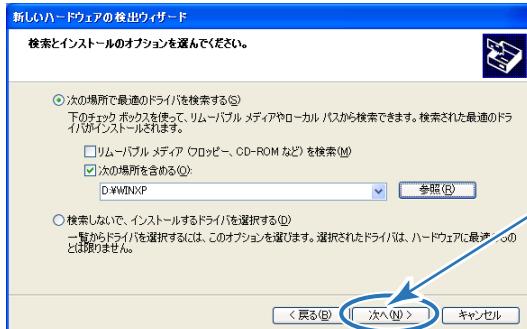
USBポートにプリンタを接続し、プリンタとパソコンの電源を入れると、次の画面が表示され、プラグアンドプレイによるUSBドライバのインストールが始まります。



以降の手順に従ってプリンタドライバをインストールしてください。

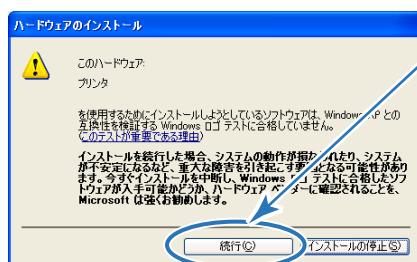


- 「一覧または特定の場所からインストールする(詳細)」を選択し、「次へ(N)」をクリックする

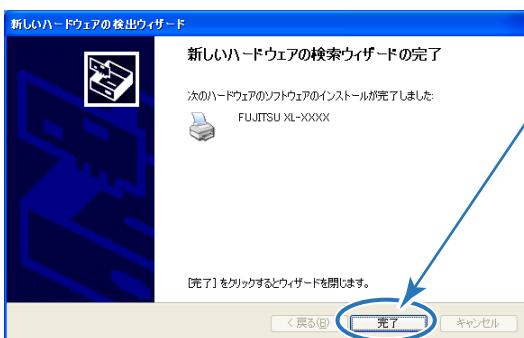


2 添付の CD-ROM をセットする

3 「次の場所を含める」をチェックし、「D:\WINXP」(CD-ROM ドライバが D: の場合)を入力し、[次へ] をクリックする



4 [続行] をクリックする



5 必要なソフトウェアがインストールされたことを確認し、[完了] をクリックする

6 [スタート] メニューから [シャットダウン] を選択し、Windows を再起動する

以上でインストールは完了です。

 ガイド

通常使うプリンタに設定する場合には〔スタート〕から〔プリンタとFAX〕を選択し、〔FUJITSU XL-4000〕アイコンをダブルクリックし、〔プリンタ〕メニューから〔通常使うプリンタに設定〕を選択します。

以降は必要に応じて各章を参照してください。



プリンタドライバの機能を使っていろいろな印刷を行いたいとき

「第5章 プリンタドライバの設定」(49ページ) 参照

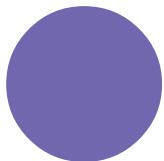


インストールやテスト印刷がうまくいかなかったとき

「第8章 困ったときには」(105ページ) 参照

第5章

プリンタドライバの設定



この章では、プリンタドライバの設定項目および設定方法について説明します。

設定の手順	50
ダイアログ一覧	55
プリンタドライバが提供するダイアログ	55
OS が提供する共通のダイアログ	57
設定項目の詳細	59
新しいドライバに置き換えるとき (プリンタドライバの削除)	75

設定の手順

プリンタドライバでは、用紙サイズ、印刷方向、複数ページ割り付け、拡大／縮小印刷など、印刷に関する設定を行うことができます。ここでは、これらを設定する手順について説明します。

■ アプリケーションからの設定

アプリケーションソフトから印刷を行うときに、用紙サイズや解像度など、印刷に関する設定を行う画面の表示方法と設定手順について説明します。

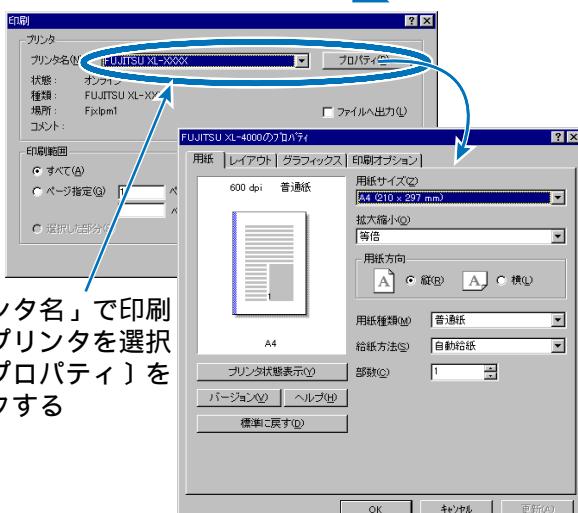
▶ 設定画面の表示方法

設定画面の表示方法は、アプリケーションによって異なります。ここでは、ワードパッドを例に説明します。

ワードパッドの〔ファイル〕メニューから〔印刷〕を選択する

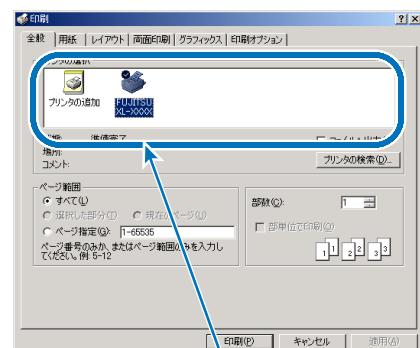


Windows 95/98/Me/NT4.0のとき



「プリンタ名」で印刷を行うプリンタを選択し、〔プロパティ〕をクリックする

Windows 2000/XPのとき
画面はWindows 2000の場合です。



「プリンタの選択」で印刷を行うプリンタを選択する
選択したプリンタによって後ろのタブが切り替わります。

▶ 設定方法

前ページの操作により、次の画面が表示されます。

設定を変更する手順を以下に示します。



- 1 設定を変更するダイアログのタブをクリックする

参照 各ダイアログの設定内容については、「ダイアログ一覧」(55ページ)参照

2 設定を変更する

[標準に戻す]のあるダイアログでは、このボタンをクリックすると、表示中のダイアログの設定値を初期値に戻します。

3 変更した値を保存またはキャンセルする

[OK] 設定を保存して画面を終了

[適用] 画面を開いたまま設定を保存

[キャンセル] .. 設定を保存せずに画面を終了

■ 装置に関する設定 / 印刷に関する既定値

OSが提供する設定を行う画面です。

また、用紙サイズや印刷に関する既定値(アプリケーションソフトから印刷設定を行わない場合に使用する設定値)も設定できます。



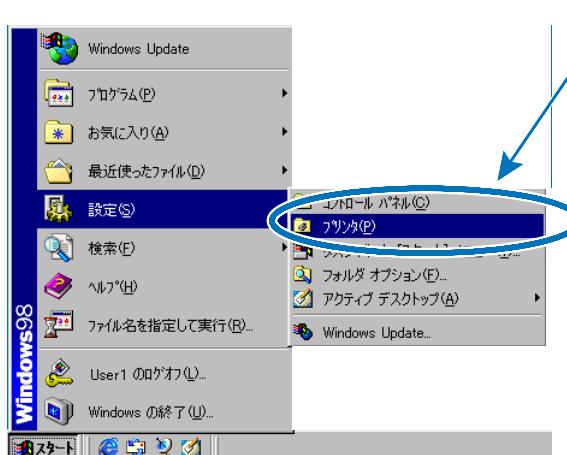
Windows NT4.0/2000/XPでは、一般ユーザはこの設定を変更できません。設定するときは、管理者グループのメンバーでログオンしてください。

▶ 設定画面の表示方法

装置に関する設定、および印刷に関する既定値の設定を行う画面は、次の手順で表示します。

OSによって選択するメニューが異なりますので、ご注意ください。

1、2の画面はWindows 98の場合です。



1 Windows 95/98/Me/NT4.0/
2000 のとき
[スタート]から[設定]
[プリンタ]の順に選択
する

Windows XP のとき
[スタート]から[プリ
ンタとFAX]を選択する



2 設定を行うプリンタをク
リックする

3 設定画面を表示する

装置に関する設定、および印刷に関する既定値の設定を行う画面は、OSによって次のように異なります。

OS	装置に関する設定	印刷に関する既定値の設定
Windows 95/98/Me	プリンタのプロパティ	プリンタのプロパティ
Windows NT4.0	プリンタのプロパティ	ドキュメントの既定値
Windows 2000/XP	プリンタのプロパティ	印刷設定

設定を行う項目に合わせて、画面を表示してください。

「プリンタのプロパティ」の表示

画面は Windows 98 の場合です。

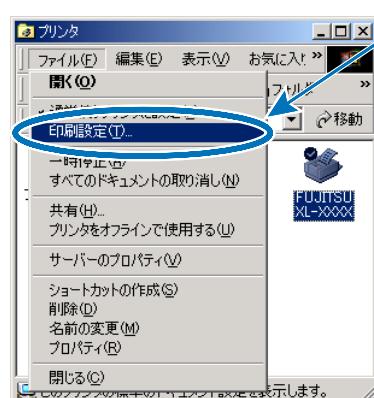


[ファイル]メニューの[プロパティ]を選択する

表示される画面は、OSによって異なります。

「印刷設定」(Windows 2000/XP) / 「ドキュメントの既定値」(Windows NT4.0)の表示

画面は Windows 2000/XP の場合です。



[ファイル]メニューから、
Windows NT4.0 のときは [ドキュメントの既定値] を、
Windows 2000/XP のときは
[印刷設定] を選択する

▷ 設定方法

画面はWindows 98のプリンタのプロパティです。



1 設定を変更するダイアログのタブをクリックする

参照 各ダイアログの設定内容については、「ダイアログ一覧」(55ページ)参照

2 設定を変更する

[標準に戻す]ボタンがあるダイアログでは、このボタンをクリックすると、表示中のダイアログの設定値を初期値に戻します。

3 変更した値を保存またはキャンセルする

[OK] 設定を保存して画面を終了

[適用] 画面を開いたまま設定を保存

[キャンセル].. 設定を保存せずに画面を終了

ダイアログ一覧

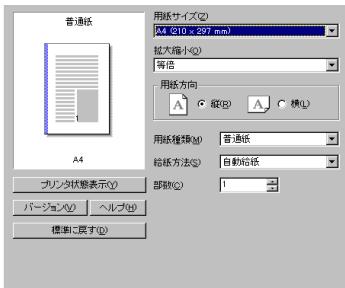
▼ プリンタドライバが提供するダイアログ

プリンタドライバの設定を変更するためのダイアログの一覧を示します。

 参照 各ダイアログで設定できる機能の詳細については、「設定項目の詳細」(59ページ) 参照

画面	説明
----	----

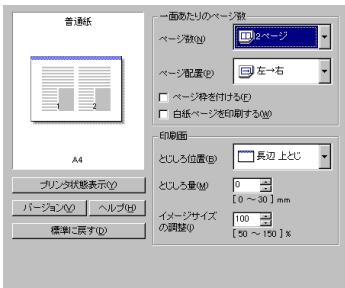
[用紙]



用紙サイズや種類、印刷の向きなどの用紙に関する設定や給紙／排紙に関する設定を行います。

 参照 「[用紙] ダイアログ」(62ページ) 参照
「拡大 / 縮小印刷」(63ページ) 参照

[レイアウト]

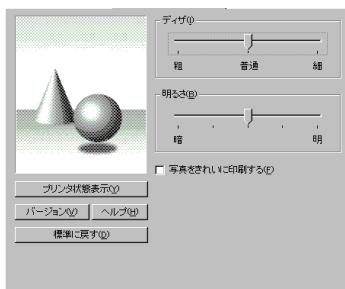


1枚の用紙に対するページの配置を設定します。

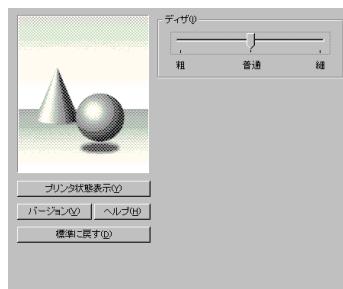
 参照 「[レイアウト] ダイアログ」(64ページ) 参照
「複数ページ割り付け印刷」(64ページ) 参照

[グラフィックス]

Windows 95/98/Me のとき

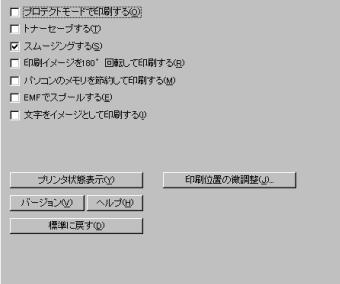
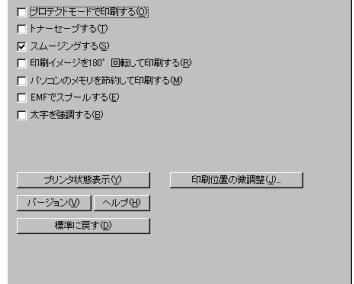
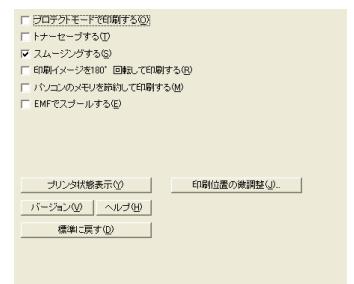


Windows NT4.0/2000/XP のとき



ディザインパターンを設定します。

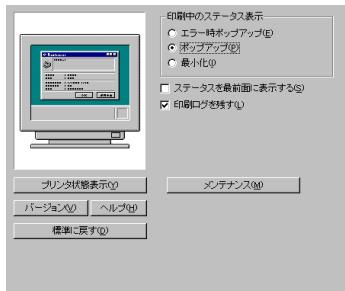
 参照 「[グラフィックス] ダイアログ」(66ページ) 参照

画面	説明
[印刷オプション]	
Windows 95/98/Me のとき	Windows NT4.0/2000 のとき
	
Windows XP のとき	

印刷に関する以下のオプション設定（トナーセーブ、スマージング、プロテクトモード印刷など）を行います。

 [「\[印刷オプション\] ダイアログ」\(67 ページ\) 参照](#)

[その他の設定]



印刷中のプリンタのステータス表示、印刷ログ、メンテナンスに関する設定を行います。

 [「\[その他の設定\] ダイアログ」\(68 ページ\) 参照](#)

Windows NT4.0/2000/XPの場合に本ダイアログを開くには、[プリンタのプロパティ]の[ファイル]メニューから[プロパティ]を選択し、[その他の設定]タブをクリックします。

▼ OS が提供する共通のダイアログ

プリンタのプロパティで表示される OS 提供のダイアログです。

詳細については、Windows のヘルプ、マニュアル等を参照してください。

画 面	説 明
-----	-----

[全般](Windows 95 は [情報])

Windows 98/Me のとき



Windows 95 のとき



プリンタに関するコメントの
入力やテストページ印刷を行
います。

Windows NT4.0 のとき(注1)



Windows 2000/XP のとき

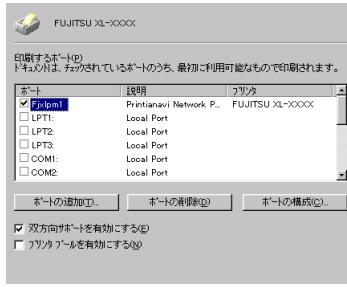


[詳細](Windows 95/98/Me)

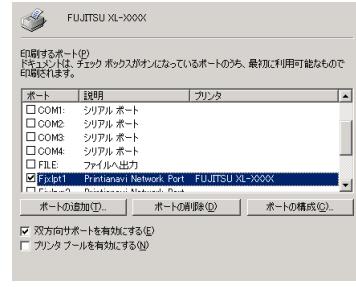


印刷先のポートに関する設定
を行います。

[ポート](Windows NT4.0)



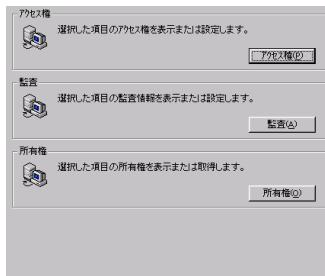
[ポート](Windows 2000/XP)



注1：本プリンタでは、Windows NT4.0の区切りページ印刷はサポートしていません。

画面	説明
<p>[スケジュール] Windows NT4.0のとき(注3)</p>	<p>[詳細設定] Windows 2000/XPのとき(注2)(注3)</p>

[セキュリティ] Windows NT4.0のとき



Windows XPのとき



Windows 2000のとき



プリンタの利用可能時間やスプールに関する設定を行います。

通常お使いになる際は、この設定の変更は必要ありません。

プリンタのセキュリティに関する設定を行います。

通常お使いになる際はこの設定の変更は必要ありません。

詳細についてはWindows NT4.0/2000/XPのマニュアル・ヘルプなどを参照してください。

注2：本プリンタでは、Windows 2000/XPの区切りページ印刷はサポートしていません。

注3：本プリンタでは「一致しないドキュメントを保留する」設定は無効です。

設定項目の詳細

プリンタドライバで設定できる項目の詳細を、ダイアログごとに説明します。

設定画面では、以下の共通のボタンがあります。

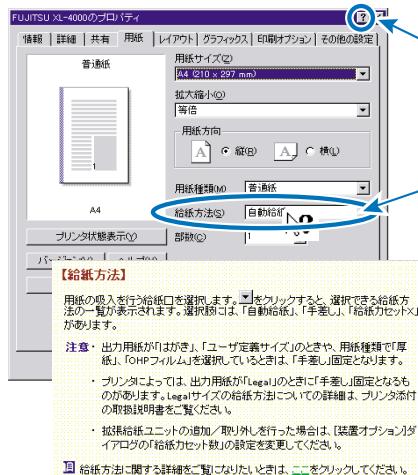
- このボタンをクリックすると、設定項目の選択肢が表示されます。
- 〔標準に戻す〕 表示されている各設定を標準の値に戻します。
- 〔バージョン〕 プリンタドライバのバージョンを表示します。
- 〔プリンタ状態表示〕 プリンタの状態を表示します。



設定項目の詳細については、プリンタドライバのヘルプも併せてご覧ください。ヘルプ機能には以下の2通りの使い方があります。

- ・各画面にある〔ヘルプ〕ボタンをクリックして見る方法
- ・〔?〕ボタンをクリックしてヘルプを見る場合
ダイアログボックスの右上にある?をクリックするとカーソルの形が?に変わります。その状態のまま、説明が必要な項目をクリックするとダイアログ上にポップアップウィンドウが表示されます。

(例) 紙給方法についてのヘルプを見る場合

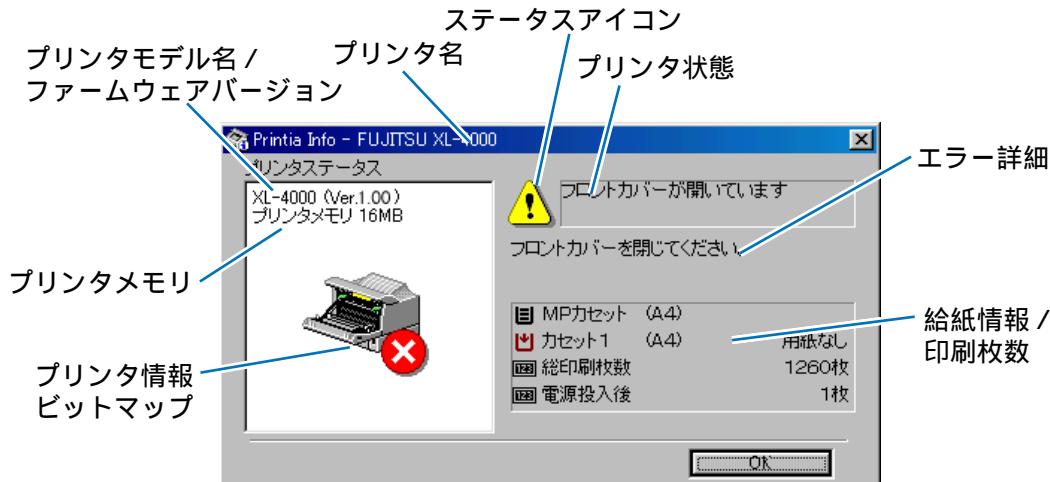


1 クリックする

2 カーソルを持ってきてクリックする

■ [プリンタ状態表示] をクリックしたときの画面

各ダイアログで [プリンタ状態表示] をクリックすると、プリンタの状態を示す次の画面が表示されます。



プリンタ名 プリンタにつけた名前 ([全般] または [情報] ダイアログに表示される名前) を表示します。

プリンタモデル名 / ファームウェアバージョン プリンタ本体のモデル名とファームウェアバージョンを表示します。

プリンタメモリ プリンタに搭載されているメモリ容量を表示します。

プリンタ情報ビットマップ .. プリンタモデルや給紙口、状態に応じたビットマップを表示します。

ステータスアイコン プリンタの状態をアイコンで表示します。

プリンタ状態 プリンタの状態を文字で表示します。

エラー詳細 プリンタ状態の詳細やトナーの残りが少ないなどの警告、エラーの対処方法を表示します。

給紙情報 / 印刷枚数 給紙力セット情報、総印刷枚数、および電源投入後の印刷枚数を表示します。

ステータスウィンドウを閉じるには、[OK] をクリックします。



表示されるアイコンの種類と意味は、次のとおりです。
ステータスアイコン



正常



エラー

カートリッジ
エラー

トナー少

紙詰まり
エラーハード
エラー

カセットエラー



用紙なし

給紙情報



用紙あり



用紙なし

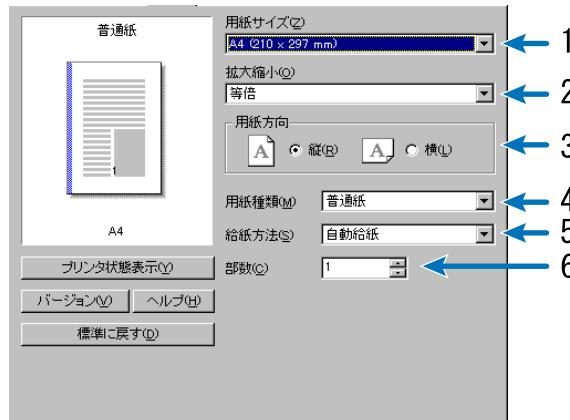


カセットエラー



情報未取得

〔用紙〕ダイアログ



- 1 用紙サイズ アプリケーションに通知する用紙サイズを選びます。ユーザー定義サイズを選択すると、任意のサイズの用紙を指定できます。
- 2 拡大縮小 出力したい用紙サイズに合わせてデータを拡大／縮小する場合に指定します。拡大／縮小しない場合は「等倍」を選びます。
- 参照 詳細は「拡大／縮小印刷」(63ページ) 参照
- 3 用紙方向 印刷する用紙方向を選択します。
- 4 用紙種類 印刷に使用する用紙の種類を選択します。
- 5 部数 一度に印刷する部数を指定します。
- 6 給紙方法 どの給紙口から印刷するかを選択します。
自動給紙の場合は、指定の用紙の入った給紙口を自動で探して印刷します。

ガイド

- 用紙サイズまたは拡大縮小を変更した場合は、プリンタ本体の用紙カセットにある用紙サイズダイヤルを設定した用紙に合わせてください。
- リーガル、はがき、およびユーザ定義サイズに印刷する場合、MP カセットの用紙サイズダイヤルは、「ユーザ指定」に設定します。
- はがきに印刷する場合、通算 30 枚ごとにクリーニング処理が行われます。

▶ 拡大 / 縮小印刷

アプリケーションで作成したデータ(文書)を拡大または縮小して印刷します。〔用紙〕ダイアログでの設定は、次の点に留意してください。

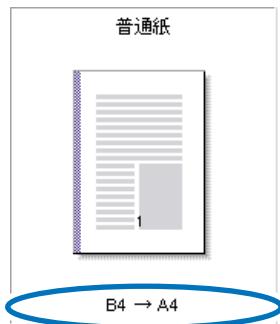
用紙サイズ 拡大 / 縮小する前の用紙サイズを指定します。

拡大 / 縮小 拡大 / 縮小した後に、実際に印刷される用紙サイズを指定します。

等倍 拡大 / 縮小印刷を行いません。

に拡大縮小 用紙サイズと出力用紙の大きさから拡大 / 縮小率を自動的に設定します。出力する用紙サイズは に固定されます。

拡大縮小の設定を行うと、〔用紙〕ダイアログの左上に用紙サイズと出力用紙サイズの関係が表示されます(左の図)。



例えば、「B4 A4」と表示されているときは、B4 の用紙に収まるように作成した文書を、A4 の用紙に収まるように縮小印刷することを示します。

プリンタの給紙口に出力用紙として指定したサイズの用紙が入っていることを確認してから印刷してください。



- ・アプリケーション側の書式設定などで用紙サイズが指定されているときは、通常、アプリケーション側の設定値が優先されます。

- ・実際に出力する用紙サイズを変更せずに、印刷イメージだけを 50% ~ 150% の範囲で拡大 / 縮小することができます。



参照 「イメージサイズの調整」(64 ページ) 参照

[レイアウト] ダイアログ



1 一面あたりのページ数 用紙の一面にどのようにページを配置するか設定します。

[参照](#) 詳細は「複数ページ割り付け印刷（次項）」参照

2 印刷面 印刷を行うときのとじしろ位置やとじしろ量を設定します。

3 とじしろ位置 とじしろ位置を設定します。

4 とじしろ量 とじしろ量を1mm単位で指定します。

5 イメージサイズの調整 印刷イメージの拡大／縮小率を50%～150%の範囲で設定します。

▶ 複数ページ割り付け印刷(一面あたりのページ数)

一面あたりのページ数を利用すると、用紙の一面に複数のページを配置して印刷することができます。[レイアウト]ダイアログでの設定は、次の点に留意してください。



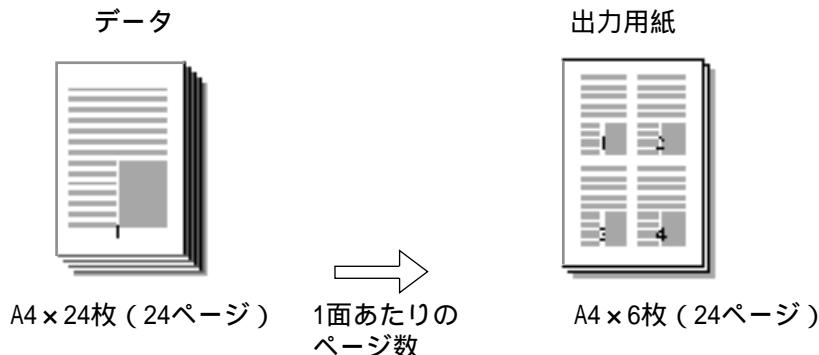
ページ数 1ページ～16ページの中から1枚の用紙に印刷するページ数を選択します。

ページ配置 1枚の用紙に複数ページを配置するときの配置のしかたを指定します。

ページ枠を付ける 通常の1ページに相当する部分に枠を付けるかどうかを設定します。ページ枠を付ける場合は、チェックします。

白紙ページを印刷する .. 印刷するデータに白紙ページが含まれている場合に、そのページを印刷するときにチェックします。

▷ 複数ページ割り付け印刷の設定例



A4 サイズに収まるように作成した 24 ページのデータを、A4 サイズの用紙 1 枚に 4 ページ分ずつ、合計 6 枚に収まるよう縮小し、左上 右上 左下 右下 の配置で印刷

このようなときは、次の設定をします。

[レイアウト] ダイアログの [一面あたりのページ数の詳細設定]

ページ数 「4 ページ」を選択します。

ページ配置 「右下」を選択します。

ページ枠を付ける 1 ページ分に相当する部分に枠を付ける場合は、チェックします。

白紙ページを印刷する ... 白紙ページが含まれていて、そのページをページ数に含めるときにチェックします。

[用紙] ダイアログ

用紙サイズ 「A4」を選択します。

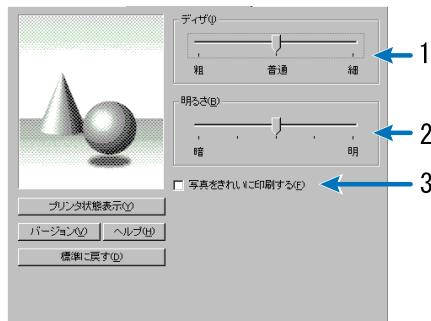
拡大縮小 「等倍」を選択します。

• ガイド

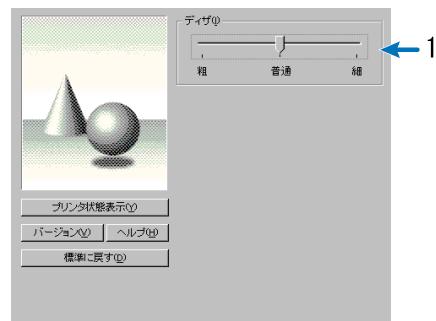
- ユーザ定義サイズの用紙には、複数ページ割り付け印刷できません。
- アプリケーションによっては、「複数ページ割り付け印刷」や「拡大 / 縮小印刷」を使用して印刷結果を拡大 / 縮小した場合、まれに期待どおりに印刷されないことがあります。
- アプリケーションによっては、独自でページレイアウト機能を持っている場合があります。このようなアプリケーションで印刷するときには、アプリケーションのページレイアウト機能か、プリンタドライバの複数ページ割り付け機能かのどちらかを使用してください。両方の機能を使用してページレイアウトを行うと、二重にレイアウトされてしまいます。

[グラフィックス] ダイアログ

Windows 95/98/Me のとき



Windows NT4.0/2000/XPのとき



1 ディザ

ディザのパターンを選択します。ディザはドットの組み合わせにより、中間調を表現する一つの手段です。 「細」設定にすると、図形やイメージを精細に表現できます。

2 明るさ

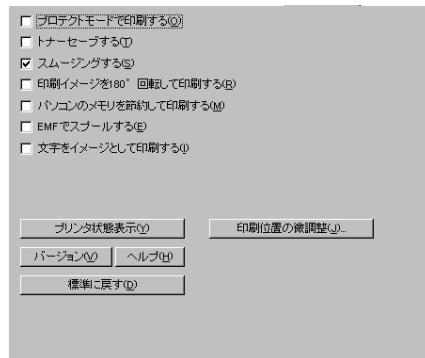
全体の明るさを「暗」から「明」の5段階で調節します。

3 写真をきれいに
印刷する

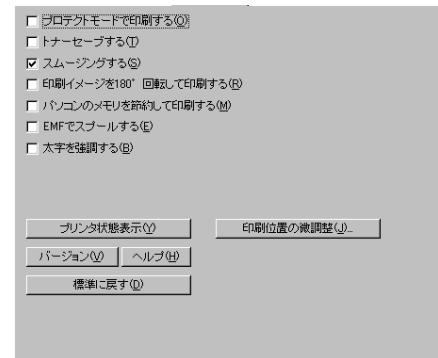
写真をよりきれいに印刷したい場合にチェックします。
写真に適した高階調のディザパターンを使用して印刷します。

〔印刷オプション〕ダイアログ

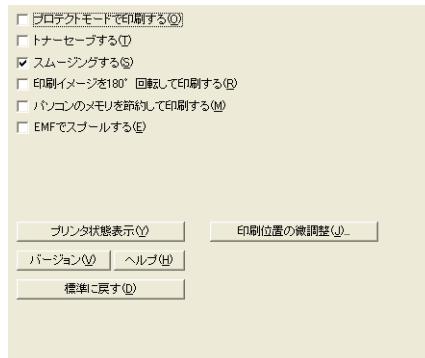
Windows 95/98/Me のとき



Windows NT4.0/2000 のとき



Windows XP のとき



プロテクトモードで印刷する プリンタに1ページ分のメモリを確保して印刷するかどうか設定します。

トナーを節約する トナーを節約して印刷したいときにチェックします。

スムージングする 印刷時にスムージング処理を行いたいときにチェックします。スムージング処理を行うと文字や図形のギザギザがなめらかに印刷できます。

印刷イメージを180°回転して印刷する プリンタにセットされている用紙の向きを変えずに印刷データを逆向きに印刷させたいときにチェックします。

パソコンのメモリを節約して印刷する 印刷処理時にパソコン上のメモリを節約して処理を行いたいときにチェックします。

EMFでスプールする 印刷データをEMF(メタファイル)形式でスプールしたいときにチェックします。EMF形式でスプールすると、印刷起動からアプリケーションが再び使用できるようになるまでの時間が短くなります。

文字をイメージとして 文字データをイメージとして扱うか選択します。
印刷する 文字をイメージとして扱うと、文字に付けられた色をグレーの階調で印刷することができます。文字をイメージとして扱うときは、[文字をイメージとして印刷する]にチェックを付けます。
(Windows 95/98/Me のみの機能)

太字を強調する 太字部分をより強調して印刷したときにチェックします。(Windows NT4.0/2000 のみの機能)

印刷位置の微調整 用紙に対して印刷位置を微調整するときに設定します。
[印刷位置の微調整]をクリックしたときの画面を以下に示します。

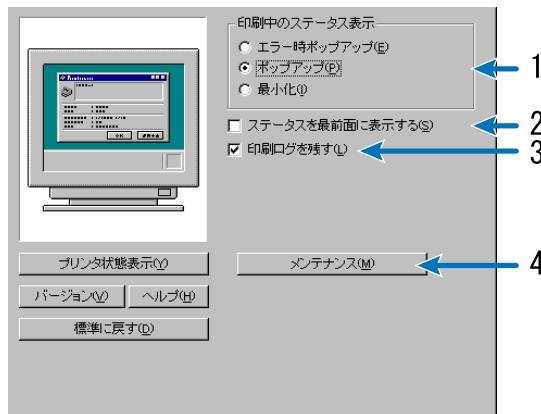


横 ... 印刷位置の値をマイナスにすると左方向に、プラスにすると右方向に移動します。

縦 ... 印刷位置の値をマイナスにすると上方向に、プラスにすると下方向に移動します。

単位 ... 印刷位置の調整量の単位を選択します。

■ [その他の設定] ダイアログ



1 印刷中のステータス 印刷中のプリンタのステータスを表示する方法を選択します。



参照 ステータス表示の種類については、「印刷中のステータス表示の種類」(70ページ)参照

エラー時 印刷中のステータスをタスクトレイにアイコン表示し、エラー時にポップアップ表示します。

ポップアップ ... 印刷中のステータスをポップアップ表示します。

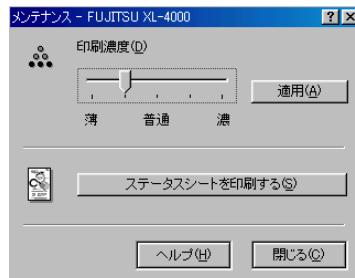
最小化 印刷中のステータスをアイコン表示します。

2 ステータスを最前面に表示する プリンタのステータスを他のアプリケーションのウィンドウより前面に表示するときにチェックを付けます。

3 印刷ログを残す パソコンで印刷結果ログを採取する場合に選択します。

 参照 印刷ログを表示する場合は、「印刷ログ機能」(72ページ)参照

4 メンテナンス ステータシート印刷や印字濃度の調整を行います。



印刷濃度.....5段階で調節できます。〔適用〕をクリックすることで濃度を確定できます。

ステータシート 総印刷枚数、ファーム / エンジトを印刷する ンの ROM 版数が印刷されます。

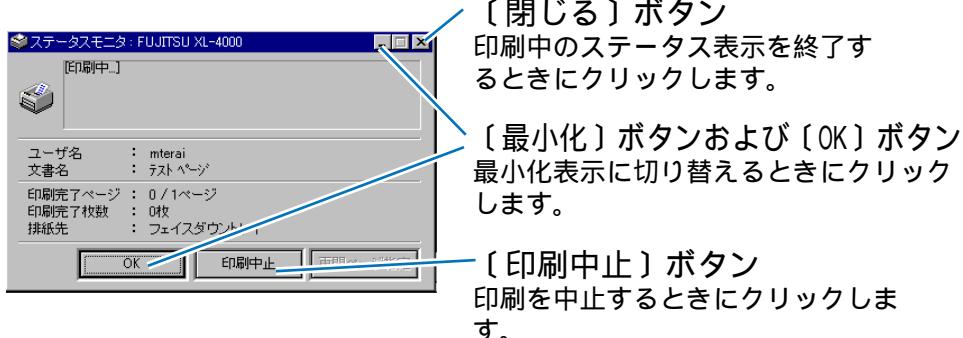
〔メンテナンス〕を起動するためには、パソコンとプリンタが接続され、ともに電源が入っている必要があります。

印刷中のステータス表示の種類

印刷中のステータス表示には、次の2つがあります。
どちらの表示も、印刷が終了すると自動的に終了します。

【ポップアップ表示】

画面上にウィンドウで表示します。



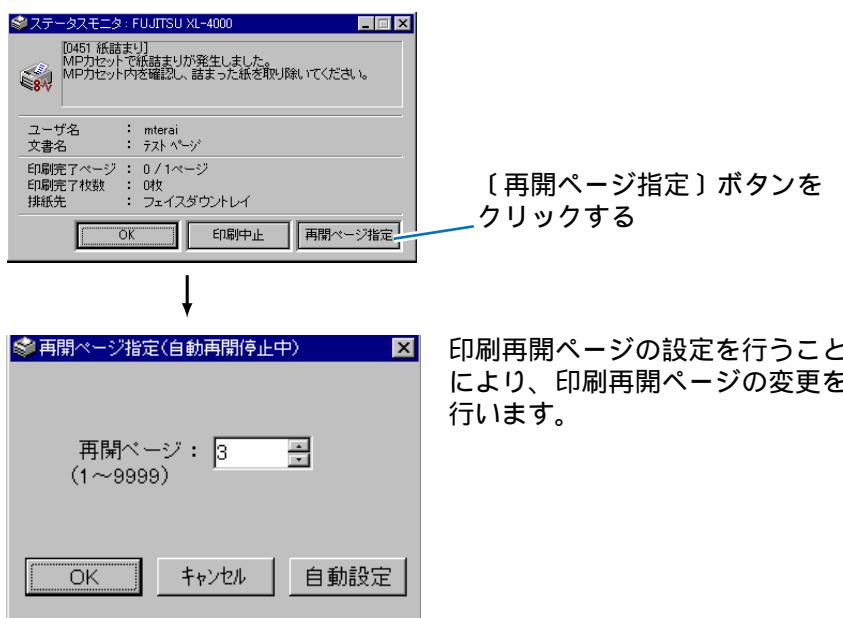
エラー発生時の再開ページ指定

OSがWindows NT4.0/2000/XPで紙詰まりのエラーが発生したときのみ、〔再開ページ指定〕ボタンが有効になります。

再開ページ指定機能を使用できない場合は、〔再開ページ指定〕ボタンはグレーアウトされます。

OSがWindows 95/98/Meの場合は、〔再開ページ指定〕ボタンは表示されません。

〔再開ページ指定〕ボタンをクリックする前にプリンタのエラーを解除すると、印刷が自動的に再開されます。再開ページを指定するときは、エラーを解除する前に〔再開ページ指定〕ボタンをクリックしてください。



【最小化表示】

タスクトレイにアイコンで表示します。

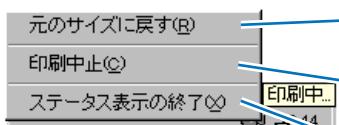


・ダブルクリックすると、ポップアップ表示に切り替わります。

・マウスカーソルを合わせると、
簡単なステータスを表示します。



・右クリックすると、次のメニューが表示されます。



[元のサイズに戻す]
ポップアップ表示に切り替わります。

[印刷中止]
印刷を中止します。

[ステータス表示の終了]
表示を終了します。

[Windows 95/98/Meの画面]

アイコン	説明
	印刷中です。
	プリンタが次の状態です。 ウォームアップ / クールダウン中、印刷準備中、 印刷待ち、印刷再開準備中、クリーニング動作中
	プリンタがエラー状態です。
	プリンタのトナーが残り少なくなっているなど、その他の 状態を示します。



再開ページが指定可能なエラーの場合、右クリックメニュー
で再開ページ指定を選択できます。(OSがWindows NT4.0/
2000/XPの場合)

なお、プリントサーバがWindows NT4.0/2000/XPの場合でも、
再開ページ指定機能が使用できないときは、グレーアウトさ
れます。

印刷ログ機能

「印刷ログを残す」がチェック（初期値は残す）されていると、印刷時の最後の状態が保存され、印刷を行ったユーザが参照することができます。この機能により、ユーザは印刷が終了してから時間が経過しても、自分の印刷物がいつ、どこに印刷されたかを確認できます。



- ・印刷ログには、各メッセージ（ステータス表示、印刷完了通知）がバイナリファイルとして格納されます。
- ・パソコン1台につき、印刷ログファイルは1個となります。（複数のプリンタが設定されている場合は、複数のプリンタのログが1ファイルに格納されます。）

【印刷ログビューアの起動】

印刷ログを参照するには、「印刷ログビューア」を起動します。「印刷ログビューア」を起動するときは、[スタート]から[プログラム](Windows XP の場合は [すべてのプログラム])[Printianavi][Printianavi 印刷ログビューア]の順に選択します。

【印刷ログ一覧】

「印刷ログビューア」を起動すると、「印刷ログ一覧」が表示されます。「印刷ログ一覧」には、現在のコンピュータで行われた印刷のログが表示されます。

Printianavi 印刷ログ一覧							
分類	文書名	ユーザ名	印刷枚数	プリンタ名	日時	印刷要求元	▲
印刷完了	PRINT_5.XLS	mterai	5	FUJITSU XL-XXXX	2000/11/08 16:27:21	CORSAIR	■
印刷完了	PRINT_5.XLS	mterai	5	FUJITSU XL-XXXX	2000/11/08 16:27:06	CORSAIR	
印刷打ち切り	index.pdf	mterai	3	FUJITSU XL-XXXX	2000/11/08 11:51:45	CORSAIR	
印刷打ち切り	index.pdf	mterai	4	FUJITSU XL-XXXX	2000/11/08 11:29:10	CORSAIR	
印刷完了	PRINT1-20a.XLS	MTERAI	4	FUJITSU XL-XXXX	2000/11/07 16:51:03	CORSAIR	
印刷完了	print1-1.xls	MTERAI	1	FUJITSU XL-XXXX	2000/11/07 16:47:34	CORSAIR	
印刷完了	print1-1.xls	MTERAI	1	FUJITSU XL-XXXX	2000/11/07 16:47:12	CORSAIR	
印刷完了	print1-1.xls	MTERAI	1	FUJITSU XL-XXXX	2000/11/07 16:46:51	CORSAIR	
印刷完了	print1-1.xls	MTERAI	1	FUJITSU XL-XXXX	2000/11/07 16:46:32	CORSAIR	

418 個の印刷ログ

分類 ログの分類を表示します。表示内容は以下のとあります。

印刷完了・印刷打ち切り・エラー表示・

警告情報

文書名 印刷を行った文書名を表示します。

ユーザ名 印刷を行ったユーザ名を表示します。

印刷枚数 印刷完了枚数を表示します。ただし、印刷完了枚数が不確定の場合は空白となります。

プリンタ名 印刷先のプリンタ名を表示します。

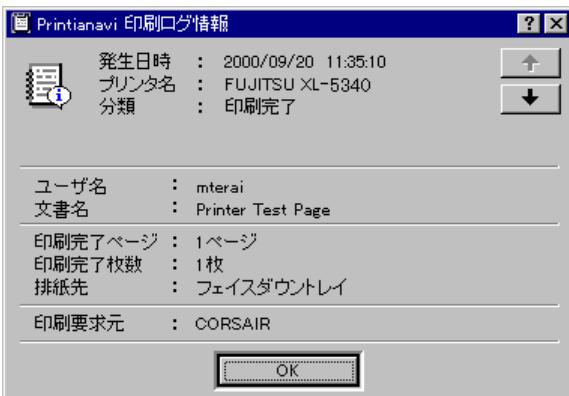
日時 ログが採取された日時を表示します。

印刷要求元 印刷を行ったコンピュータ名を表示します。

【印刷ログ情報表示】

印刷ログ一覧に表示されたログごとの詳細を見るすることができます。印刷ログ情報を表示させるには、次の2通りの方法があります。

- ・印刷ログ一覧で、情報を表示したいログをダブルクリックする
- ・印刷ログ一覧の〔操作〕メニューから「ログ情報表示」を選択する



[]をクリックすると、印刷ログ一覧で前後にあるログの情報を順次見ることができます。

発生日時 ログが採取された日時を表示します。

プリンタ名 印刷先のプリンタ名を表示します。

分類 ログの分類を表示します。表示内容は以下のとおりです。

印刷完了・印刷打ち切り・エラー表示・
警告情報

ユーザ名 印刷を行ったユーザ名を表示します。

文書名 印刷を行った文書名を表示します。

印刷完了ページ .. 印刷完了ページ数を表示します。

ページ数の後に「要確認」が表示されている場合は、実際の印刷完了ページ数と異なる場合があります。

印刷完了枚数 印刷完了枚数を表示します。

印刷完了ページの後に「要確認」が表示されている場合には、実際の印刷完了枚数と異なる場合があります。

排紙先 用紙の排出先を表示します。

印刷要求元 印刷を行ったコンピュータ名を表示します。

印刷ログ情報表示を閉じるには〔OK〕をクリックします。



表示されるアイコンの種類と意味は次のとおりです。

ステータスアイコン



印刷完了



警告



印刷打ち切り



用紙交換



用紙なし



カートリッジなし



用紙詰まり



ハードエラー



その他のエラー

【印刷ログビューアの環境設定】

印刷ロギー覧の〔操作〕メニューから「環境設定」を選択すると、印刷ログビューアの環境設定を行うことができます。



最大ログサイズ ログファイルの最大サイズを示します。
5 ~ 32767KB 設定できます。初期値は50KBです。

ログの名前 ログファイルの格納先とログファイル名を示します。



- ・Windows NT4.0の場合、管理者権限でログオンしてください。
管理者権限以外でログオンした場合はグレーアウトされ、環境設定できません。
- ・Windows 2000/XPの場合は、PowerUsersグループ権限のユーザーでも設定できます。

新しいドライバに置き換えるとき (プリンタドライバの削除)

他のWindowsで本プリンタを使用していて、プリンタドライバを削除せずにWindowsをアップグレードしたときや、バージョンアップにより、プリンタドライバを置き換えるときは、古いプリンタドライバを削除してから新しいプリンタドライバをインストールします。

Windows NT4.0/2000/XPの場合は、管理者権限でログオンしてください。
画面はWindows 2000の場合です。

- 1 Windows 95/98/Me/NT4.0/2000のとき：
〔スタート〕から〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択し、削除するプリンタをクリックする

Windows XPのとき：

Windows XPの場合は、〔スタート〕から〔プリンタとFAX〕を選択し、削除するプリンタをクリックする

- 2 [ファイル]メニューから[削除]を選択する



- 3 [はい]をクリックする

- **ガイド** 通常使うプリンタを削除すると次のメッセージが表示され、通常使うプリンタを変更または削除しますのでご注意ください。
 - ・「警告：通常使うプリンタは削除されています。'XXXX'が新しく通常使うプリンタに設定されます。」(XXXXはプリンタ名)
 - ・「警告：通常使うプリンタは削除されています。残っているプリンタはありません。」

- 4 Windows 95/98/Me/NT4.0のとき：Windowsを再起動する
Windows 2000/XPのとき：手順5～11を行う

Windows 95/98/Me/NT4.0の場合は、Windowsを再起動すればプリンタドライバの削除は終了です。新しいドライバをインストールしてください。

Windows 2000/XPの場合は、引き続き手順5～11の操作を行います。

5 [ファイル]メニューから[サーバーのプロパティ]を選択し、[ドライバ]タブをクリックする
以降の画面は、Windows 2000の場合です。



6 「インストールされたプリンタドライバ」リストから、手順2で削除したXL プリンタを選択し、[削除]をクリックする



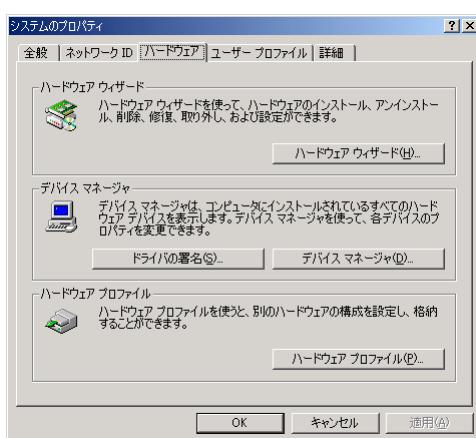
7 [はい]をクリックする
ドライバの削除が終わったら
[閉じる]をクリックして、[プリントサーバーのプロパティ]ダイアログを終了します。

8 Windows 2000のとき：
[マイコンピュータ]を右クリックし、[プロパティ]を選択する

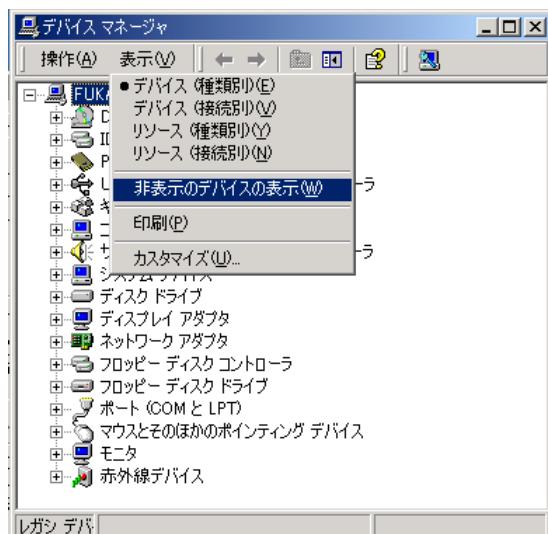
Windows XPのとき

[スタート]から[コントロールパネル][プリンタとその他のハードウェア]を開き、「関連項目」から[システム]をクリックする

[システムのプロパティ]ダイアログが表示されます。



9 [ハードウェア] タブをクリックし、[デバイスマネージャ] をクリックする



10 [表示] メニューの[非表示のデバイスの表示]を選択し、[プリンタ]に削除したXLプリンタが表示された場合はアンインストールする

アンインストールするプリンタを選択し、右クリックで表示されたメニューで[削除]を選択します。

処理が終わったら[デバイスマネージャ]および[システムのプロパティ]ダイアログを終了します。



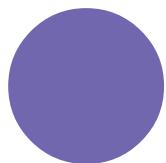
プリンタが表示されない場合は、アンインストールの必要はありません。

11 Windows 2000/XPを再起動する

古いプリンタドライバを削除したら、Windows 2000/XPを再起動します。新しいドライバはWindows再起動後にインストールしてください。

第6章

用紙について



本プリンタで使用できる用紙とその保管のしかた、および用紙のセットのしかたについて説明します。

使用できる用紙	80
使用できない用紙	82
用紙の保管上のご注意	84

使用できる用紙

本プリンタで使用できる用紙について、給紙方法、用紙サイズ、および用紙の種類ごとに説明します。

■ 紙方法と用紙のサイズ

給紙方法	タイプ	サイズ	質量	積載可能枚数
給紙 カセット	普通紙	A3 タテ		
	(再生紙)	B4 タテ		
		A4 ヨコ		約 250 枚
		B5 ヨコ	64 ~ 81.4g/m ²	(質量 64g/m ² の 用紙の場合)
MP カセット		A5 ヨコ		
		レターヨコ		
	普通紙	100 × 148 ~	64 ~ 128g/m ²	約 100 枚
	(再生紙)	297 × 420mm		(質量 64g/m ² の 用紙の場合)
官製はがき	ハガキタテ		190g/m ²	約 30 枚
OHPフィルム	A4 ヨコ		64 ~ 128g/m ²	約 30 枚
ラベル紙	A4 ヨコ		64 ~ 128g/m ²	約 30 枚

▶ お願い

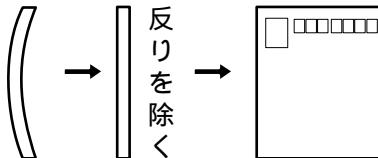
- ・用紙を大量にお買い求めになる前に、サンプル用紙でためし印刷して、支障がないことを確認することをお勧めします。
- ・はがきは、官製はがきを使用してください。あらかじめ印刷されたはがきや反りのあるはがきを使用すると、走行不良が発生することがあります。
- ・リーガル、官製はがき、厚紙(質量 81.5g/m² ~ 128g/m²)、OHP フィルム、ラベル紙、不定形用紙は、給紙カセットからは印刷できません。MP カセットから印刷してください。
- ・リーガル、官製はがき、および不定形用紙に印刷する場合は、MP カセットの用紙サイズの設定を「ユーザ指定」に合わせてください。印刷する用紙とプリンタドライバで設定した用紙サイズが異なっていると、装置が故障するおそれがあります。
- ・はがき、厚紙、ラベル紙に印刷すると、白地の部分がうすく汚れる傾向があります。ためし印刷で支障がないことを確認してからお使いください。

■ 普通紙

本プリンタでは、PPC 用紙および普通紙を使用することができます。しかし、一般的の市販品には本プリンタに適さないものもあります。できるだけサプライ用紙をご使用ください。サプライ用紙の詳細は、「サプライ用品の一覧」(86 ページ) を参照してください。

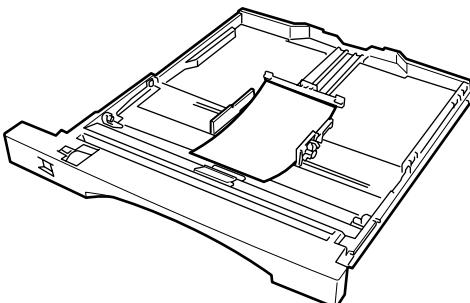
官製はがき

はがきが反っているときは上向きに約2mm以内の反りになるように修正してから印刷してください。



はがきをセットするときは、次の点に留意してください。

- ・印刷面を上にしてセットしてください。
- ・MPカセットに縦長方向にセットしてください。
- ・MPカセットの用紙サイズダイヤルは、「ユーザ指定」に設定してください。



- ・ご使用になるアプリケーションソフトの設定内容と印刷方向に合わせて官製はがきをセットしてください。試し印刷で方向を確認されることをお勧めします。
- ・はがきに印刷すると、白地の部分が薄く汚れる傾向があります。
- ・両面に印刷すると、全体的に黒く汚れます。

OHPフィルム

定着時の熱（約190℃）で溶けたり、変質したりしないものをご使用ください。

ラベル紙

ツルツルした台紙面が表面になく、台紙全体がラベルで覆われているレーザプリンタ用のものをご使用ください。また、粘着剤が定着時の熱（約190℃）で溶けたり変質したりしないものをご使用ください。

お願い

OHPフィルムやラベル紙をご使用になるときは、レーザプリンタ用のものをお買い求めください。市販のものの中には本プリンタに適さないものがありますので、ためし印刷などで確認したうえでご使用ください。

使用できない用紙

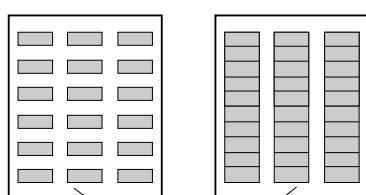
以下の用紙は本プリンタでは使用できません。

■ 本プリンタで使用できない用紙

以下に挙げる用紙は、紙づまりを起こしたり、プリンタ本体の故障の原因となったり、またはきれいに印刷できなかったりしますので、使用しないでください。

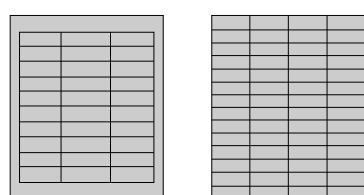
- ・厚すぎる用紙や、薄すぎる用紙
- ・湿っている用紙や、濡れている用紙
- ・一度印刷された用紙
- ・貼り合わせた用紙や、糊などがついている用紙
- ・反り、しわ、折り目のある用紙や、破れている用紙
- ・カールしている用紙
- ・静電気で密着している用紙
- ・長方形以外の用紙や、バインダー用の穴またはミシン目のある用紙
- ・表面を加工、または特殊なコーティングをおこなった用紙（感熱紙、カーボン紙など）
- ・オフセット印刷用の用紙や酸性紙（中性紙をご使用ください）
- ・インクに導電材料（金属、カーボンなど）を使用したり、190°の熱でガスが発生するインクを使用したプレプリント用紙
- ・190°の熱で溶けたり、変質する用紙
- ・ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- ・ざら紙や纖維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙
- ・裁断部のバリが大きい用紙
- ・紙粉の多い用紙
- ・カラーページプリンタ用のOHPフィルム
- ・台紙全体がラベルで覆われてなく、かつレーザプリンタ用以外のラベル用紙

× 使用できません



つるつるした台紙面

使用できます



全面ラベル紙

■ 紙力セットで使用できない用紙

以下の用紙は紙力セットでは使用できません。

官製はがき、厚紙（質量 $81.5\text{g}/\text{m}^2 \sim 128\text{g}/\text{m}^2$ ）、OHP フィルム、ラベル紙、不定形用紙

▶お願い

リーガル、官製はがき、および不定形用紙に印刷する場合は、MP カセットの用紙サイズダイヤルの設定を「ユーザ指定」に合わせてください。印刷する用紙とプリンタドライバで設定した用紙サイズが異なっていると、装置が故障するおそれがあります。

用紙の保管上のご注意

用紙は水分を吸収しやすい特性を持っているため、非常に変化しやすいものです。製造条件を厳重に管理して製造した用紙でも、保管状態が悪いと品質が損なわれ、印刷品質や紙送りなどに悪い影響を与えます。以下に示す保管上の注意事項を守り、最良の状態に保ってください。

用紙は次のような場所に保管してください。

- ・暗く、湿気の少ない平らな書棚の中のような場所
- ・平らなパレットの上
- ・温度 20 ℃、湿度 50%RH の環境

次のような場所は避けてください。

- ・床の上に直接置く
- ・直射日光の当たる場所
- ・外壁の内側の近く
- ・段差や、曲がりのある場所
- ・静電気が発生するところ
- ・過度の温度上昇と、急激な温度変化のあるところ
- ・複写機、空調機、ヒータ、ダクトのそば

次のような状態で保管してください。

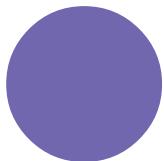
- ・開封後の残りの用紙は、ほこりが付かないよう、包装してあった紙に包む
- ・長期間プリンタを使用しないときは、給紙カセットやMPカセットから用紙を抜き取り、包装してあった紙に包む



長期間放置した用紙を使用した場合、うまく印刷できないことがあります。

第7章

日常のメンテナンス



この章では、プリンタを使用するうえで日常的に必要となる操作について説明します。

サプライ用品の一覧	86
プロセスカートリッジの交換と使用上の注意事項	87
プロセスカートリッジの交換	87
プロセスカートリッジの取り扱いと保管	92
プリンタの清掃	93
リブプレートの清掃	94
プリンタ外部の清掃	97
プリンタ内部の清掃	98
感光体（ドラム）のクリーニング	98
プリンタを長期間使用しないとき	99
プリンタを移動するとき	100
近くに移動する	100
梱包して運搬する	104

サプライ用品の一覧

サプライ用品の商品番号を以下に示します。

これらの品物については、本プリンタをお買い求めの販売店へご相談ください。

PPC用紙および普通紙を使用することができますが、より良い印刷品質が得られるよう、下記の推奨用紙のご使用をお勧めします。

商 品 名	商品番号	備 考
普通紙推奨用紙		
A3 サイズ	0411650	500枚×3冊で1ケース
B4 サイズ	0411620	
A4 サイズ(Y)	0411612	500枚×5冊で1ケース
B5 サイズ(Y)	0411645	
A5 サイズ(Y)	0411635	
プロセスカートリッジ	LB312A	0886110 A4用紙で有効画像面積に対して画像面積比率が5%以下のときに、印刷寿命は約5,000枚です(印刷の内容により、多少の差があります)。
LB312 紙給力セット (A3ユニバーサル)	0886320	A3～A5サイズで250枚 本体の紙給力セットと同一です。
LB312 紙給力セット(MP)	0886310	A3～A5、不定形、官製はがきで100枚 本体のMPカセットと同一です。
レーザプリンタ置台	0530580	デスクサイド専用置台 外形寸法 600(W)×610(D)×440(H)mm

プロセスカートリッジの交換と使用上の注意事項

プロセスカートリッジの交換のしかたと使用するときの注意事項について説明します。

▼ プロセスカートリッジの交換

ステータス表示に「トナーが残り少なくなりました」と表示された場合は、プロセスカートリッジの交換時期です。新しいプロセスカートリッジに交換してください。

プロセスカートリッジ交換の目安は、5%の印刷密度(1ページの印刷可能領域でトナーのついている面積の割合)の場合、A4サイズの用紙で約5,000枚です。



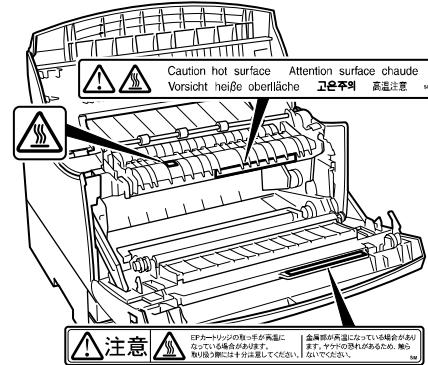
破 裂 プロセスカートリッジを火中に投入しないでください。
火中に投入すると、トナー粉がはねて、やけどの原因となります。
使用済みのプロセスカートリッジは、無償回収サービスをご利用ください。(「使用済みプロセスカートリッジの回収サービス」(91ページ))

誤 飲・トナー トナーは目や口に入らないように注意してください。
プロセスカートリッジの交換時などにトナーが手に付いた場合は、速やかに洗い落としてください。
万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。
・プロセスカートリッジを保管する場合は、小さなお子さまがトナーを誤って飲むことがないように、小さなお子さまの手の届かないところに置いてください。
万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

け ガ トップカバーを開くとき、カバーとプリンタ本体に手を挟まないように注意してください。ケガをすることがあります。
トップカバーが開いているときに、トップカバーに手を触れると、閉じる方向に自然落下することがあります。手を挟んでケガをする原因となりますので、トップカバーには触れないようにしてください。

⚠ 注意

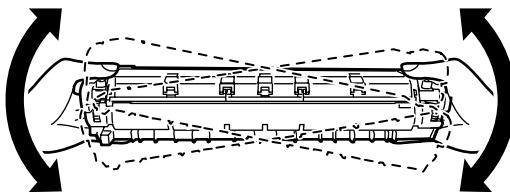
やけど プリンタを使用した直後は定着器が非常に熱くなっています。「高温注意」ラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。

**お願い**

- ・プロセスカートリッジは、光に対して非常に敏感です。トナーを均一にするときや交換に際しては、次の点に注意してください。
- ・直射日光や強い光(約1500ルクス以上)に当てないでください。通常の室内の明かりの下でも5分以上は放置しないでください。
- ・ドラム保護シャッターは絶対に開けないでください。
- ・感光体(ドラム)表面には絶対に手を触れないでください。
- ・立てたり、裏返しにして置かないでください。
- ・トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときにはすぐに洗ってください。
- ・常に、予備のプロセスカートリッジを用意しておいてください。

● **ガイド**

- ・プロセスカートリッジの保管期限は約2年間です。お買い上げ後は2年以内にご使用ください。
- ・プロセスカートリッジ内のトナーが片寄っていると、プロセスカートリッジの交換を促すメッセージがパソコンに表示されることがあります。
交換の前にプロセスカートリッジを矢印のようにかるく10回振り、トナーの状態を均一にして、再度印刷してください。

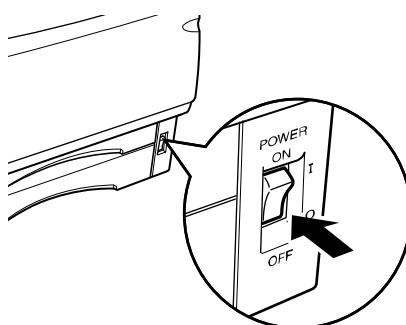


- ・プロセスカートリッジの交換を促すメッセージが表示されない場合でも、次のようなときはプロセスカートリッジの交換が必要です。
 - ・縦のカスレや部分的なカスレがある場合
プロセスカートリッジを上記のように取り出して振り、内部トナーの状態を均一にして印刷してみても、改善されないとき
 - ・不鮮明な印刷状態が発生した場合
適切な用紙に変えて印刷しても改善されないとき

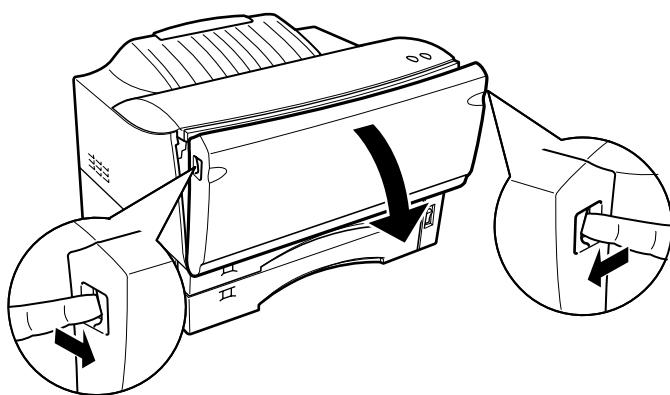
次の手順にしたがって、プロセスカートリッジを取り外します。



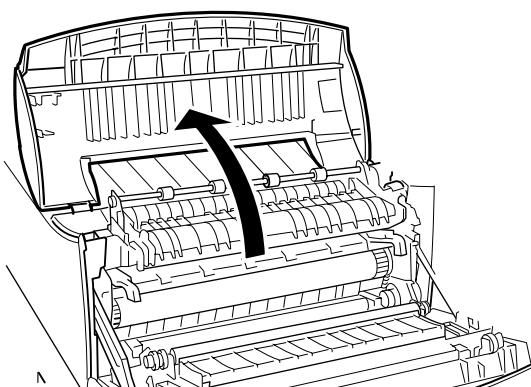
プリンタ内部の部品には手を触れないでください。



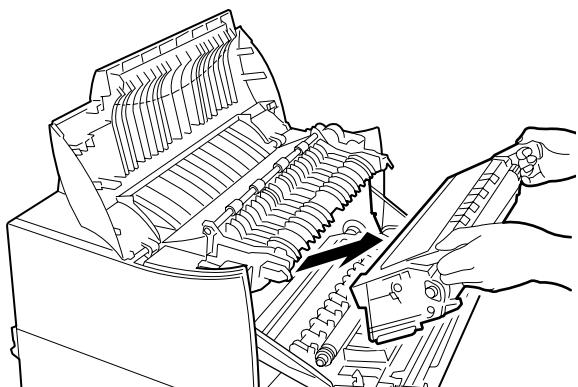
- 1 プリンタの電源を切る**
電源スイッチを「**OFF**」側に倒します。



- 2 フロントカバーを開く**
左右のフロントカバー開閉レバーをつまみながらフロントカバーを手前に引き、ゆっくりと開きます。



- 3 トップカバーを開く**
トップカバーの左右を持ち、ゆっくりと開きます。



- 4 左右の取っ手を持ち、使い終わったプロセスカートリッジを引き出す**
プロセスカートリッジを手前にスライドさせて取り出します。

● ガイド

- トナーで床を汚さないよう、取り出したプロセスカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。
- 使用済みのプロセスカートリッジを処分するときは、弊社の回収サービスをご利用ください。

「プロセスカートリッジの取り付け」(10ページ)にしたがって、新しいプロセスカートリッジを取り付けます。

■ 使用済みプロセスカートリッジの回収サービス

富士通株式会社では、地球環境への配慮から使用済みプロセスカートリッジを無償で回収しております。

下記の『エコ受付センター』までご連絡をいただければ、回収便にて引き取りにうかがいます。お客様のご理解とご協力をお願いいたします。

『エコ受付センター』

フリーダイヤル : 0120-30-0693

平日 8:40 ~ 12:00 および 13:00 ~ 17:30

(土曜・日曜・祝日・年末年始を除く)



プロセスカートリッジの取り扱いと保管

プロセスカートリッジを取り扱うときや保管するときの注意事項について説明します。

取り扱い上のご注意

プロセスカートリッジを取り扱うときは、次の点にご注意ください。

- ・直射日光や強い光(約 1500 ルクス以上)に当てないでください。
- ・室内の明かりの下でも、プロセスカートリッジを 5 分以上放置しないでください。
- ・プロセスカートリッジをプリンタから外した場合は、強い光に当てないよう梱包されていた袋に入れるか、厚い布などに包んでください。
- ・寒いところから暖かいところに移動した場合は、1 時間以上室温に慣らしてから使用してください。
- ・立てたり、裏返しにして置かないでください。
- ・トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときはすぐに洗ってください。
- ・トナーシールを引き抜いた後は、プロセスカートリッジを強く振ったり、衝撃を与えないでください。トナーがこぼれることがあります。
- ・ドラムシャッターにより、プロセスカートリッジ内の感光体(ドラム)が光にあたらないように保護されています。ドラムシャッターは絶対に開けないでください。
- ・感光体(ドラム)表面には絶対に手を触れないでください。

保管上のご注意

プロセスカートリッジを保管するときは、次の点にご注意ください。

- ・使用するまでは開封しないでください。万一、開封してしまった場合は、梱包されていたアルミ袋に入れ、保管してください。
- ・直射日光をさけ、以下の環境で保管してください。

温度範囲 0 ~ 35 、 湿度範囲 15 ~ 80%RH

(ただし、結露のこと)

- ・高温多湿になる場所には置かないでください。
- ・立てたり、裏返しにして置かないでください。
- ・CRT 画面、ディスクドライブ、フロッピーディスクなど、磁気を帶びたものの近くに置かないでください。
- ・幼児の手の届かないところに保管してください。

プリンタの清掃

プリンタを良好な状態に保ち、いつもきれいな印刷ができるように、約1か月に1回、プリンタ本体周辺を清掃してください。また、プロセスカートリッジの交換時や紙づまりの処置時には、プリンタ内部を点検してください。



やけど プリンタの清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

感 電 電源スイッチを切らずにプリンタの清掃を行うと、やけどや感電の原因となることがあります。



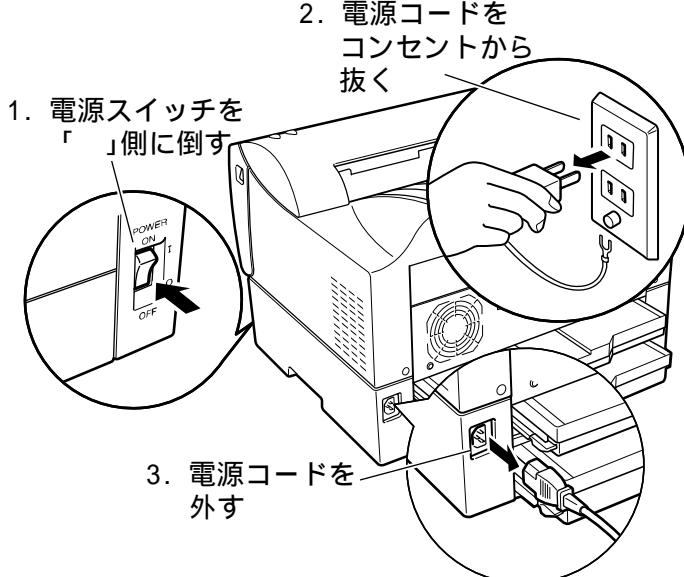
清掃に際しては、以下の点に注意してください。

- ・プリンタを使用した直後は、プリンタ内部が非常に熱くなっています。10分位たって内部の温度が下がってから作業してください。
- ・水または中性洗剤以外は、絶対に使用しないでください。ベンジン、シンナーなど揮発性のものを使用すると、カバーの変色や変形の恐れがあります。
- ・油をさす必要はありません。注油はしないでください。

▼ リブプレートの清掃

次のような場合は、リブプレートを清掃します。

- ・印刷がかされる
- ・白いスジが入る
- ・文字や黒い部分の輪郭がにじむ



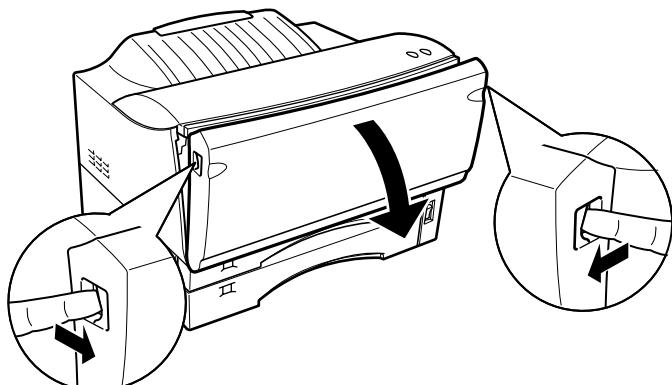
1 プリンタの電源を切

り、電源コードを抜く

電源スイッチを「OFF」側に倒し、
コンセントと電源コネクタから
電源コードを抜きます。

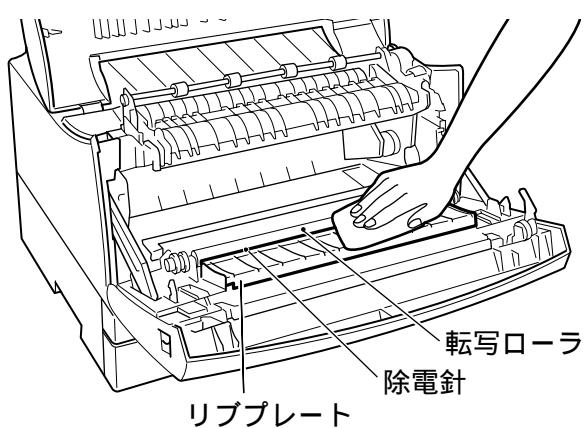
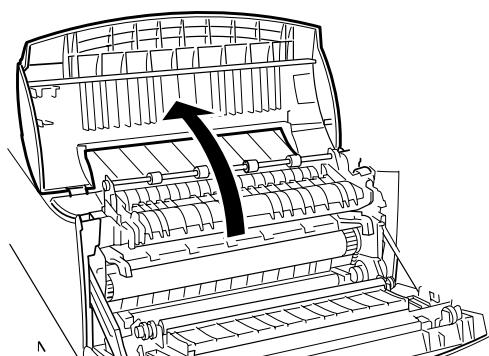
2 フロントカバーを開く

左右のフロントカバー開閉レバーレバーを押しながらフロントカバーを手前に引き、ゆっくりと開く



3 トップカバーを開く

トップカバーの左右を持ち、ゆっくりと開く

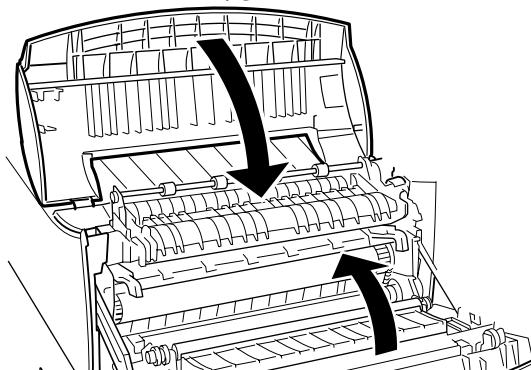


4 リブプレートの汚れを乾いた柔らかい布で拭き取る

お願い

転写ローラおよび除電針には触らないでください。

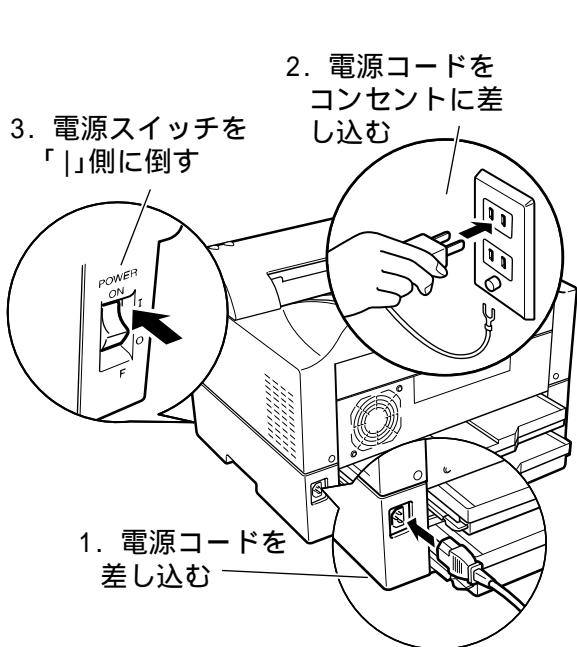
1. トップカバーを閉じる



2. フロントカバーを閉じる

5 トップカバーとフロントカバーをゆっくりと閉じる

トップカバーをゆっくり閉じてから、ゆっくりとフロントカバーを押し上げて、カチッと音がするまで閉じます。

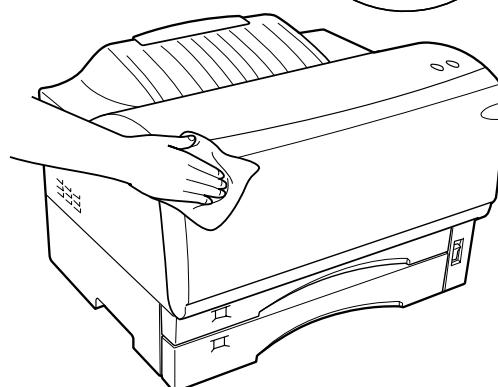
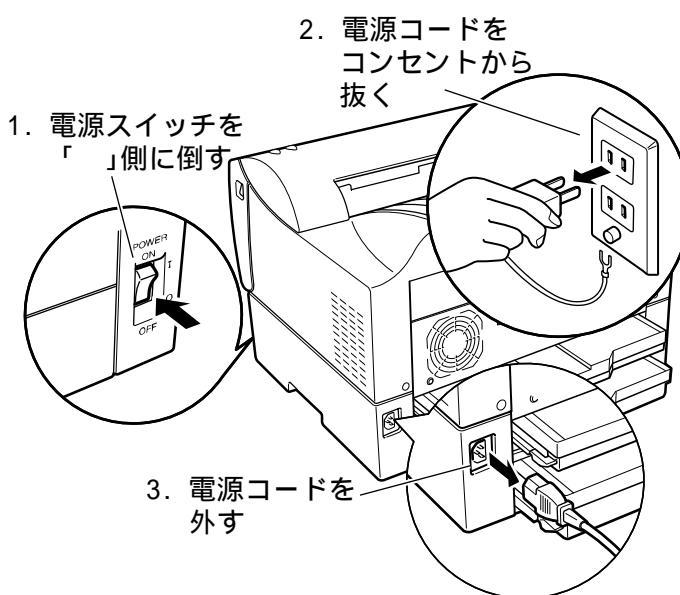


6 電源コードを差し込み、電源を入れる

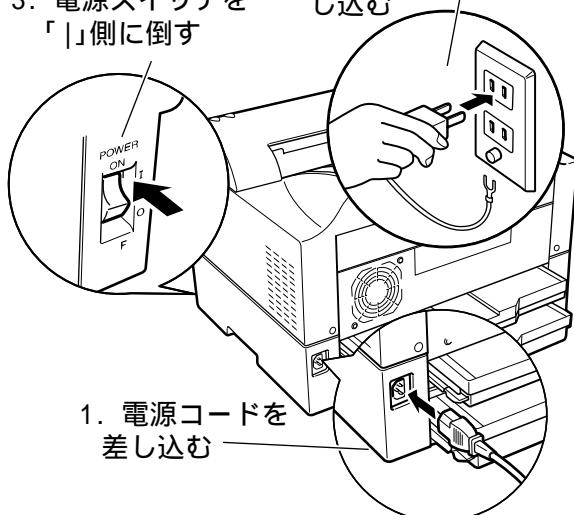
プリンタ背面の電源コネクタに電源コードのプラグを差し込み、もう一方をコンセントに差し込みます。

電源スイッチを「|」側に倒します。

▼ プリンタ外部の清掃



2. 電源コードをコンセントに差し込む
3. 電源スイッチを「|」側に倒す



1 プリンタの電源を切り、電源コードを抜く

電源スイッチを「|」側に倒し、コンセントと電源コネクタから電源コードを抜きます。

2 水またはうすめた中性洗剤を含ませて固くしぼった布で拭く

3 乾いた布で拭く

4 電源コードを差し込み、電源を入れる

プリンタ背面の電源コネクタに電源コードのプラグを差し込み、もう一方をコンセントに差し込みます。

電源スイッチを「|」側に倒します。

▼ プリンタ内部の清掃

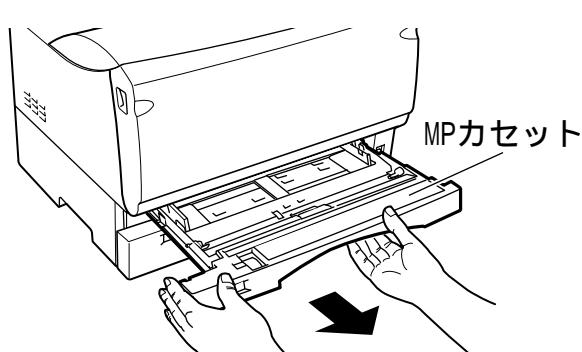
紙づまりの処置や、プロセスカートリッジ交換のあと、上部カバーを閉じる前に、内部を点検してください。

- ・紙片が残っていれば取り除きます。
- ・ほこり、汚れ、こぼれたトナーは、乾いた清潔な柔らかい布で拭き取ります。

▼ 感光体（ドラム）のクリーニング

次のような場合は、感光体（ドラム）をクリーニングします。

- ・はがきを印刷した後に普通紙に印刷すると、うす暗いスジが入る
- ・印刷結果に黒いスジや、うす暗いスジが入る



1 MP カセットを抜く

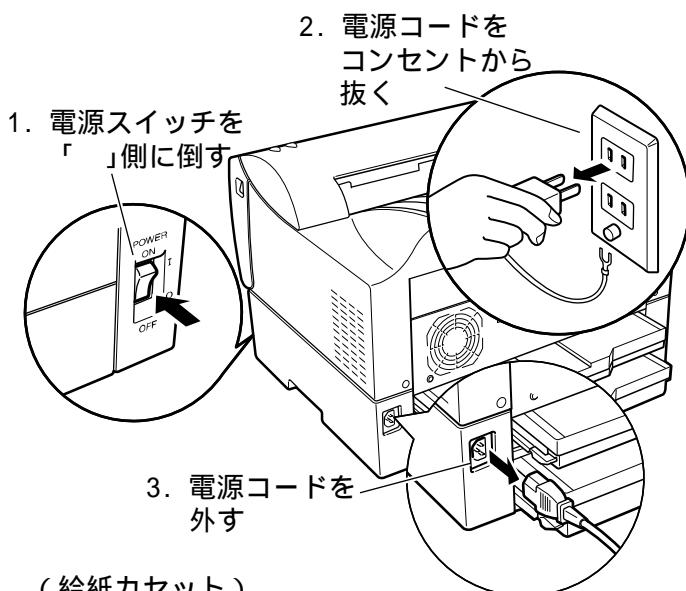
2 プリンタの電源をいったん切り、再投入する

プリンタのモータが回転し、クリーニングが開始されます。クリーニングは1分程度で終わり、印刷可能な状態になります。

線が消えない場合は、ドラムクリーニングを5～6回、繰り返してください。それでも改善されないときは、ハードウェア修理相談センター（137ページ参照）にご連絡ください。

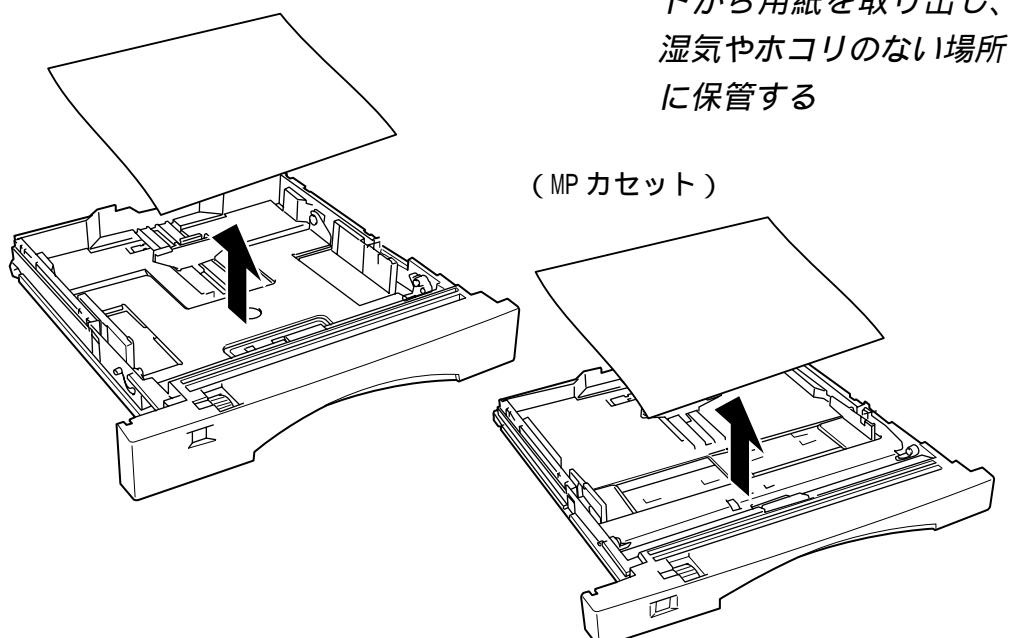
プリンタを長期間使用しないとき

1週間以上プリンタを使用しないときは、電源スイッチを切り、電源コネクタとコンセントから電源コードを抜いておきます。また、用紙をMPカセットや給紙カセットから取り出し、湿気やホコリの少ない場所に保管します。



1 プリンタの電源を切り、電源コードとプリンタケーブルを抜く

電源スイッチを「」側に倒し、コンセントと電源コネクタから電源コードを抜きます。
プリンタケーブルも抜きます。



参照 用紙の保管については、「第6章 用紙について」(79ページ) 参照

プリンタを移動するとき

プリンタを運搬したり、移動したりするときには、次の点に注意してください。

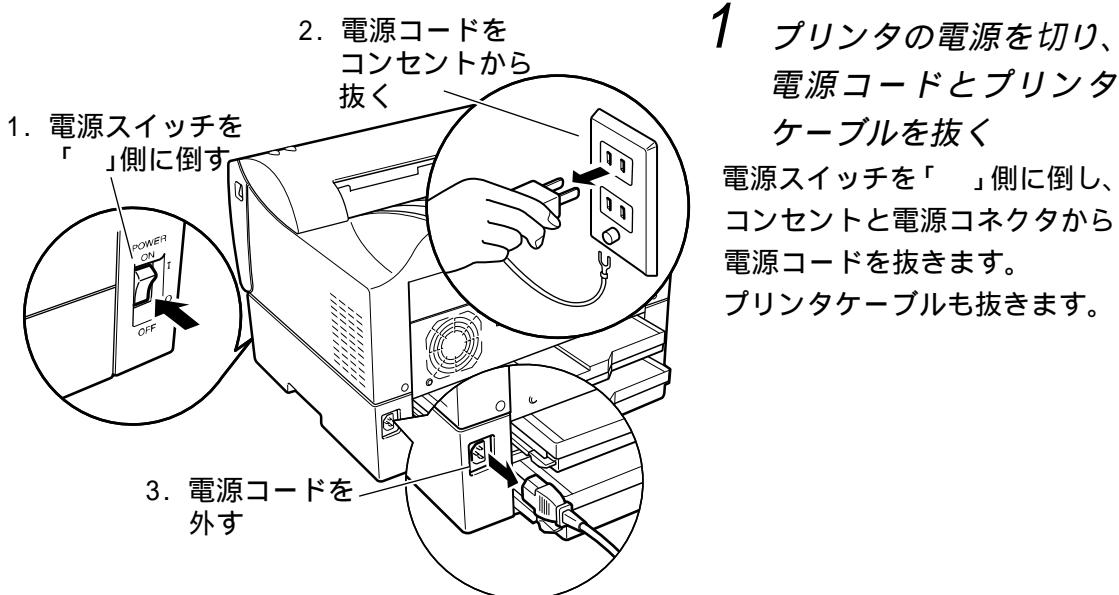


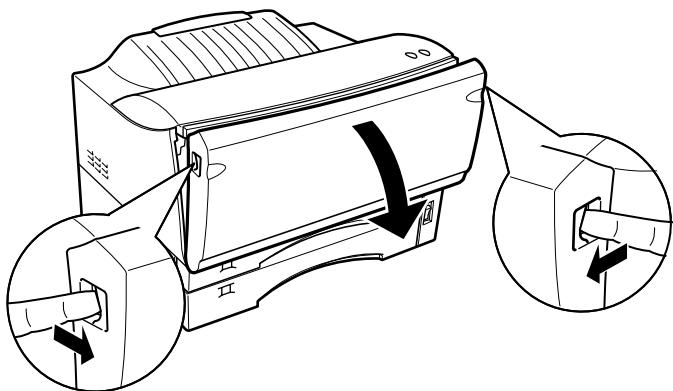
けが プリンタは、消耗品や用紙が入っていない状態で約15kgあります。プリンタを持ち上げるときは、プリンタ正面(LEDランプ側)および背面に向かい、左右両側のくぼみを両手でしっかりと持ってください。くぼみ以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。必要に応じて2人で持ち運んでください。
落下によりけがの原因となることがあります。



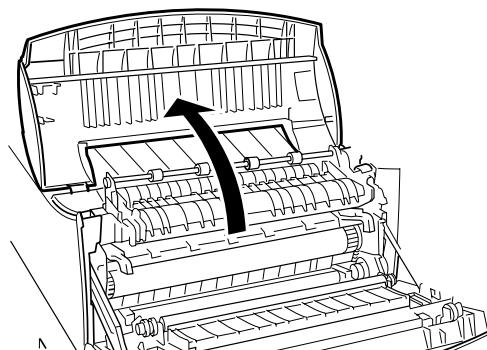
近くに移動する

プリンタを設置していた机を変えたり、隣の部屋に移動させたりする場合は、以下の手順に従ってください。

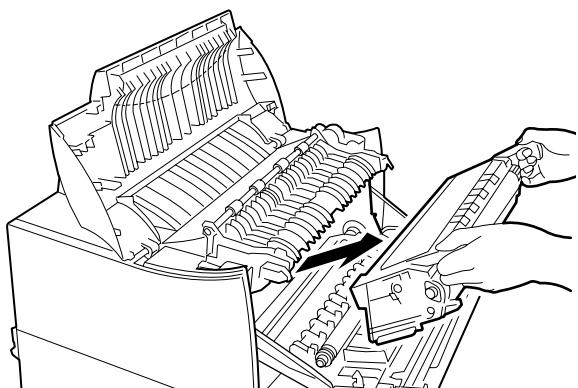




- 2 フロントカバーを開く**
左右のフロントカバー開閉レバーを押しながらフロントカバーを手前に引き、ゆっくりと開きます。



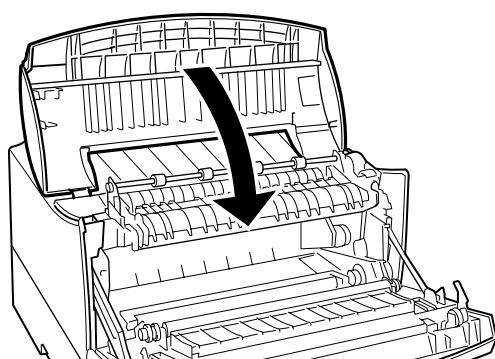
- 3 トップカバーを開く**
トップカバーの左右を持ち、ゆっくりと開きます。



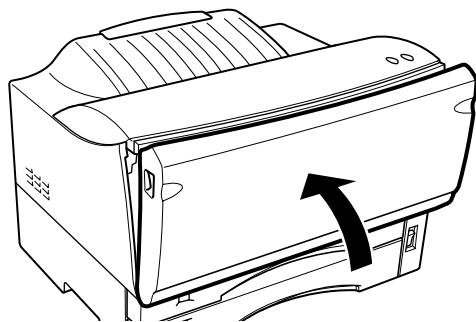
- 4 左右の取っ手を持ち、プロセスカートリッジを取り出す**
プロセスカートリッジを手前にスライドさせて取り出します。

ガイド

トナーで床を汚さないよう、取り出したプロセスカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。



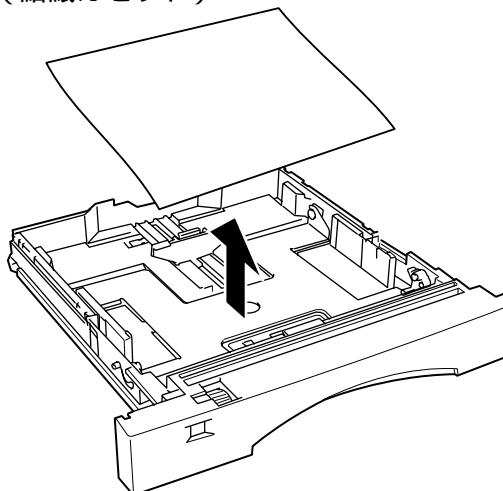
- 5 トップカバーをゆっくりと閉じる**



6 フロントカバーをゆっくりと閉じる

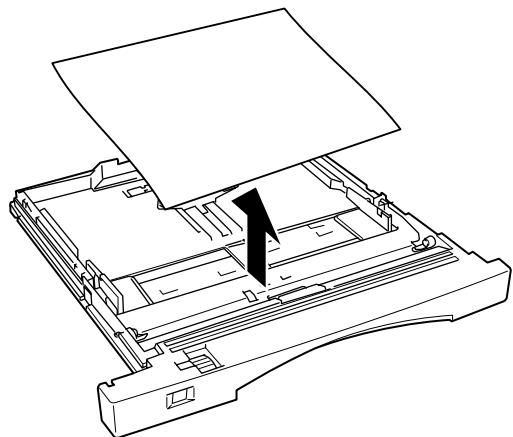
カチッと音がするまでゆっくりとフロントカバーを押し上げ、確実に閉まったことを確認してください。

(給紙カセット)



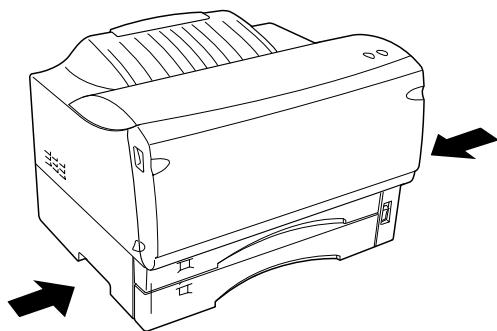
7 紙供給トレイ、MPトレイから用紙を取り出し、湿気やホコリのない場所に保管する

(MPカセット)



参照

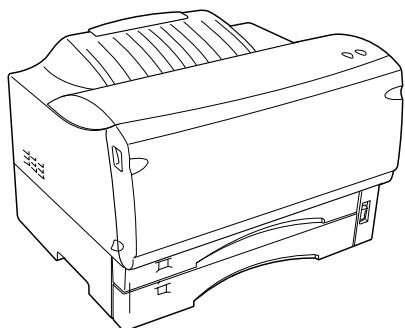
用紙の保管については、「第6章
用紙について」(79ページ) 参照



8 プリンタを移動する

プリンタを持ち、静かに移動します。

必要に応じて2人で持ち運んでください。



9 適切な場所に、プリンタを設置し直す



設置し直すときの手順については「設置手順」(10ページ)参照

▼ 梱包して運搬する

プリンタを運搬するときは、取り付けてある付属品などを外し、もう一度梱包する必要があります。以下の手順に従ってください。

1 付属品を取り外す

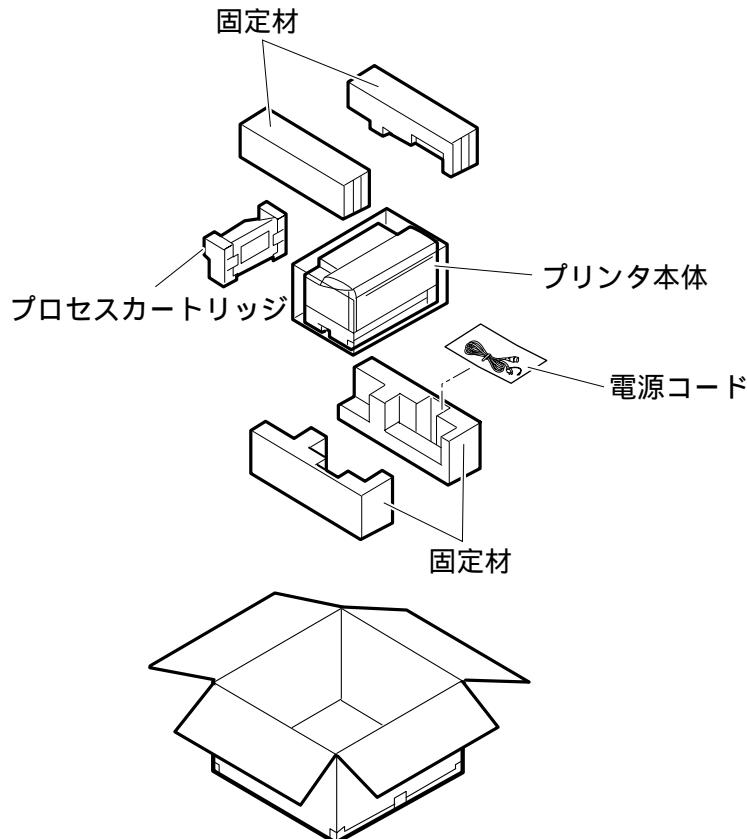
「近くに移動する」の手順1～4(100ページ)に従って、付属品を取り外します。

2 梱包し直す

下図のように梱包して、運搬してください。

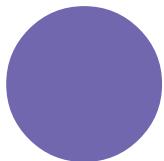
精密機械ですから、運搬するときは以下の点に注意して、ていねいに取り扱ってください。また、「プロセスカートリッジの取り扱いと保管」(92ページ)も合わせて参照してください。

- ・梱包時は、製品購入時に使用していた梱包材で梱包してください。
- ・プロセスカートリッジは必ずプリンタから取り出してください。取り出したプロセスカートリッジはビニール袋等に入れて運搬してください。



第8章

困ったときには



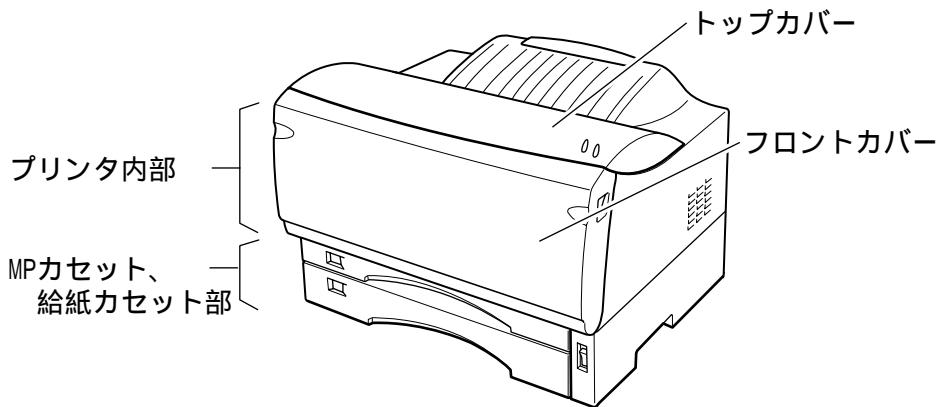
この章では、故障が発生したと思われるとき、紙づまりのとき、各種メッセージが表示されたときの処置のしかたについて説明します。

紙づまりになったとき	106
紙づまりの取り除きかた	108
用紙送りが異常なとき	113
故障かなと思ったとき	115
印刷品質が低下したとき	117
ソフトウェアに関するトラブルシューティング	122

紙づまりになったとき

紙づまりが発生すると、エラーランプ(アンバー)が点灯または点滅します。つまた用紙をすべて取り除いてトップカバーとフロントカバーを閉じると、紙づまりが発生したページから印刷が再開されます。

紙づまりの発生箇所



お願い

- ・つまた用紙を取り除いてトップカバーとフロントカバーを閉じてもエラーランプが点灯または点滅したままのときは、用紙がまだ残っています。再度点検して、つまた用紙を完全に取り除いてください。
- ・紙づまりが発生したら、必ず一度、トップカバーとフロントカバーを開閉してください。
- ・用紙は破れないようゆっくりと取り除いてください。

⚠ 注意

けが つまつた用紙を取り除いたり故障処置を行ったりするときは、次の点に注意してください。

- ・ネックレスやネクタイなどがプリンタ内部に巻き込まれないように注意してください。ケガの原因となることがあります。
- ・プリンタの鋭利部や突起部分などに触れないように注意してください。ケガの原因となることがあります。

火災 つまつた用紙を取り除くときは、プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると火災などの原因となることがあります。

なお、定着器やローラ部に用紙が巻き付いているときは無理に取らないで、直ちに電源を切り、ハードウェア修理相談センター（137ページ参照）にご連絡ください。

■ 紙づまりを防ぐために

紙づまりを防ぐために、以下のことにご注意ください。

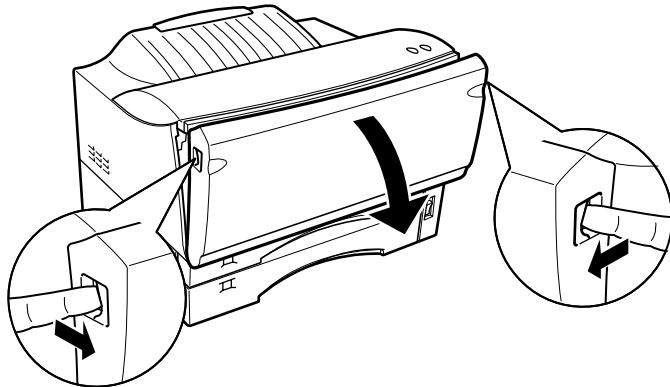
- ・プリンタを水平に設置する
- ・適切な用紙を使用する
- ・給紙カセットやMPカセットに用紙を正しくセットする
- ・カールしていない用紙を使用する
- ・給紙カセットを奥に突きあたるまで押し込む

▼ 紙づまりの取り除きかた

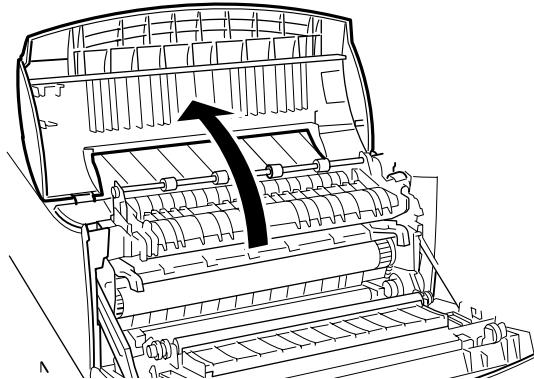
つまった用紙の取り除きかたを、用紙のつまった場所ごとに説明します。

■ プリンタ内部でつまったとき

プリンタ内部でつまった用紙は、次の手順に従って取り除いてください。



- 1 フロントカバーを開く
プリンタの電源を入れたまま、左右のフロントカバー開閉レバーをつまみながら、フロントカバーを手前に引き、ゆっくりと開きます。

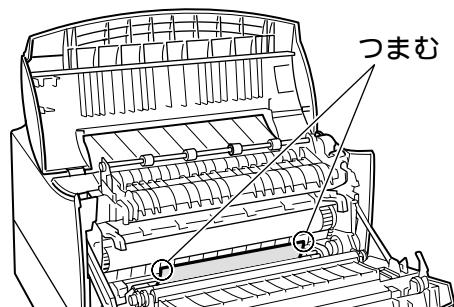


- 2 トップカバーを開く
トップカバーの左右を持ち、ゆっくりと開きます。

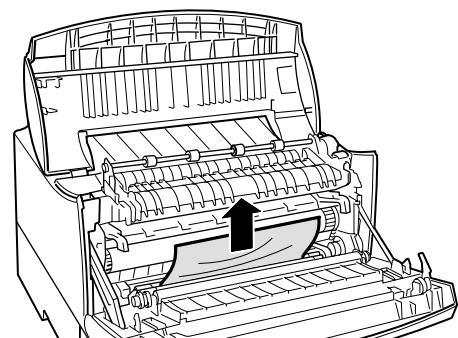
つまった用紙が見えているときは手順3、プリンタ内部でつまったときは手順4に進みます。

- 3** つまつた用紙が見えているときは、用紙の見えかたに応じて、用紙を引き抜く（プリンタ内部でつまつたときは、手順4に進む）

【用紙先端が給紙カセットから出ている場合】

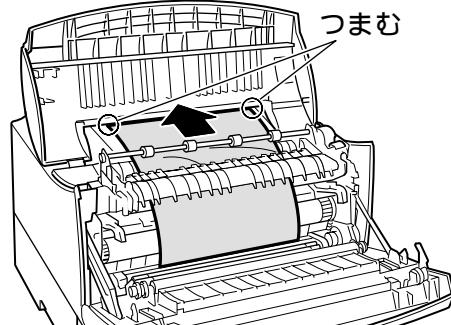


つまつた用紙の左右の先端をつまんで、ゆっくりと上方向に引き抜きます。



手順7に進みます。

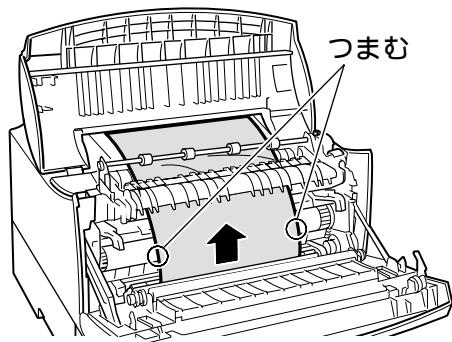
【用紙が装置にはさまれて、後端が用紙カセットから出ている場合】



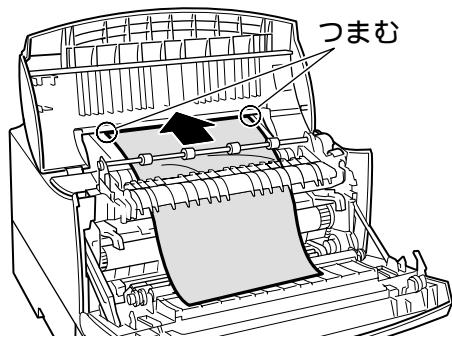
つまつた用紙の左右の先端をつまみ、ゆっくりと排紙トレイ側（後ろ方向）に引き抜きます。

手順7に進みます。

【用紙が装置にはさまれて、後端が用紙カセットから出でていない場合】



用紙の左右中程をつまみ、上方向に引き、用紙後半を給紙カセットから引き出します。



用紙の左右の先端をつまみ、ゆっくりと排紙トレイ側(後ろ方向)に引き抜きます。

手順7に進みます。

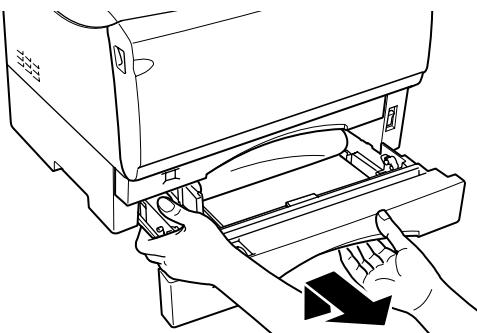
⚠ 注意

やけど プリンタを使用した直後は定着器が非常に熱くなっています。「高温注意」ラベルが貼ってある箇所(定着器やその周辺)には、絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。

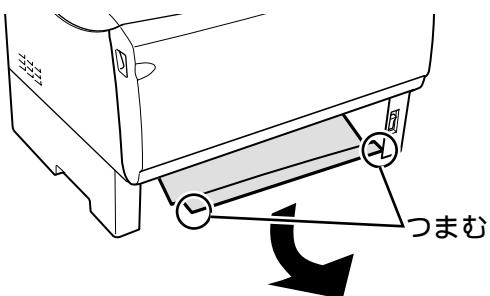
▶ お願い

感光ドラムの表面には、絶対に触れないようにしてください。

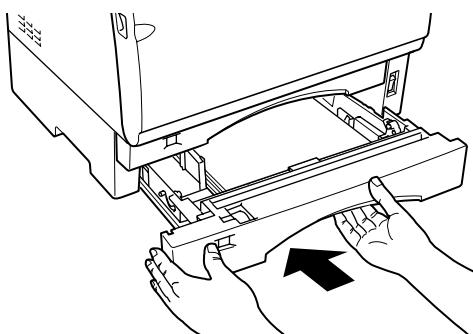
4 つまった用紙が見えないときは、給紙カセット、MPカセットを取り外す



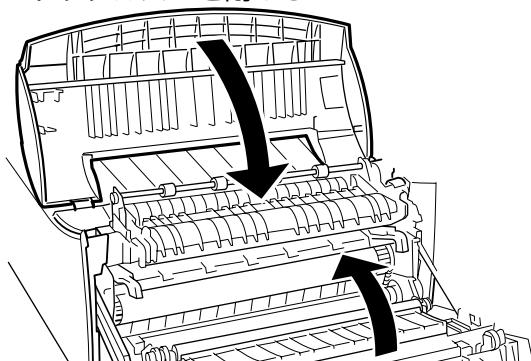
5 つまった用紙の両端をつまんで、ゆっくりと下方に向かって引き抜く



6 紙給紙カセット、MPカセットをセットする
取り外した紙給紙カセット、MPカセットをセットします。



1. トップカバーを閉じる



2. フロントカバーを閉じる

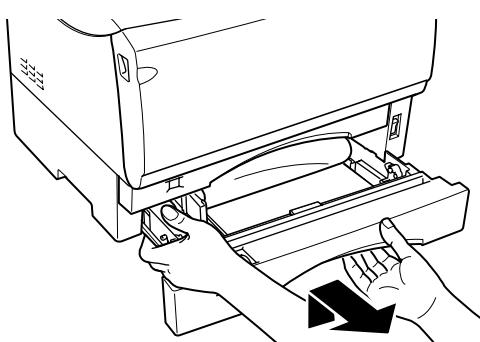
7 トップカバーとフロントカバーをゆっくりと閉じる

トップカバーをゆっくり閉じてから、フロントカバーをゆっくり押し上げて、カチッと音がするまで閉じます。

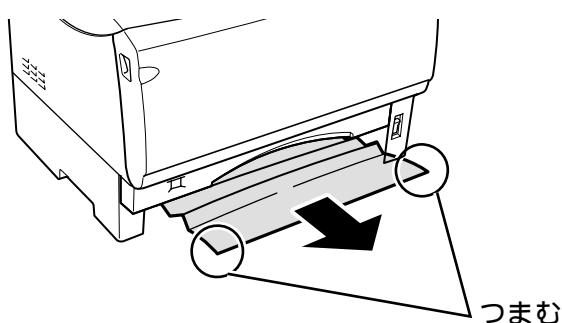
つまった用紙が取り除かれていれば、エラーランプが消灯し、自動的に印刷が再開されます。

■ 紙づまりの原因

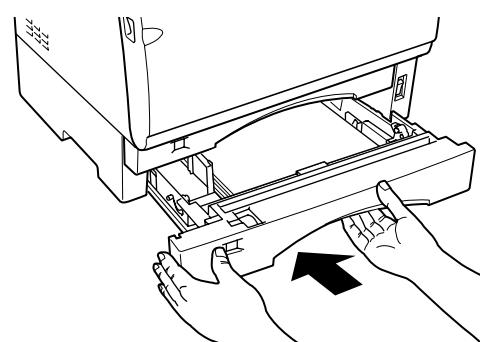
給紙カセットまたはMPカセットでつまつた用紙は、次の手順に従って取り除いてください。



- 1 紙づまりが発生したときに使用していたカセットを取り出す



- 2 つまつた用紙の両端をつまんで、ゆっくりと引き出す



- 3 手順1で取り外したカセットをセットする

用紙送りが異常なとき

紙づまりが頻繁に起きたり、複数の用紙が吸入されたりする場合は、次の各項目を確認してください。

現象	原因	処置
紙づまりが頻繁に発生する。	用紙に湿気が含まれている。	適切な温度、湿度で平らに保管した用紙を使用してください。  参照 「用紙の保管上のご注意」 (84 ページ)
用紙に折り目やしわがある。		折り目がなく、適切な温度、湿度で平らに保管した用紙を使用してください。  参照 「用紙の保管上のご注意」 (84 ページ)
一度印刷した用紙を使用している。		両面印刷はできません。新しい用紙を使用してください。  参照 「用紙のセット」(18 ページ)
用紙を1枚だけセットしている。		用紙を数枚セットしてください。  参照 「用紙のセット」(18 ページ)
給紙カセット、MP カセットにセットしている用紙の枚数が多すぎる。		正しい枚数の用紙をセットし直してください。  参照 「用紙のセット」(18 ページ)
用紙が厚すぎる、または薄すぎる。		プリンタドライバの用紙の種類の設定が適切か確認してください。  参照 「用紙について」(79 ページ)
用紙が静電気を帯びている。		適切な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。  参照 「使用できない用紙」 (82 ページ)
用紙がまっすぐにセットされていない。		用紙を正しくセットし直してください。  参照 「用紙のセット」(18 ページ)
用紙が入ったまま用紙を追加している。		先に入っている用紙を取り出し、揃えてから再度セットしてください。  参照 「用紙のセット」(18 ページ)

現象	原因	処置
極端に用紙がまるまっ てしまう。	用紙が湿気を含んでい る。	適切な温度、湿度で平らに保管した用 紙を使用してください。  参照 「使用できない用紙」 (82 ページ)
ハガキに印刷すると カールが発生する。	プリンタの構造上、厚い 用紙に印刷するとカール が発生する。	プリンタの実力です。ご了承ください。 カールした用紙やはがきは、平らな 場所に置いておもりを載せてまっす ぐにしてください。  参照 「使用できる用紙」 (80 ページ)
ハガキに縦折れ線が出 ることがある。	ハガキが湿気を含んでい る。	適切な温度、湿度で平らに保管したは がきを使用してください。  参照 「用紙保管上の注意」 (84 ページ)
複数の用紙が一緒に引 き込まれる。	セットする用紙の枚数が 多すぎる。 用紙どうしがくっつく。	正しい枚数の用紙をセットし直して ください。  参照 「用紙のセット」(18 ページ) 用紙をよくさばいてください。 ラベル紙の場合は、1枚ずつセット して印刷してください。  参照 「用紙のセット」(18 ページ)

故障かなと思ったとき

故障かなと思っても、故障ではないことがあります。
そんなとき、次の各項目を読んで確認してください。

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
電源が投入できない 電源を投入してもすぐには切れる	<ul style="list-style-type: none"> ・電源コードの抜け ・停電 ・コンセントに問題あり ・電圧が違う 	<ul style="list-style-type: none"> ・電源コードを確実に差し込み、電源が投入（左側）されていることを確認してください。 ・電源コードが給紙／MPカセットに引っかからないようにしてください。 ・ほかの電気製品が動作することを確認してください。 ・コンセントの電圧を調べてください。 <p> 参照「安全上のご注意」(11ページ) 「電源コードの接続」(14ページ) 「電源を入れる」(14ページ)</p>
印刷しない	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンタの電源未投入 ・プリンタケーブルが抜いている ・オンライン状態でない 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンタケーブルが外れていないか確認してください。 ・「印刷可」ランプが点灯していることを確認してください。 <p> 参照「パソコンとの接続方法」(24ページ) 「電源を入れる」(14ページ)</p>
異常音がする	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンタ内部に用紙くずやクリップなどの異物がある ・給紙カセットの装着が不完全 ・プロセスカートリッジの装着が不完全 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンタ内部を点検してください。 ・給紙カセット、MPカセットを完全に装着してください。 ・プロセスカートリッジを装着し直してください。 <p> 参照「用紙のセット」(18ページ) 「プロセスカートリッジの交換」(87ページ) 「紙づまりになったとき」(106ページ)</p>
用紙が傾く、外れる、破れる、つまる	<ul style="list-style-type: none"> ・用紙が正しくセットされていない ・用紙が適切でない ・プリンタが水平でない 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を取ってください。 <p> 参照「安全上のご注意」(11ページ) 「用紙について」(79ページ)</p>

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
紙づまりが発生した	<ul style="list-style-type: none"> ・用紙がくっつきやすい ・用紙が正しくセットされていない ・用紙が適切でない ・プリンタが水平でない ・フロントカバーが半開きになっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの状態をよく確認し、適切な処置をとってください。 ・用紙のセット方向を確認してください。 ・A4、B5、A5、レターサイズの用紙は、横長にセットしてください。 ・A3、B4、リーガルサイズの用紙は、縦長にセットしてください。
給紙カセット、MP カセットの出し入れができない	<ul style="list-style-type: none"> ・印刷中に電源を切斷した ・紙づまりが発生している 	<ul style="list-style-type: none"> ・電源を切断（側）して、数秒経過後に投入（側）してください。 ・それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を取ってください。
給紙カセット、MP カセットが最後まで入らない	用紙の下の金属板が下がっている	金属板を押し下げ、左右ともロックされていることを確認してください。
裏面が汚れる	プリンタ内の用紙搬送路が汚れている	<p>ステータスシートを数枚印刷して、汚れの薄れ具合で、汚れがとれたかどうか判断してください。</p> <p>プリンタのプロパティの〔その他の設定〕ダイアログから〔メンテナンス〕ダイアログを表示し、ステータスシートを印刷してください。</p>
エラーメッセージが表示され、印刷されない		参照「プリンタの清掃」(93 ページ)
「定着器寿命」のメッセージが表示される		それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を取ってください。

印刷品質が低下したとき

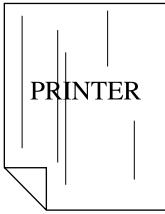
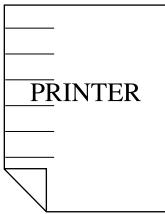
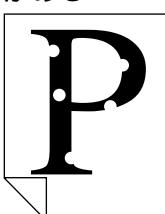
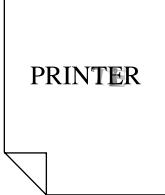
印刷品質が低下したときの処置について説明します。

ここで説明する処置をしても印刷品質が改善されない場合や、ここに示した以外の現象が起きた場合は、ハードウェア修理相談センター（137ページ参照）にご連絡ください。



やけど プリンタを使用した直後は定着器が非常に熱くなっています。「高温注意」ラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
印刷がうすい (かれる、不鮮明)	印刷濃度の設定が適正でない。 リブプレートが汚れている。	印刷濃度を調整してください。 プリンタのプロパティの【その他の設定】ダイアログから【メンテナンス】ダイアログを表示し、「印刷濃度」で設定してください。 リブプレートを清掃してください。 参照 「リブプレートの清掃」(94ページ)
	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。 参照 「用紙のセット」(18ページ)
	プロセスカートリッジ内にトナーがない。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照 「プロセスカートリッジの交換」(87ページ)
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照 「プロセスカートリッジの交換」(87ページ)
黒点が印刷される	使用している用紙が適切でない。 プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	適切な用紙をセットしてください。 参照 「用紙について」(79ページ) 新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照 「プロセスカートリッジの交換」(87ページ)

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
	黒線が印刷される 劣化、または損傷している。	感光体（ドラム）をクリーニングしてください。  「感光体（ドラム）のクリーニング」 (98 ページ) 新しいプロセスカートリッジに交換してください。  「プロセスカートリッジの交換」 (87 ページ)
	等間隔に汚れる が汚れている。	ステータスシートを数枚印刷して、汚れの薄れ具合で汚れがとれたかどうか判断してください。  「[その他の設定] ダイアログ」 (68 ページ)
	感光体（ドラム）が汚れている。	感光体（ドラム）をクリーニングしてください。  「感光体（ドラム）のクリーニング」 (98 ページ)
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。  「プロセスカートリッジの交換」 (87 ページ)
黒く塗りつぶさ れた部分に白点 がある	使用している用紙が適切 でない。	適切な用紙をセットしてください。  「用紙について」(79 ページ)
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。  「プロセスカートリッジの交換」 (87 ページ)
指でこするとト ナーがかすれる	用紙が湿気を含んでいる。新しい用紙に交換してください。	 「用紙のセット」(18 ページ)
	使用している用紙が適切 でない。	適切な用紙をセットしてください。  「用紙について」(79 ページ)

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
用紙全体が黒く印刷される	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。 プリント内の高圧電源などの故障が考えられる。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参考 「プロセスカートリッジの交換」(87ページ) ハードウェア修理相談センター(137ページ参照)にご連絡ください。
何も印刷されない	プロセスカートリッジのトナーシールが完全に引き抜かれていません。 一度に複数枚の用紙が搬送されている。	トナーシールを引き抜きます。 参考 「プロセスカートリッジの交換」(87ページ) 用紙をいったん取り出し、よくさばいてから再度セットしてください。 参考 「用紙のセット」(18ページ) 「用紙送りが異常なとき」(113ページ)
白抜けが起こる	プロセスカートリッジ内にトナーがない。 プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参考 「プロセスカートリッジの交換」(87ページ) 新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参考 「プロセスカートリッジの交換」(87ページ)
用紙にシワがつく	リッププレートが汚れている。 用紙が湿気を含んでいる。 使用している用紙が適切でない。 トナーシールの切れはしが、プロセスカートリッジ内に残っている。	リッププレートを清掃してください。 参考 「リッププレートの清掃」(94ページ) 新しい用紙に交換してください。 参考 「用紙のセット」(18ページ) 適切な用紙をセットしてください。 参考 「用紙について」(79ページ) 新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参考 「プロセスカートリッジの交換」(87ページ)

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
文字がにじむ	用紙が湿気を含んでいる。新しい用紙に交換してください。	
PRINTER PRINTER PRINTER PRINTER PRINTER PRINTER	使用している用紙が適切でない。 リップレートが汚れている。	 参照 「用紙のセット」(18ページ)  参照 「用紙について」(79ページ)  参照 「リップレートの清掃」(94ページ)
縦長に白抜けする	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。  参照 「プロセスカートリッジの交換」(87ページ)
PRINTER PRINTER PRINTER PRINTER PRINTER	プロセスカートリッジが正しくセットされていない、またはプロセスカートリッジ内のトナーがかたよっている。	いったんプロセスカートリッジを取り出し、軽く振ってからもう一度セットし直してください。  参照 「プロセスカートリッジの交換」(87ページ)
不要なトナーがつく	リップレートが汚れている。	リップレートを清掃してください。  参照 「リップレートの清掃」(94ページ)
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。  参照 「プロセスカートリッジの交換」(87ページ)
	印刷濃度の設定が適正でない。	印刷濃度を調整してください。 プリンタのプロパティの〔その他の設定〕ダイアログから〔メンテナンス〕ダイアログを表示し、「印刷濃度」で設定してください。
	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。  参照 「用紙について」(79ページ)
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。  参照 「プロセスカートリッジの交換」(87ページ)

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
太い文字に影が出る	印刷濃度の設定が適正でない。 プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	印刷濃度を調整してください。 プリンタのプロパティの〔その他の設定〕ダイアログから〔メンテナンス〕ダイアログを表示し、「印刷濃度」で設定してください。  参照 「プロセスカートリッジの交換」(87ページ)
白地の部分がうすく汚れる	一度印刷した用紙を使用している。 感光体（ドラム）表面の電位がずれている。	両面印刷はできません。新しい用紙を使用してください。 感光体（ドラム）をクリーニングしてください。  参照 「感光体（ドラム）のクリーニング」(98ページ)
紙送り方向に薄暗い線が入る	はがき、厚紙、ラベル紙を使用している。 はがきを印刷した後、普通紙に印刷した。	プリンタの実力です。ご了承ください。 感光体（ドラム）をクリーニングしてください。  参照 「感光体（ドラム）のクリーニング」(98ページ)

ソフトウェアに関するトラブルシューティング

現象	原因	処置
パラレルインタフェースで Windows 95/98/Me にプリントできません。	プリンタの電源が入っていません。	プリンタの電源を入れてください。  参照 「電源を入れる」(14ページ)
/NT4.0/2000/XP にプリンタドライバをインストールする場合に、新しいハードウェアが検出されない	パソコンが双方向パラレルインターフェースをサポートしているパソコンに替えてください。	双方向パラレルインターフェースをサポートしているパソコンに替えてください。  参照 「パソコンとの接続方法」(24ページ)
プリンタケーブルの規格が合っていません。	IEEE 1284 に準拠したプリンタケーブルを使用してください。	 参照 「パラレルインターフェース仕様とコネクタピン配列」(128ページ) 「プリンタケーブルについて」(135ページ)
プリンタケーブルが正しく接続されていません。	プリンタケーブルを正しく接続してください。	 参照 「パラレルインターフェースでの接続とインストール」(26ページ)
電源を入れる順序が正しくありません。	プリンタ、パソコンの順序で電源を入れてください。すでにパソコンが起動しているときは、パソコンを再起動してください。	 参照 「パラレルインターフェースでの接続とインストール」(26ページ)

現象	原因	処置
USB インタフェースで Windows 98/Me/2000/XP にプリンタドライバをインストールする場合に、新しいハードウェアが検出されない	プリンタの電源が入っていません。 Windows 95/3.1 から Windows 98/Me にアップグレードしたパソコンでは動作保証できません。	プリンタの電源を入れてください。  「電源を入れる」(14 ページ) Windows 98/Me をクリーンインストールしたパソコンを使用してください。  「USB インタフェースでの接続とインストール」(33 ページ)
パソコンが USB 対応していません。		デバイスマネージャで USB コントローラが表示されるか確認してください。  「パソコンとの接続方法」(24 ページ)
USB ケーブルの規格が合っていません。		USB 1.1 に準拠したケーブルを使用してください。  「USB インタフェース仕様とコネクタピン配列」(128 ページ) 「プリンタケーブルについて」(135 ページ)
USB ケーブルが正しく接続されていません。		USB ケーブルが正しく接続されているか確認してください。  「USB インタフェースでの接続とインストール」(33 ページ)
データを受信しない	他のプリンタドライバが選択されています。	XL-4000 のプリンタドライバを選択してください。  「設定の手順」(50 ページ)
プリンタドライバが正しくインストールされません。		プリンタドライバをいったん削除し、インストールし直してください。  「新しいドライバに置き換える」(75 ページ)
以前接続していた USB ポートと異なるポートにプリンタを接続した。(USB ハブ使用時)		パソコンを再起動してください。  「USB インタフェースでの接続とインストール」(33 ページ)

現象	原因	処置
データを受信しない	双方通信が無効になっています。無効にしているとデータを受けても捨ててしまいます。	プリンタのプロパティで次の項目にチェックを付け、双方通信を有効にしてください。 Windows 95/98/Me のとき 〔詳細〕ダイアログ - 〔スプールの設定〕の「このプリンタで双方通信機能をサポートする」(Me のときは、「このプリンタの双方通信機能をサポートする」) 参照「OS が提供する共通のダイアログ」(57 ページ)
他のプリンタドライバ がインストールされ いると、印刷できない	双方パラレルまたは USB で動作する他のプリントがパラレルポート またはUSB ポートを使用 しています。	Windows NT4.0/2000/XP のとき 〔ポート〕ダイアログの「双方サポートを有効にする」 参照「OS が提供する共通のダイアログ」(57 ページ) 他のプリンタドライバを削除してください。 参照「新しいドライバに置き換える」(75 ページ)
メモリ不足になる	印刷するために必要なメモリが不足しています。	使用していないアプリケーションを閉じてください。
設定した印刷部数で印 刷されない	アプリケーション側での 設定が優先されています。	印刷部数などの設定がアプリケーション側にもある場合は、アプリケーション側の設定が優先されます。 参照「設定の手順」(50 ページ)
文字がギザギザになる	ビットマップフォントを 指定しています。	TrueTypeなどのアウトラインフォントを指定してください。
他のプリンタから印刷 される	アプリケーション(ccMail)などによっては 独自のプリンタ選択を行っています。	アプリケーションのプリンタの設定で XL-4000 を選択してください。 参照「設定の手順」(50 ページ)
はがきを印刷してい た ら、印刷が突然止まっ た	プリンタがクリーニング モードになっています。 はがきを印刷すると、通 算 30 枚ごとに感光体をク リーニングします。	クリーニング動作は 1 分程度で終わり、印刷は自動的に再開されます。 クリーニング動作中のステータス表示は「準備中」となっています。
Windows Me で XL- 1200E と XL-4000 をイ ンストールすると、 XL-1200E から印刷で きない	XL-1200E の USB ドライバ が正しく認識できていま せん。	以下の手順に従って XL-1200E の USB ドライバをインストールしてください。 1 USB ハブで複数のプリンタが接続されている場合は、XL-1200E 以外のプリンタの電源をオフにする 2 デバイスマネージャを起動する 3 「USB Printing Support」を選択し、プロパティを開く 4 「ドライバの更新」を選択し、XL-1200E の USB ドライバをインストールする

付録

ここでは、プリンタを使用する際に補助的に必要となることがらについて説明します。

プリンタの仕様	126
基本仕様	126
インターフェース仕様	128
用紙関係	130
LED ランプの見かた	132
正常状態	132
エラー状態	133
プリンタケーブルについて	135
プリンタドライバの入手方法	136
アフターサービスについて	137
修理装置の返却準備 ~お客様へ~	138

プリンタの仕様



基本仕様

以下に、プリンタの仕様を示します。

印刷方式	電子写真方式
印刷速度	約 12 枚 / 分 (A4 サイズ)
メモリ	16MB
エンジン解像度	600dpi
用紙サイズ	<ul style="list-style-type: none"> ・給紙カセット : A3、B4、A4、B5、A5、レター ・MP カセット : A3、B4、A4、B5、A5、レター、官製はがき リーガル、不定形サイズ
給紙方式 ^{*1}	<ul style="list-style-type: none"> ・給紙カセットによる自動給紙(収容枚数 250 枚) ・MP カセットによる自動給紙 (収容枚数 100 枚 (はがき、OHP、ラベル紙 30 枚))
排紙方法 ^{*1}	フェースダウンスタッカ (スタッカ枚数 250 枚)
使用環境条件	温度 10 ~ 32 、湿度 20% ~ 80%RH(ただし結露しないこと)
電源・電源周波数	AC100V ± 10%、50/60 Hz
消費電力	動作時 750 W 以下、節電時 15 W
騒音	待機時 28dB(A)、動作時 50dB(A)
外形寸法	幅 459mm、奥行き 449mm、高さ 325mm (カセット縮小時) 幅 459mm、奥行き 584mm、高さ 325mm (カセット延長時)
質量	約 15kg (消耗品を除く)
インターフェース	IEEE P1284 双方向パラレルポート USB1.1 準拠 USB インタフェース
プリンタシーケンス ^{*2}	XL プリンタドライバ
耐用期間 ^{*3}	5 年(8 時間 / 日)または 30 万ページ印刷(A4 サイズ横送り)

- *1 : 収容枚数は 64g/m² にて換算
- *2 : データ処理解像度
 - ・XL プリンタドライバ : 600dpi
- *3 :
 - ・耐用期間は、プリンタの設置環境・使用頻度により大幅に変動します。
 - ・累積使用時間は、24 時間運用の場合も同一です。
 - ・A4 より大きく長い用紙を使用する場合は、耐用期間が 30 万ページより短くなります。
 - ・耐用期間中でも次の部品は磨耗するため、交換することをお勧めします。部品の交換は、ハードウェア修理相談センター（137 ページ参照）にご連絡ください。なお、交換は有償です。

寿命部品	交換目安
定着器	10 万枚印刷
フィードローラ	10 万枚印刷
リタードパッド (MP カセット)	10 万枚印刷
リタードパッド (給紙カセット)	10 万枚印刷
転写ローラ	10 万枚印刷
レジストパッド (MP カセット)	10 万枚印刷

▼ インタフェース仕様

パソコンとのインターフェースは、パラレルインターフェースおよびUSBインターフェースを採用しています。

■ パラレルインターフェース仕様とコネクタピン配列

・ 基本仕様

IEEE P1284に準拠した双方向パラレルインターフェース

・ インタフェースコネクタ

プリンタ側：36極コネクタ(メス) アンフェノール 57-40360相当品

ケーブル側：36極コネクタ(オス) アンフェノール 57-30360相当品

・ ケーブル

1.5m以下のケーブルを使用してください。

(雑音対策にはツイストペア線を使用し、シールドされていること。)

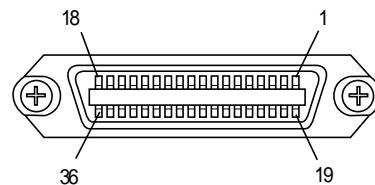
・ 信号レベル

LOW : 0.0V ~ +0.4V HIGH : +2.4V ~ +5.0V

・ データ転送方式

8ビットパラレル

・ コネクタピン配列



インターフェースコネクタ(36ピン)

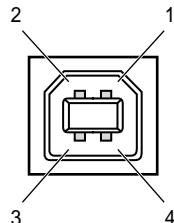
ピン番号	信号名称	発信元	ピン番号	信号名称	発信元
1	* Strobe	パソコン	19	-RET	-
2	Data 1	パソコン	20	-RET	-
3	Data 2	パソコン	21	-RET	-
4	Data 3	パソコン	22	-RET	-
5	Data 4	パソコン	23	-RET	-
6	Data 5	パソコン	24	-RET	-
7	Data 6	パソコン	25	-RET	-
8	Data 7	パソコン	26	-RET	-
9	Data 8	パソコン	27	-RET	-
10	* Ack	プリンタ	28	-RET	-
11	Busy	プリンタ	29	-RET	-
12	PError	プリンタ	30	-RET	-
13	Select	プリンタ	31	* Init	パソコン
14	* AutoFd	パソコン	32	* Fault	プリンタ
15		-	33	-RET	-
16	SG	-	34		-
17	FG	-	35		-
18	+5VSignal	プリンタ	36	* SelectIn	パソコン

注) “*”は、負論理信号であることを示します。

-RET信号は、すべてSGに接続されています。

■ USB インタフェース仕様とコネクタピン配列

- ・ 基本仕様
USB 仕様の Revision1.1 準拠
- ・ インタフェースコネクタ
プリンタ側 : B レセプタクル (メス)
ケーブル側 : アップストリームポート
- ・ ケーブル
XL-CBLU1 または、5m 以下の USB 仕様 Revision1.1 以上に適合したケーブル (雑音対策にはツイストペア線を使用し、シールドされていること。)
- ・ 伝送モード
フルスピード (最大 12Mbps)
- ・ 電力制御
セルフパワーデバイス
- ・ USB ピン配列



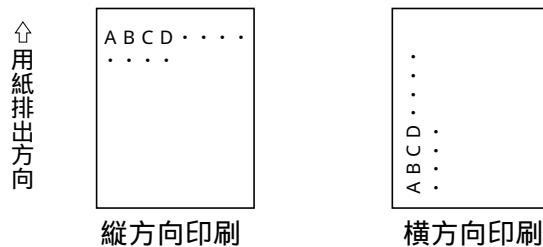
ピン番号	信号名称	機能
1	vbus	電源 (+5v)
2	D-	データ転送用
3	D+	データ転送用
4	GND	信号グランド

▼ 用紙関係

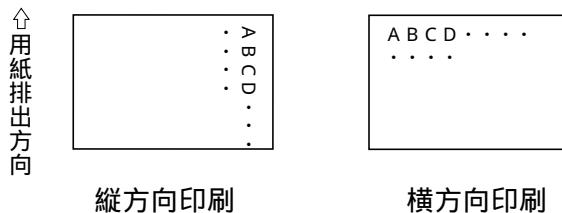
本プリンタは、給紙カセットとMPカセットを使い分けることによって、いろいろな用紙を使うことができます。以下に、それぞれの給紙方法と用紙サイズとの対応を示します。

■ 印刷方向

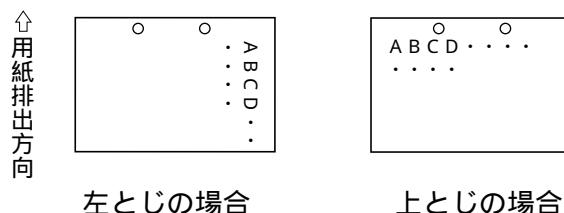
- ・A3、B4、リーガル、はがきサイズの用紙の場合



- ・A4、A5、B5、レターサイズの用紙の場合



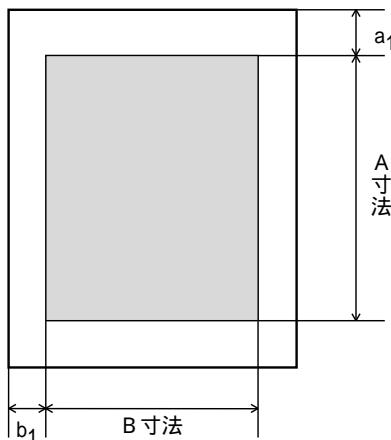
とじ穴のあるA4サイズの用紙を使用する場合は、とじ穴の位置が正しくなるようにセットします。



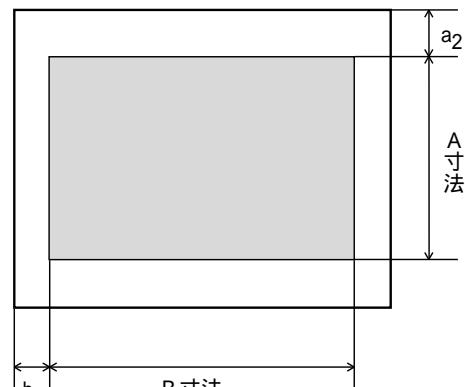
■ 印刷可能領域

本プリンタで印刷できる、各用紙サイズの印刷可能領域は次のとおりです。

[印刷方向：縦]



[印刷方向：横]



(単位 : mm)

$$a_1 = a_2 = 5\text{mm}, b_1 = b_2 = 5\text{mm}$$

用紙方向	用紙サイズ	A 3	B 4	A 4	B 5	A 5	リーガル	レター	はがき
縦方向	A 寸法	410	354	287	247	200	346	270	138
	B 寸法	287	247	200	172	138	206	206	90
横方向	A 寸法	287	247	200	172	138	206	206	90
	B 寸法	410	354	287	247	200	346	270	138

LED ランプの見かた

本プリンタには次の2つのLEDランプがあります。LEDランプは、消灯 / 点灯 / 点滅によってプリンタの状態を示します。



印刷可ランプ（緑）
エラーランプ（アンバー）

ここでは、正常時およびエラー時のLEDランプ表示を示します。
なお、LEDランプの状態は以下の記号で表します。

LED ランプ	状態
●	消灯
○	点灯
◆	点滅



正常状態

ランプ	状 態
印刷可 エラー	
●	電源が切断されている状態です。
○	オンライン状態（印刷可能な状態）です。
○	ROM / RAM を診断している状態です。
◆	ウォームアップ中、リモートリセット、クリーニング中、またはデータ受信中です。

▼ エラー状態

エラーが発生したときは、次の表にしたがって処置してください。

ランプ	表示内容	状態 / 処置
印刷可	エラー	
● ○	用紙なしエラー 紙づまりエラー (カセット内)	用紙がなくなりました。ステータス表示に表示された サイズの用紙をカセットにセットしてください。 紙づまりが発生しました。 給紙カセット、MPカセットを確認し、つまった用紙を 取り除いてください。 (「紙づまりになったとき」(106 ページ) 参照)
	用紙サイズ 不一致エラー	カセットにセットされている用紙サイズと、印刷デー タの用紙サイズが異なっている、あるいは用紙サイ ズダイヤルの設定が誤っています。正しい用紙サイ ズ、および正しい用紙サイズダイヤルを設定してく ださい。
	カセットなしエラー	セットされていないカセットがあります。 すべてのカセットをセットしてください。
● ☀	紙づまりエラー (内部) カバーオープンエラー	フロントカバー、トップカバー、給紙カセット、MPカ セットを確認し、つまった用紙を取り除いてください。 (「紙づまりになったとき」(106 ページ) 参照) カバーを開けると表示されます。作業が終わったらカ バーを閉じてください。
	カートリッジ なしエラー	プロセスカートリッジが正しくセットされていない、 あるいは使用できないプロセスカートリッジがセット されています。プロセスカートリッジを確認し、セッ トし直してください。

ランプ	表示内容	状態 / 処置
印刷可 エラー		
→○ ○ (2秒間点灯)	ハードウェアの異常検出	いったん電源を切斷し、再度投入してください。 それでも表示が変わらない場合は、ランプの状態(何回点滅するか)を控え、ハードウェア修理相談センター(137ページ参照)へご連絡ください。
繰り返し規定の回数点滅)	 	(2秒間消灯)

プリンタケーブルについて

ご使用のパソコンに対応したケーブルをご使用ください。

▶ お願い

- ・本プリンタにはプリンタケーブルは添付されていません。パソコン本体に添付のケーブルか、別売りケーブルをお使いください。
- ・以下の長さのシールドケーブルをお使いください。
 - ・パラレルインタフェースケーブル ... 1.5m 以下
 - ・USB インタフェースケーブル 5m 以下

■ パラレルインタフェース用ケーブル

ご使用のパソコン	プリンタケーブル
FMV シリーズ	FMV-CBL712

■ USB インタフェース用ケーブル

品名	型名	備考
プリンタ USB ケーブル	XL-CBLU1	USB に対応し、Windows 98/Me/2000/XP が動作するパソコンに接続可能です。

プリンタドライバの入手方法

最新版のプリンタドライバは、インターネットの「FMWORLD.NET」からダウンロードすることができます。FMWORLD.NETではサポートサービスなどに関するさまざまな情報も提供しています。

下記に示したURLよりプリンタドライバをダウンロードしてください。

FMWORLD.NET URL: <http://www.fmworld.net/>



- ・FMWORLD.NETをご利用になる際は、Webブラウザおよびインターネットに接続できる環境が必要です。
- ・添付のCD-ROMには、製品出荷時の最新版ドライバが収められおり、FMWORLD.NETからダウンロードできるものと同一の可能性があります。お使いのプリンタドライバのバージョンを確認してからダウンロードを行ってください。

アフターサービスについて

- ・お買い求めの際に販売店でお渡しする保証書は、大切に保管してください。
- ・保証書は日本国内においてのみ有効です。
- ・無償保証期間は、お買い上げ日より 6 ヶ月です。詳細は保証書をご覧ください。
- ・保守部品の供給期間は、このプリンタの製造中止後 6 年です。ご了承ください。
- ・分解、改造などを行わないでください。無償保証の期間内でも無償修理が受けられないことがあります。
- ・プリンタのご使用にあたっては、純正のサプライ用品をお使いください。純正のサプライ用品以外の用品をお使いになったことによる製品の誤動作および故障に関しては、当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・装置を返却される場合は、次ページの手順に従って準備をお願いします。
- ・故障の際は下記までご連絡ください。
『ハードウェア修理相談センター』
フリーダイヤル : 0120-422-297
受付時間 : 平日 9:00 ~ 17:00
(土曜・日曜・祝日および当社指定の休日を除く)
- ・プリンタのご使用に関する技術的なご相談は、下記までご連絡ください。
『富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口』
フリーダイヤル : 0120-950-222
受付時間 : 平日 9:00 ~ 17:00
(土曜・日曜・祝日およびメンテナンス日を除く)

付



修理装置の返却準備 ~お客様へ~

お手数ですが、修理装置の返却にあたっては、輸送時のトラブル防止のため、以下の手順で準備いただきますようお願い申し上げます。

1 ステータスシートを印刷する

以下の手順でステータスシートを印刷してください。

1 紙カセットにA4用紙を横に印刷する

2 Windowsの[プリンタ](Windows XPのときは[プリンタとFAX])フォルダを開き、[XL-4000]のプロパティを開く

3 [その他の設定]タブを選択する

4 [メンテナンス]ボタンをクリックする

5 [ステータスシートを印刷する]ボタンをクリックし、印刷を実行する

2 装置の電源スイッチを切り、ケーブル類(電源コード、プリンタケーブル)を外す

3 MPカセットと給紙カセットを取り外す

手順1で印刷した「ステータスシート」を、返却する装置に添付してください。

索引

C

CD-ROM の内容 3

L

LED ランプ 5, 132
の確認 16
の見かた 132

M

MP カセット 2, 5

O

O H P フィルム 81

U

USB インタフェース 5, 24
仕様とコネクタピン配列 129
での接続とインストール 31
用ケーブル 135

W

Windows 2000
 プリンタドライバのインストール(パラレル) ... 28
 プリンタドライバのインストール(USB) ... 42
Windows 95
 プリンタドライバのインストール(パラレル) ... 28
Windows 98
 プリンタドライバのインストール(パラレル) ... 28
 プリンタドライバのインストール(USB) ... 35
Windows Me
 プリンタドライバのインストール(パラレル) ... 28
 プリンタドライバのインストール(USB) ... 39
Windows NT4.0
 プリンタドライバのインストール(パラレル) ... 28

Windows XP
 プリンタドライバのインストール(パラレル) ... 31
 プリンタドライバのインストール(USB) ... 45

A

アフターサービスについて 137

I

一面あたりのページ数 64
印刷
 可能領域 131
 品質が低下したとき 117
 方向 130
 ログ機能 72
 拡大 / 縮小印刷 63
 複数ページ割り付け印刷 64
インストール 28, 35, 39, 42
 プリンタドライバのインストール ... 31

E

エラー状態 133

F

回収サービス 91
拡大 / 縮小印刷 63
紙づまり
 になったとき 106
 の取り除きかた 108
 を防ぐために 107
感光体(ドラム)のクリーニング 98
官製はがき 81

K

給紙カセット 2, 5
 で使用できない用紙 83
給紙方法 80

G

ケーブル
 プリンタケーブルについて 135

コ	タ
故障かなと思ったとき 115	ダイアログ一覧 55
固定材の取り外し 10	
コネクタピン配列 128	
サ	
最小化表示 71	
サプライ用品の一覧 86	
シ	
仕様	
インターフェース仕様 128	
基本仕様 126	
ス	
寸法	
プリンタの寸法 9	
セ	
清掃	
プリンタ外部の清掃 97	
プリンタ内部の清掃 98	
リブプレートの清掃 94	
設置	
上のお願い 8	
手順 10	
設定	
複数ページ割り付け印刷の設定例 ... 65	
プリンタドライバの設定 49	
接続	
USB インタフェースでの 接続とインストール 31	
電源コードの接続 14	
パソコンとの接続方法 24	
パラレルインターフェースでの 接続とインストール 26	
ソ	
ソフトウェアに関する トラブルシューティング 122	
タ	ツ
通風口 5	
テ	
定着ユニット 6	
電源	
コードの接続 14	
スイッチ 5	
を入れる 15	
を切る 16	
電源コード 2	
電源コードコネクタ 5	
ト	
トップカバー 5	
トナーシール 11	
トラブルシューティング	
ソフトウェアに関する トラブルシューティング 122	
ドラム	
感光体（ドラム）のクリーニング ... 98	
ハ	
排紙トレイ 5	
排紙部 5	
パラレルインターフェース 5, 24	
仕様とコネクタピン配列 128	
での接続とインストール 26	
用ケーブル 135	
フ	
複数ページ割り付け印刷 64	
普通紙 80	
プリンタ	
の清掃 93	
を移動するとき 100	
を長時間使用しないとき 99	

プリンタケーブルについて	135
プリンタドライバ	
のインストール	28, 35, 39, 42
の削除	75
の設定	49
の入手方法	136
のインストール	31
プロセスカートリッジ	2, 6
の回収サービス	91
の交換	87
の取り扱いと保管	92
の取り付け	10
フロントカバー	5
フロントカバー開閉レバー	5

木

ポップアップ表示	70
----------------	----

彌

用紙

送りが異常なとき	113
関係	130
のサイズ	80
のセット	18
の保管上のご注意	84
使用できない用紙	82
使用できる用紙	80
用紙サイズダイヤル	5

ラ

ラベル紙	81
ランプ	
LED ランプ	5, 132
印刷可ランプ	5, 132
エラーランプ	5, 132

リ

リブプレートの清掃	94
-----------------	----

ページプリンタ XL-4000

取扱説明書

B5WY-0241-02-00

発行日 2002年4月

発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

本書の一部または全部を無断で転載しないよう、お願いいいたします。

本書は、改善のため予告なし変更することがあります。

本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、その他の権利、
損害については、当社はその責を負いません。

落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

FUJITSU[∞]

このマニュアルは再生紙を使用しています。